

施策評価シート（指標）

資料 2

第4章 健全な行財政運営の確保に向けた取組

1 ページ～

基本目標 1 良好な生活機能が確保されている都市

重点項目1-1 多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」

4ページ～

重点項目1-2 2025年問題に対応した「医療・福祉の充実」

8ページ～

重点項目1-3 自然環境の保全と生活の質の向上を図る「居住環境の充実」

13ページ～

重点項目1-4 災害に強く、暮らしを支える「生活基盤の充実」

18ページ～

基本目標 2 良好な地域社会が形成されている都市

重点項目2-1 地域に愛着や誇りをもつ「みやざきっ子の育成」

21ページ～

重点項目2-2 多様で自律性のあるコミュニティを形成する「地域力の向上」

25ページ～

重点項目2-3 一人一人が尊重され、生き生きと暮らせる「共生社会の確立」

30ページ～

基本目標 3 良好な就業環境が確保されている都市

重点項目3-1 地域や企業ニーズに合った「人財の育成」

34ページ～

重点項目3-2 若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」

38ページ～

基本目標 4 魅力ある価値が創出されている都市

重点項目4-1 交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」

44ページ～

基本目標 5 地域特性に合った社会基盤が確保されている都市

重点項目5-1 コンパクト化とネットワークの形成による「都市機能の充実」

49ページ～

総合 計画 体系	第4章	健全な行財政運営の確保に向けた取組
	指標関係課	企画政策課、秘書課、人事課、情報政策課、財政課、納税管理課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
1 効率的で効果的な行政経営 2 職員の資質向上と機能的な組織体制の確立 3 情報化の推進 4 広報広聴機能の充実 5 広域連携の推進	<p>Q：あなたは、健全な行財政運営の確保に向けた取組が進んでいると感じられますか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.7%</td> <td>7.0%</td> <td>7.0%</td> <td>5.2%</td> <td>4.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>30.6%</td> <td>35.0%</td> <td>32.8%</td> <td>30.2%</td> <td>31.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>29.6%</td> <td>25.6%</td> <td>26.3%</td> <td>29.4%</td> <td>32.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>14.0%</td> <td>11.2%</td> <td>16.4%</td> <td>18.0%</td> <td>17.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>14.6%</td> <td>12.7%</td> <td>9.5%</td> <td>10.2%</td> <td>9.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.5%</td> <td>8.5%</td> <td>8.0%</td> <td>7.0%</td> <td>5.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.7%	7.0%	7.0%	5.2%	4.3%			2	どちらかと言えば感じられる	30.6%	35.0%	32.8%	30.2%	31.6%			3	どちらかと言えば感じられない	29.6%	25.6%	26.3%	29.4%	32.2%			4	感じられない	14.0%	11.2%	16.4%	18.0%	17.3%			5	いずれにも当てはまらない	14.6%	12.7%	9.5%	10.2%	9.4%			6	無回答	5.5%	8.5%	8.0%	7.0%	5.3%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.7%	7.0%	7.0%	5.2%	4.3%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	30.6%	35.0%	32.8%	30.2%	31.6%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	29.6%	25.6%	26.3%	29.4%	32.2%																																																																			
4	感じられない	14.0%	11.2%	16.4%	18.0%	17.3%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	14.6%	12.7%	9.5%	10.2%	9.4%																																																																			
6	無回答	5.5%	8.5%	8.0%	7.0%	5.3%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価	〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕								
<table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.5点 (28/8)</td> </tr> </table> <p>(参考：R4内部評価)</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.9点 (43/11)</td> </tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	平均点	3.5点 (28/8)	内部評価結果	b	平均点	3.9点 (43/11)	内部評価結果	b	<ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。ただし、重点目標の「財政調整基金残高」、主要施策の「1 効率的で効果的な行政経営」及び「3 情報化の推進」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。 ・主要施策の「2 職員の資質向上と機能的な組織体制の確立」及び「4 広報広聴機能の充実」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。
平均点	3.5点 (28/8)								
内部評価結果	b								
平均点	3.9点 (43/11)								
内部評価結果	b								

4 外部評価			
<table border="1" style="background-color: #ffff00; width: 100px; height: 30px; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table> <p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスに対する満足度の向上を図るためには、特に窓口の業務分析を行って改善を進めていくことが必要ではないか。 ・持続可能な行政運営を行う為にも歳入確保は重要。宿泊税や地方環境税などを導入してはどうか。外貨を稼ぐための「ふるさと納税」の充実も必要。 ・市政情報の満足度が減少しているため、幅広い年齢層へのアプローチに努めていただきたい。 ・窓口サービスの質向上については、お客様の声（CS）が指標になっているが、併せて職員側の視点（ES）についても指標化するとより本質的な質向上につながるのではないか。 </td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスに対する満足度の向上を図るためには、特に窓口の業務分析を行って改善を進めていくことが必要ではないか。 ・持続可能な行政運営を行う為にも歳入確保は重要。宿泊税や地方環境税などを導入してはどうか。外貨を稼ぐための「ふるさと納税」の充実も必要。 ・市政情報の満足度が減少しているため、幅広い年齢層へのアプローチに努めていただきたい。 ・窓口サービスの質向上については、お客様の声（CS）が指標になっているが、併せて職員側の視点（ES）についても指標化するとより本質的な質向上につながるのではないか。
外部評価結果	B		
<ul style="list-style-type: none"> ・行政サービスに対する満足度の向上を図るためには、特に窓口の業務分析を行って改善を進めていくことが必要ではないか。 ・持続可能な行政運営を行う為にも歳入確保は重要。宿泊税や地方環境税などを導入してはどうか。外貨を稼ぐための「ふるさと納税」の充実も必要。 ・市政情報の満足度が減少しているため、幅広い年齢層へのアプローチに努めていただきたい。 ・窓口サービスの質向上については、お客様の声（CS）が指標になっているが、併せて職員側の視点（ES）についても指標化するとより本質的な質向上につながるのではないか。 			

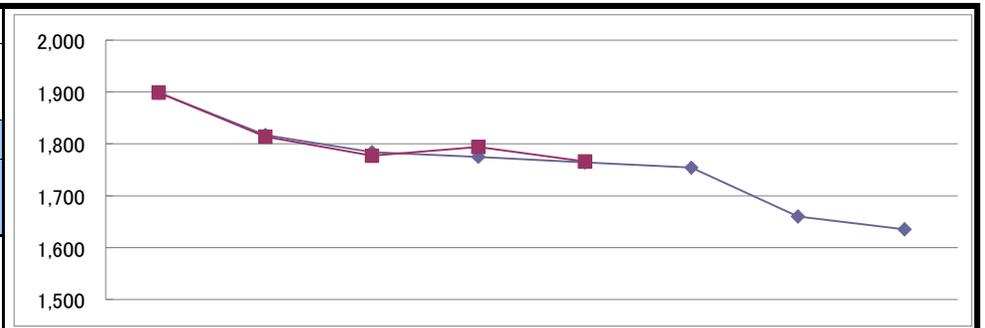
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

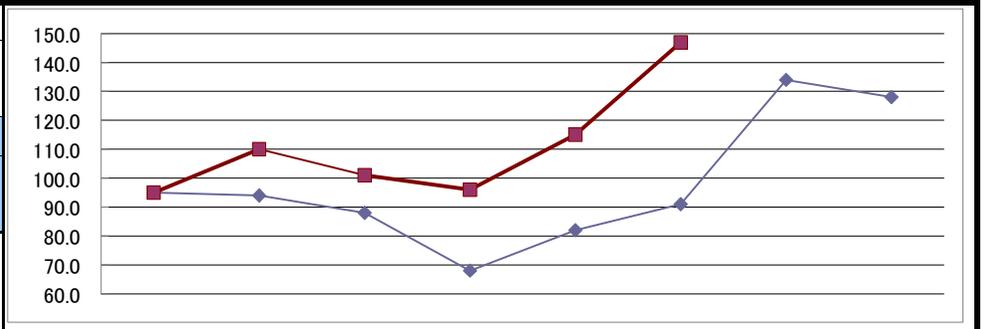
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

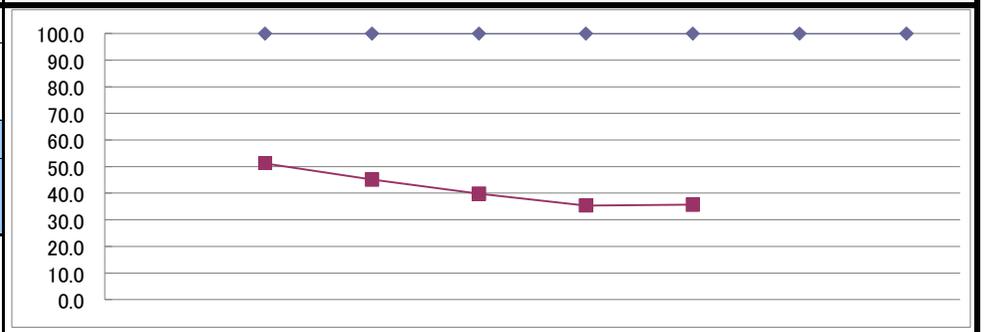
指標									単位	達成率
★ 重点	市債残高（普通会計）（財政課）								億円	99.3%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	1,899	1,817	1,784	1,775	1,764	1,754	1,660	1,635	4
	実績	1,899	1,814	1,777	1,794	1,766	未確定			
達成状況 の分析	令和5年6月確定予定。 【参考】2021年度達成率：99.9%									



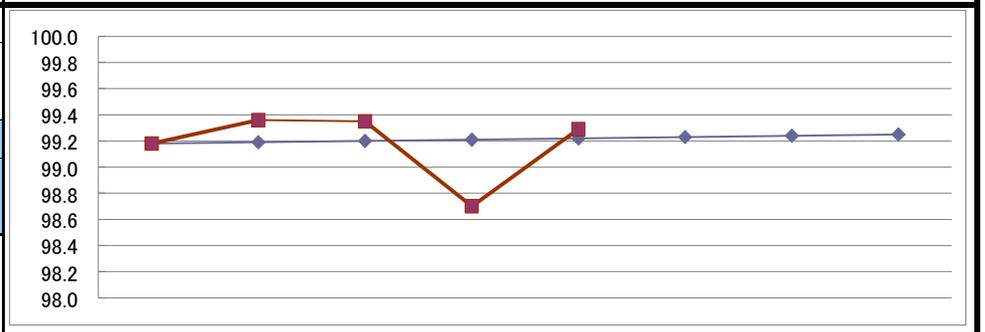
指標									単位	達成率
重点	財政調整基金残高（財政課）								億円	161.5%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	95	94	88	68	82	91	134	128	5
	実績	95	110	101	96	115	147			
達成状況 の分析	「EBPMに基づく事業評価」の実施など、財政健全化に取り組んだ結果、目標を上回ることができた。達成率：2022実績／2022目標値									



指標									単位	達成率
重点	成果指標の達成状況（企画政策課）								%	35.7%
		-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1
	実績	-	51.2	45.1	39.8	35.4	35.7			
達成状況 の分析	第五次宮崎市総合計画策定時（コロナ禍以前）に設定した上昇していく目標値もある中、コロナの影響を受けながらも、各取組を継続した結果、昨年度並みの達成率を維持することができた。【参考】目標を達成した指標：50／実績が確定した指標：140									



指標									単位	達成率
★ 1-1	市税収納率（現年度分）（納税管理課）								%	100.1%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	99.18	99.19	99.20	99.21	99.22	99.23	99.24	99.25	5
	実績	99.18	99.36	99.35	98.70	99.29	未確定			
達成状況 の分析	令和5年6月確定予定。 【参考】2021年度達成率：100.1%									



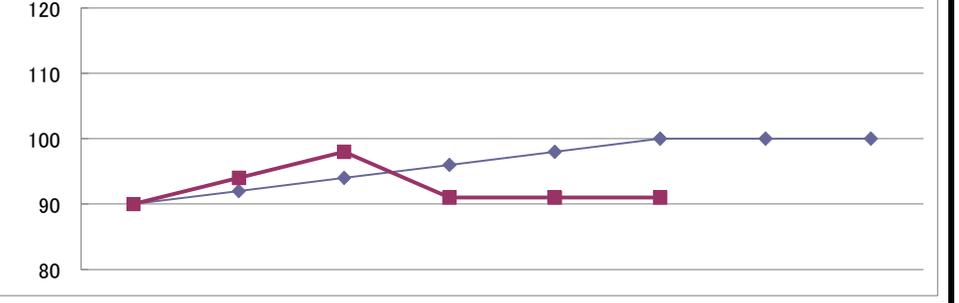
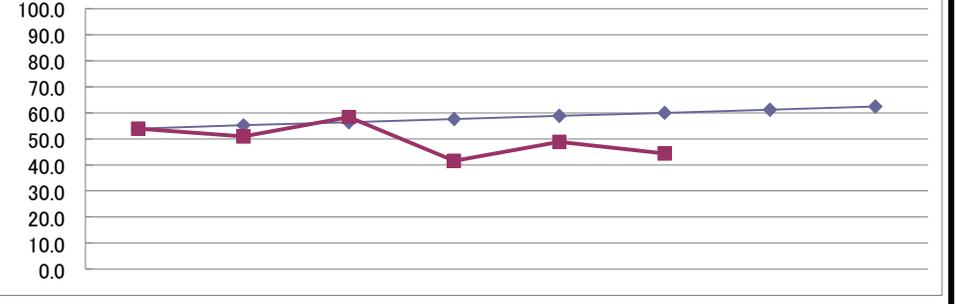
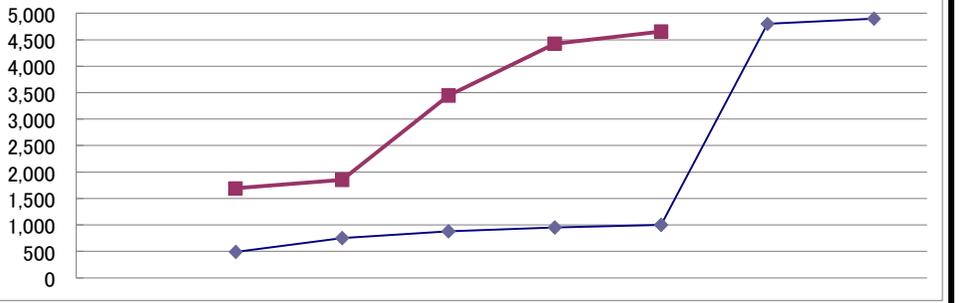
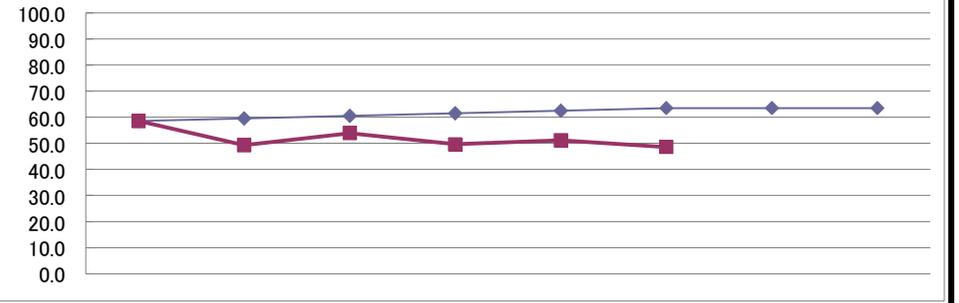
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標		単位								達成率
2-1	行政サービスを提供する職員に対する満足度（人事課）	%								76.5%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		58.5	59.5	60.5	61.5	62.5	63.5	63.5	63.5	2
実績		58.5	49.3	53.9	49.6	51.1	48.6			
達成状況の分析	宮崎市人材育成基本方針（第3次）に基づき、職員研修の充実に努め、職員の知識・技能の習得、意識改革を図ってきたが、目標の達成には至らなかった。									
指標		単位								達成率
3-1	電子決済の利用件数（情報政策課）	件								465.8%
		-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		-	490	750	880	950	1,000	4,800	4,900	5
実績		-	1,692	1,852	3,444	4,428	4,658			
達成状況の分析	電子決済が標準的な決済方法となってきたため、実績値が伸びていると考えられる。									
指標		単位								達成率
4-1	市政情報の発信に満足している市民の割合（秘書課）	%								74.0%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		53.9	55.2	56.4	57.6	58.8	60.0	61.2	62.4	2
実績		53.9	50.9	58.4	41.6	48.8	44.4			
達成状況の分析	特に市公式LINEの機能を拡充し、情報発信に努めたものの、市民に広く市政情報を届けることができなかった。今後は、LINEをはじめとする市公式SNSの登録者増を目指すほか、広報紙の読みやすさ等にも引き続き取り組む。									
指標		単位								達成率
5-1	連携中枢都市圏構想の取組事業数（企画政策課）	件								91.0%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		90	92	94	96	98	100	100	100	4
実績		90	94	98	91	91	91			
達成状況の分析	目標値を達成することはできなかったが、厳しい財政状況の中、本市、国富町及び綾町で連携を図り、必要な事業を維持することができた。									



総合 計画 体系	基本目標	1 良好な生活機能が確保されている都市（まち）
	重点項目	1-1 多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」
	指標関係課	障がい福祉課、社会福祉第一課、子育て支援課、子ども家庭支援課、保育幼稚園課、農業委員会事務局、生涯学習課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
1-1-1 結婚サポートや出産ケアの充実 1-1-2 乳幼児等の健康の保持と増進 1-1-3 幼児教育・保育サービスの提供 1-1-4 子育て家庭への生活支援と相談機能の充実 1-1-5 子どもの居場所の確保	<p>Q：あなたは、多様なライフスタイルに対応した「子育て支援の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.4%</td> <td>7.6%</td> <td>8.8%</td> <td>8.0%</td> <td>5.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>29.8%</td> <td>34.5%</td> <td>37.9%</td> <td>37.1%</td> <td>34.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>29.0%</td> <td>24.5%</td> <td>23.8%</td> <td>26.3%</td> <td>29.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>11.5%</td> <td>8.1%</td> <td>11.7%</td> <td>9.8%</td> <td>15.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>18.9%</td> <td>17.5%</td> <td>11.1%</td> <td>12.2%</td> <td>11.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.4%</td> <td>7.8%</td> <td>6.7%</td> <td>6.6%</td> <td>4.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.4%	7.6%	8.8%	8.0%	5.7%			2	どちらかと言えば感じられる	29.8%	34.5%	37.9%	37.1%	34.2%			3	どちらかと言えば感じられない	29.0%	24.5%	23.8%	26.3%	29.1%			4	感じられない	11.5%	8.1%	11.7%	9.8%	15.8%			5	いずれにも当てはまらない	18.9%	17.5%	11.1%	12.2%	11.0%			6	無回答	5.4%	7.8%	6.7%	6.6%	4.3%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.4%	7.6%	8.8%	8.0%	5.7%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	29.8%	34.5%	37.9%	37.1%	34.2%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	29.0%	24.5%	23.8%	26.3%	29.1%																																																																			
4	感じられない	11.5%	8.1%	11.7%	9.8%	15.8%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	18.9%	17.5%	11.1%	12.2%	11.0%																																																																			
6	無回答	5.4%	7.8%	6.7%	6.6%	4.3%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">平均点</td> <td style="text-align: center;">4.2点 (42/10)</td> </tr> </table> <p>(参考：R4内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="text-align: center;">平均点</td> <td style="text-align: center;">4.3点 (56/13)</td> </tr> </table>	平均点	4.2点 (42/10)	平均点	4.3点 (56/13)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">内部評価結果</td> <td style="text-align: center;">a</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="text-align: center;">内部評価結果</td> <td style="text-align: center;">a</td> </tr> </table>	内部評価結果	a	内部評価結果	a	<p>〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね目標を達成している。特に、主要施策の「1-1-1 結婚サポートや出産ケアの充実」、「1-1-2 乳幼児等の健康の保持と増進」、「1-1-3 幼児教育・保育サービスの提供」及び「1-1-5 子どもの居場所の確保」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。 	
平均点	4.2点 (42/10)										
平均点	4.3点 (56/13)										
内部評価結果	a										
内部評価結果	a										

4 外部評価			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">外部評価結果</td> <td style="text-align: center;">A</td> </tr> </table>	外部評価結果	A	<p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てしやすい＝働きやすい」を実現するために、さらなる都市機能の充実を図ってほしい。 ・各学校に設置される児童クラブのマッチング、子育て支援センターのニーズに沿った委託事業の質向上、女性活躍推進に向けて病後児保育の充実が必要。 ・保育園で様々な事故もある中、子育て支援の量ではなく、質を向上させていくための施策、保育士の処遇の改善と人材の確保が必要。
外部評価結果	A		

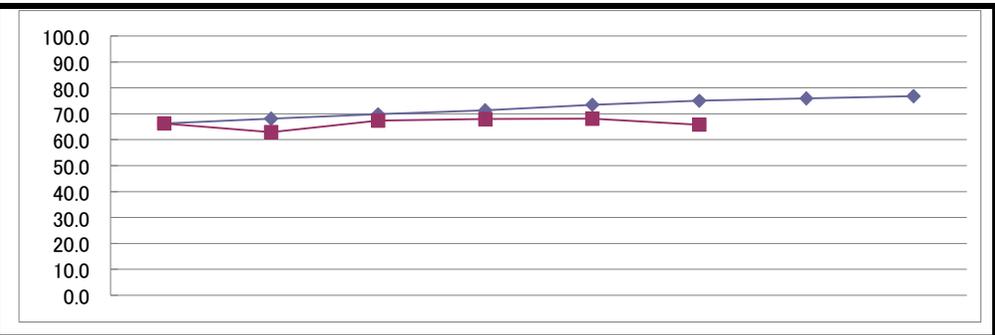
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

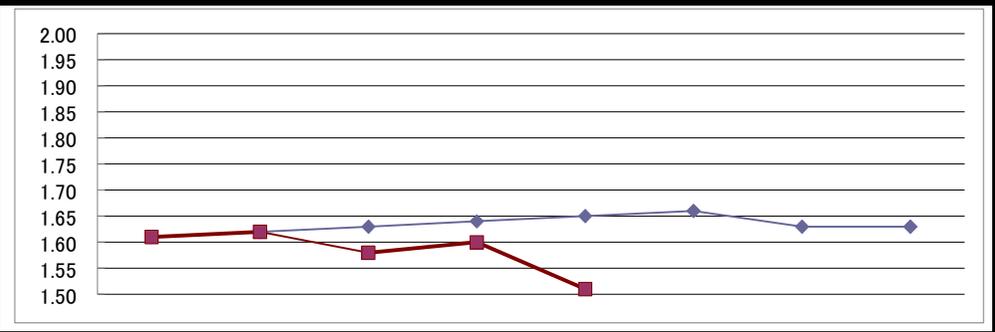
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

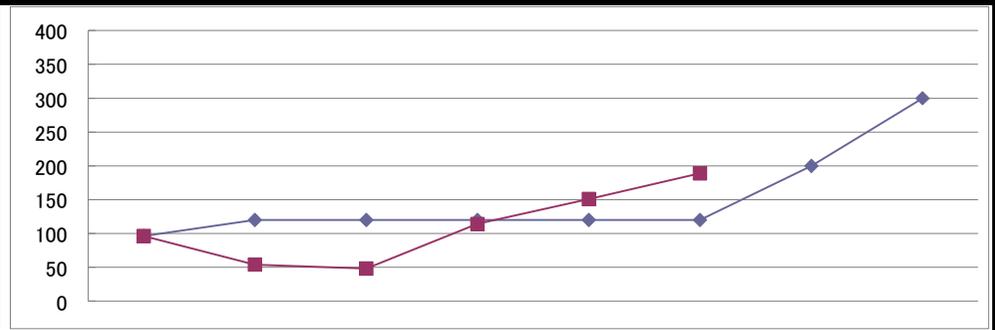
指標								単位	達成率
重点 「子育てしやすい地域である」と思う人の割合（子育て支援課）								%	87.7%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	66.3	68.1	69.8	71.3	73.5	75.0	75.9	76.8	3
実績	66.3	62.9	67.4	68.0	68.1	65.8			
達成状況の分析	昨年度実績と比較すると割合が減少しており、目標を達成することはできなかった。子育てに関する情報不足や、保護者の就労状況の変化に伴う多様なニーズに対応できていない状況が一部あると推測する。								



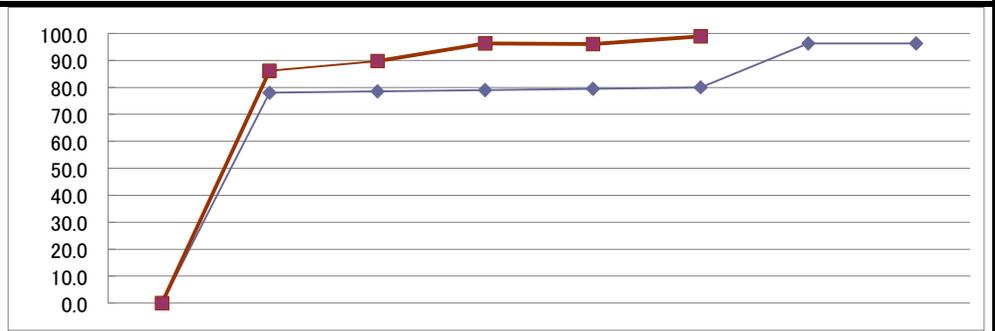
指標								単位	達成率
★ 重点 合計特殊出生率（子ども家庭支援課）								-	91.0%
	2015年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	点数
目標	1.61	1.62	1.63	1.64	1.65	1.66	1.63	1.63	4
実績	1.61	1.62	1.58	1.60	1.51	未確定			
達成状況の分析	2022年合計特殊出生率：令和6年4月確定予定。（実績は保健医療課調べ） 【参考】2021年達成率:91.5%。2020年→2021年妊娠届実績：3119件→3034件へ減少。 コロナ禍による妊娠控えが出生率の減少にも影響していると思われる。								



指標								単位	達成率
1-1 市が支援する独身男女の交流会等の延べ参加者数（子育て支援課）								人	157.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	96	120	120	120	120	120	200	300	5
実績	96	54	48	114	151	189			
達成状況の分析	2020年度から実施する恋文を通じた婚活サポートに加え、2022年度に開始した体験型お見合いイベントの実施等により、昨年度を上回る実績となった。※実績は恋文プロジェクト事業、縁結び応援事業（R4.9～）、農業者ワークライフ支援事業の合計参加者数								



指標								単位	達成率
1-2 産婦健診受診率（子ども家庭支援課）								%	123.6%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	78.0	78.5	79.0	79.5	80.0	96.3	96.3	5
実績	-	86.2	89.8	96.3	96.1	98.9			
達成状況の分析	妊娠届の面接時や産科医療機関等において、産婦健診の受診勧奨を積極的に行うことで、目標を達成することができた。								



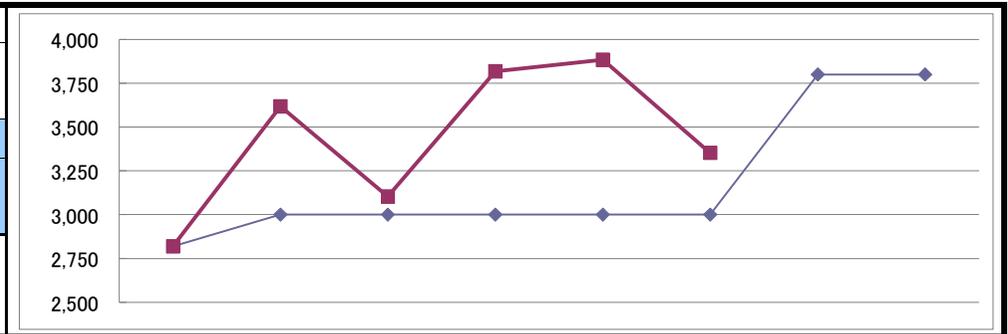
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

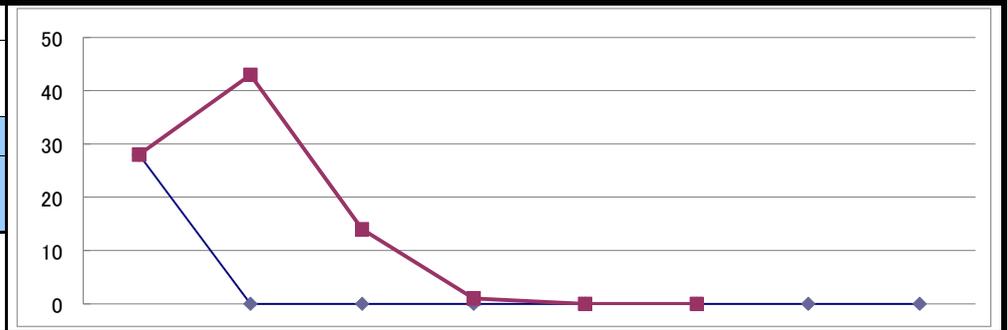
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

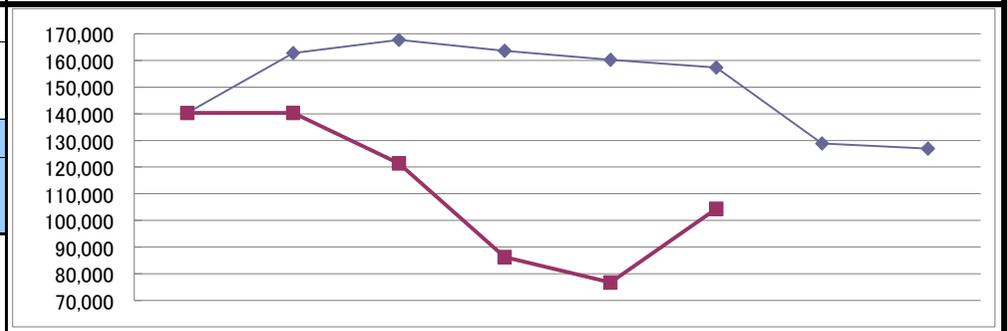
指標								単位	達成率
2-1	母子保健相談延べ支援件数（子ども家庭支援課）							件	111.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	2,819	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,800	3,800	5
実績	2,819	3,618	3,103	3,817	3,884	3,352			
達成状況の分析	特にコロナ禍においては、出産や育児に不安や困りを抱える妊産婦が増えていたが、2022年度はコロナ禍前と同程度の相談実績となった。								



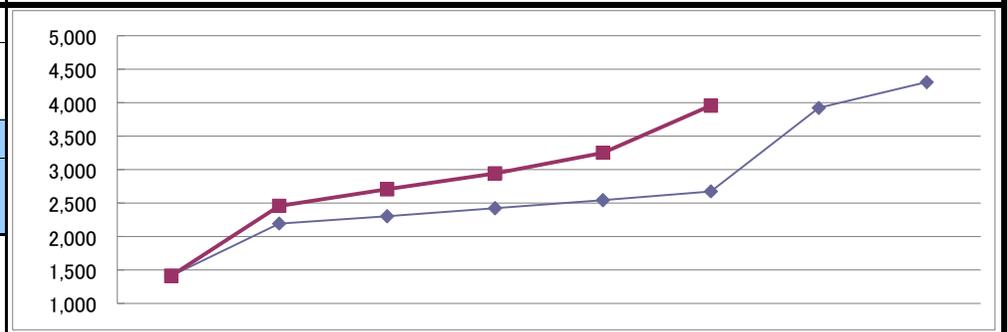
指標								単位	達成率
3-1	保育所等の待機児童数（保育幼稚園課）							人	100.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	28	0	0	0	0	0	0	0	5
実績	28	43	14	1	0	0			
達成状況の分析	利用定員の弾力運用の実施や企業主導型保育事業の利用増などにより、目標達成を維持することができた。ただ、就学前児童数の減少も影響していると思われる。（各翌年度4月1日現在）								



指標								単位	達成率
4-1	地域子育て支援センターの延べ利用者数（子育て支援課）							人	66.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	140,265	162,708	167,640	163,560	160,248	157,308	128,832	126,936	2
実績	140,265	140,345	121,416	86,269	76,796	104,367			
達成状況の分析	前年度に比べると、新型コロナウイルス感染拡大による施設の長期休館はなかったため利用者数は増えたが、職員の感染等による一部休館や利用者による利用控えもあり、目標を達成することができなかった。								



指標								単位	達成率
4-2	障がい児相談支援延べ利用者数（障がい福祉課）							人	147.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	1,415	2,196	2,304	2,424	2,544	2,676	3,922	4,306	5
実績	1,415	2,460	2,708	2,945	3,253	3,956			
達成状況の分析	利用者が増加し、目標を達成した。今後も引き続き利用者が増加することが見込まれることから、相談支援事業所等への助言や研修会等を通して、専門性の高い相談員の確保や育成を図り、相談支援体制の強化を図る必要がある。								



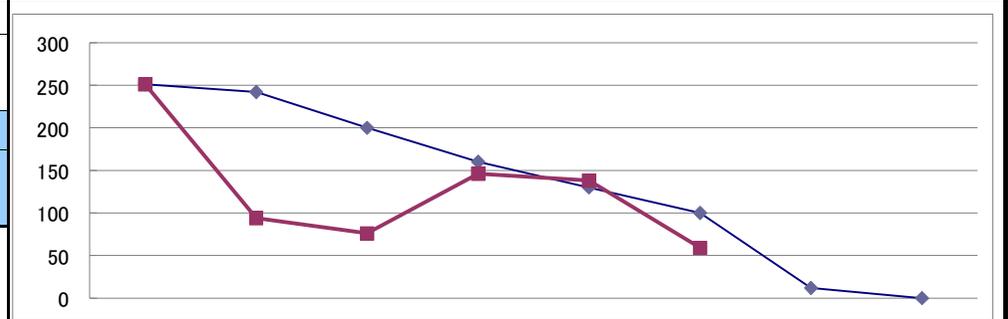
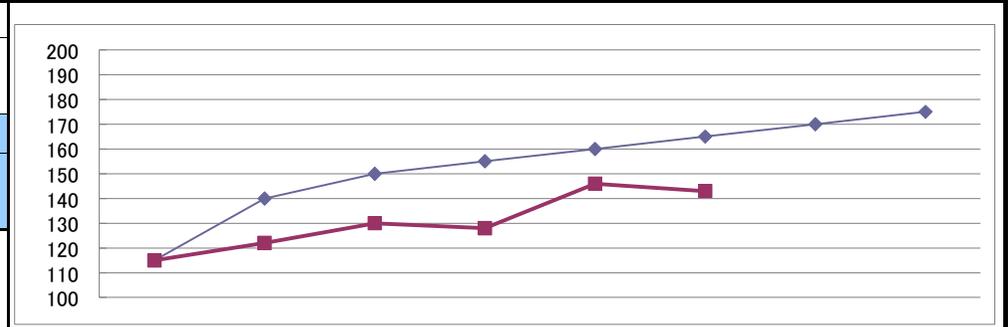
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標								単位	達成率
4-3	学習支援事業参加者数（子育て支援課・社会福祉第一課）							人	86.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	115	140	150	155	160	165	170	175	3
実績	115	122	130	128	146	143			
達成状況の分析	「学習支援ボランティア事業」と「子どもの居場所づくり事業」の登録者数の合計は昨年度とほぼ横ばい状態であり、目標を達成する事ができなかった。 【参考】学習支援ボランティア事業69人、子どもの居場所づくり事業74人								
指標								単位	達成率
5-1	児童クラブの待機児童数（生涯学習課）							人	169.5%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	251	242	200	160	130	100	12	0	5
実績	251	94	76	146	138	59			
達成状況の分析	学校の教室等を整備し、定員枠を拡充したことにより待機児童数の削減を図った。								



総合 計画 体系	基本目標	1 良好な生活機能が確保されている都市（まち）
	重点項目	1-2 2025年問題に対応した「医療・福祉の充実」
	指標関係課	国保年金課、障がい福祉課、地域包括ケア推進課、社会福祉第一課、保健医療課、健康支援課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
1-2-1 地域医療サービスの確保 1-2-2 健康危機管理体制の確立 1-2-3 健康づくりの推進 1-2-4 地域包括ケアシステムの確立 1-2-5 障がい者の自立と社会参加の促進 1-2-6 社会保障の確保	<p>Q：あなたは、2025年問題に対応した「医療・福祉の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.0%</td> <td>6.7%</td> <td>6.5%</td> <td>5.3%</td> <td>4.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>25.2%</td> <td>31.0%</td> <td>31.5%</td> <td>32.9%</td> <td>28.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>36.2%</td> <td>32.5%</td> <td>31.6%</td> <td>31.9%</td> <td>36.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>15.9%</td> <td>12.7%</td> <td>16.7%</td> <td>16.2%</td> <td>19.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>12.7%</td> <td>10.7%</td> <td>7.6%</td> <td>7.3%</td> <td>7.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.0%</td> <td>6.4%</td> <td>6.1%</td> <td>6.4%</td> <td>3.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.0%	6.7%	6.5%	5.3%	4.8%			2	どちらかと言えば感じられる	25.2%	31.0%	31.5%	32.9%	28.0%			3	どちらかと言えば感じられない	36.2%	32.5%	31.6%	31.9%	36.8%			4	感じられない	15.9%	12.7%	16.7%	16.2%	19.4%			5	いずれにも当てはまらない	12.7%	10.7%	7.6%	7.3%	7.4%			6	無回答	5.0%	6.4%	6.1%	6.4%	3.7%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.0%	6.7%	6.5%	5.3%	4.8%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	25.2%	31.0%	31.5%	32.9%	28.0%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	36.2%	32.5%	31.6%	31.9%	36.8%																																																																			
4	感じられない	15.9%	12.7%	16.7%	16.2%	19.4%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	12.7%	10.7%	7.6%	7.3%	7.4%																																																																			
6	無回答	5.0%	6.4%	6.1%	6.4%	3.7%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価	〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕								
<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.9点 (58/15)</td> </tr> </table> <p>(参考：R4内部評価)</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.7点 (71/19)</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	平均点	3.9点 (58/15)	平均点	3.7点 (71/19)	内部評価結果	b	内部評価結果	b	<ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。ただし、主要施策の「1-2-1 地域医療サービスの確保」、「1-2-2 健康危機管理体制の確立」及び「1-2-6 社会保障の確保」に関する取組の成果が出ている。 ・重点目標の「医療サービスに満足している人の割合」及び主要施策の「1-2-4 地域包括ケアシステムの確立」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。
平均点	3.9点 (58/15)								
平均点	3.7点 (71/19)								
内部評価結果	b								
内部評価結果	b								

4 外部評価			
<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table> <p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療・福祉の充実」にも限界がある。病気にならない、健康寿命を伸ばす取組を強化すべき。超高齢化社会に向けたケアマネージャーの育成、介護人材の給与向上が必要。 ・コロナ禍等により自殺死亡率が高止まりしている。若年層への自殺予防対策について、教育現場と連携して一層の強化をお願いしたい。 ・2025年問題による「医療費・社会保障」の課題は、市の財政にも大きく関わる案件のため、「地域包括ケアシステム」の実現と充実が必要であり、地域事務所の取組も重要。 </td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療・福祉の充実」にも限界がある。病気にならない、健康寿命を伸ばす取組を強化すべき。超高齢化社会に向けたケアマネージャーの育成、介護人材の給与向上が必要。 ・コロナ禍等により自殺死亡率が高止まりしている。若年層への自殺予防対策について、教育現場と連携して一層の強化をお願いしたい。 ・2025年問題による「医療費・社会保障」の課題は、市の財政にも大きく関わる案件のため、「地域包括ケアシステム」の実現と充実が必要であり、地域事務所の取組も重要。
外部評価結果	B		
<ul style="list-style-type: none"> ・「医療・福祉の充実」にも限界がある。病気にならない、健康寿命を伸ばす取組を強化すべき。超高齢化社会に向けたケアマネージャーの育成、介護人材の給与向上が必要。 ・コロナ禍等により自殺死亡率が高止まりしている。若年層への自殺予防対策について、教育現場と連携して一層の強化をお願いしたい。 ・2025年問題による「医療費・社会保障」の課題は、市の財政にも大きく関わる案件のため、「地域包括ケアシステム」の実現と充実が必要であり、地域事務所の取組も重要。 			

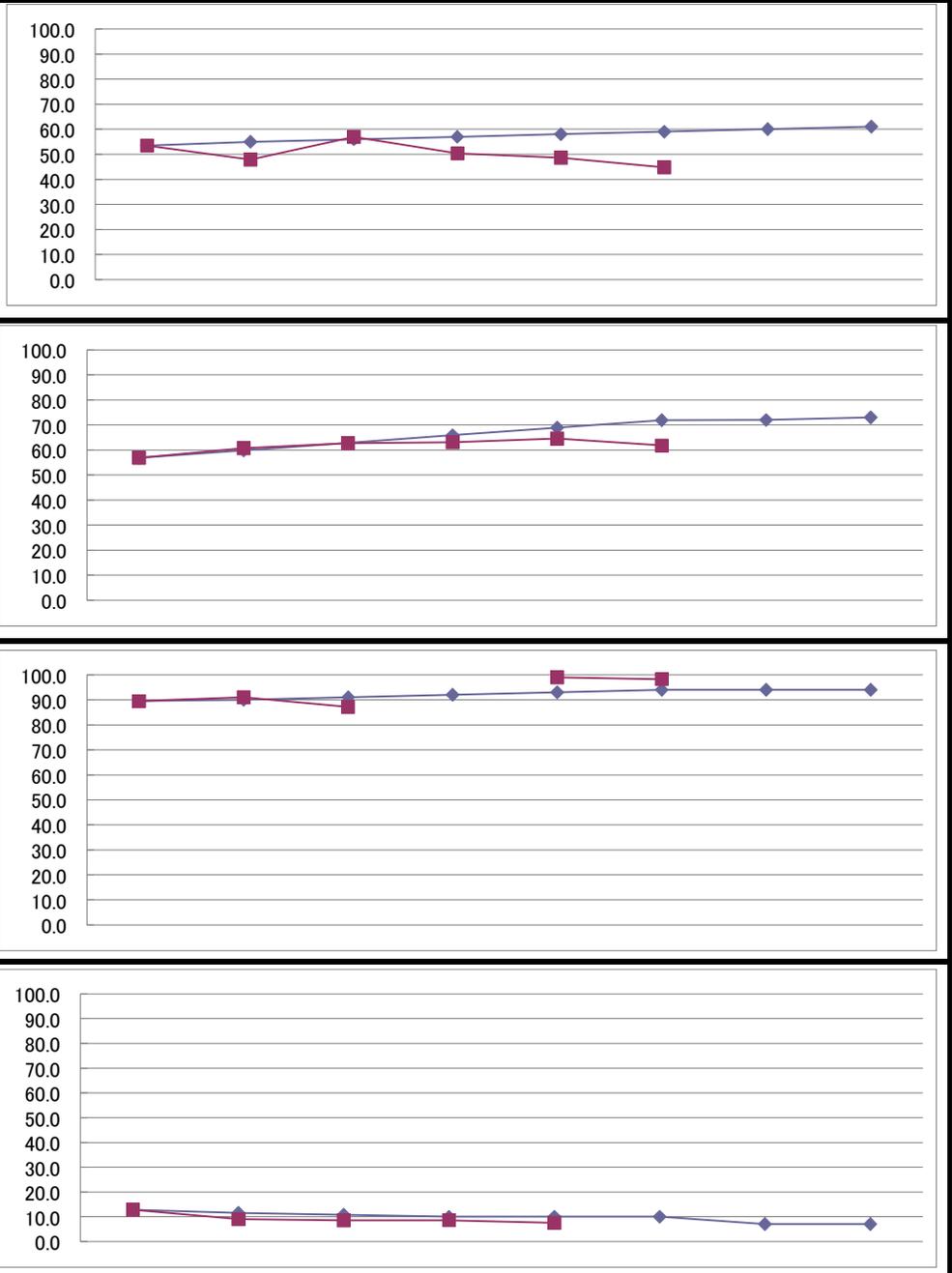
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標		単位								達成率
重点	医療サービスに満足している人の割合（保健医療課）	%								75.9%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	53.5	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	61.0	2
	実績	53.5	47.9	56.9	50.4	48.6	44.8			
達成状況の分析	夜間急病センターの運営や在宅当番医制を実施し、初期救急医療の提供に取り組んだ。また、市に寄せられる医療相談について、各医療機関に情報提供を行うなどしたが、市民意識調査における目標値を達成することはできなかった。									
指標		単位								達成率
重点	「いつまでも在宅で生活したい」と思う人の割合（地域包括ケア推進課）	%								86.0%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	56.9	59.9	62.9	65.9	68.9	71.9	72.0	73.0	3
	実績	56.9	60.7	62.7	63.1	64.6	61.8			
達成状況の分析	将来の在宅生活に安心感を持っている人が増えていないという結果であると思われる。高齢者の75%は持家(マンションを含む)に住んでいることからすると、高齢者一人世帯や高齢者のみの世帯が増えており、不安をもつ人が増えていると考えられる。									
指標		単位								達成率
1-1	病院・診療所の管理運営基準適合率（保健医療課）	%								104.6%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	89.5	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	94.0	94.0	5
	実績	89.5	91.0	87.2	-	99.0	98.3			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症対策のため、2020年度以降、市による立入検査を実施せず、2022年度は国の通知に基づき、病院及び有床診療所による自主点検を行った結果、目標値を上回った。									
指標		単位								達成率
★ 2-1	結核罹患率（対人口10万人）（健康支援課）	-								133.3%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	12.8	11.6	10.8	10.0	10.0	10.0	7.0	7.0	5
	実績	12.8	9.0	8.5	8.6	7.5	未確定			
達成状況の分析	令和5年8月頃確定予定 【参考】2021年度達成率：133.3%									



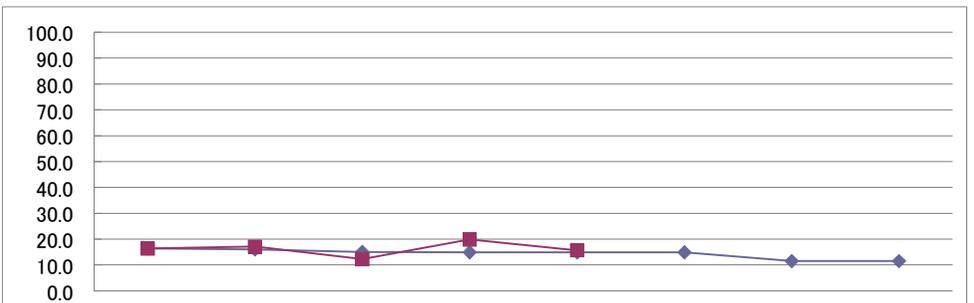
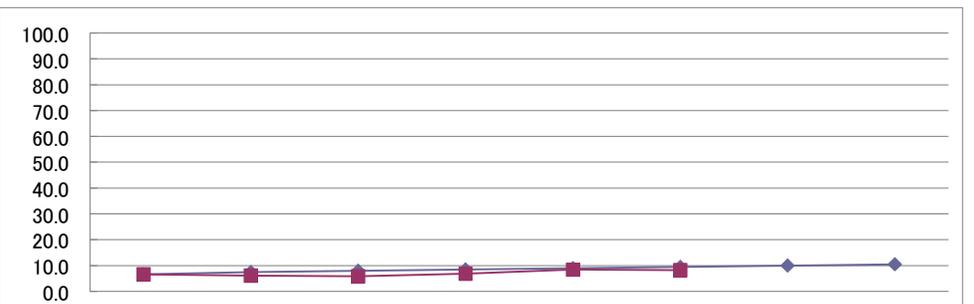
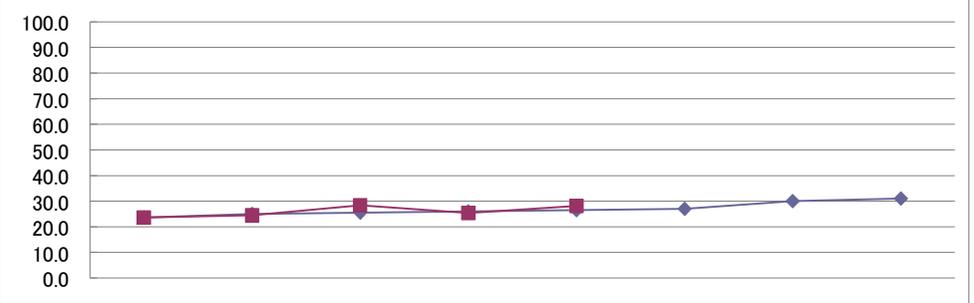
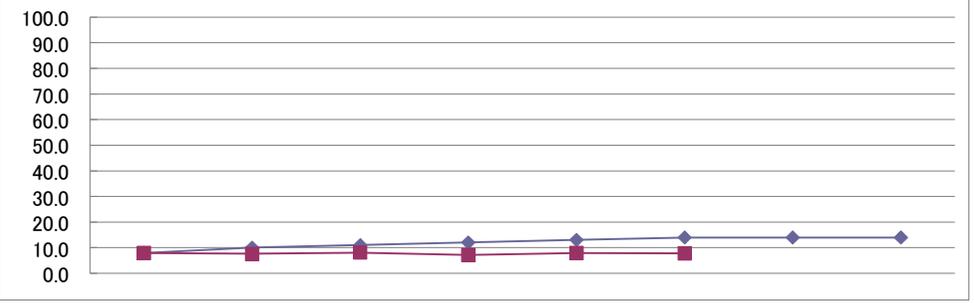
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標		単位								達成率
3-1	胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5つのがん検診の平均受診率（健康支援課）	%								55.7%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		7.9	10.0	11.0	12.0	13.0	14.0	14.0	14.0	2
実績		7.9	7.6	8.1	7.2	7.9	7.8			
達成状況の分析	2019年度をピークに実績値が減少傾向となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により受診控え等の影響もあり、目標値を大きく下回っている。									
指標		単位								達成率
★ 3-2	特定健診受診率（国保年金課）	%								104.1%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		23.6	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	30.0	31.0	5
実績		23.6	24.5	28.4	25.4	28.1	未確定			
達成状況の分析	2021年度：令和5年5月確定予定、2022年度：令和5年10月最終報告値、令和6年5月確定予定 ※令和5年2月時点の速報値は23.3%であり、令和4年2月時点の速報値（21.6%）を上回っている。【参考】2021年度達成率：106.0%									
指標		単位								達成率
3-3	歯周疾患検診受診率（健康支援課）	%								86.3%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		6.6	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	3
実績		6.6	6.1	5.8	6.8	8.4	8.2			
達成状況の分析	未受診勧奨はがきを受診券として使用可能とし（R2~受診券再発行の手続きを省略）、R4年度から未受診勧奨はがきの送付対象者を全世代としたが、受診率は前年度比0.2%減で目標は達成できなかった。									
指標		単位								達成率
★ 3-4	自殺死亡率（対人口10万人）（健康支援課）	-								94.9%
		2015年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		16.4	16.0	15.0	14.9	14.9	14.9	11.5	11.5	4
実績		16.4	17.1	12.3	19.9	15.7	未確定			
達成状況の分析	令和5年9月頃に確定予定。【参考】2021年度達成率：94.9% 本市の自殺死亡率は、2007年以降減少傾向にあったが、コロナ禍において2020年に大きく増加に転じた。新型コロナウイルス感染症の影響から、2021年も高止まり傾向にあり、2022年においてもその影響が懸念される。									



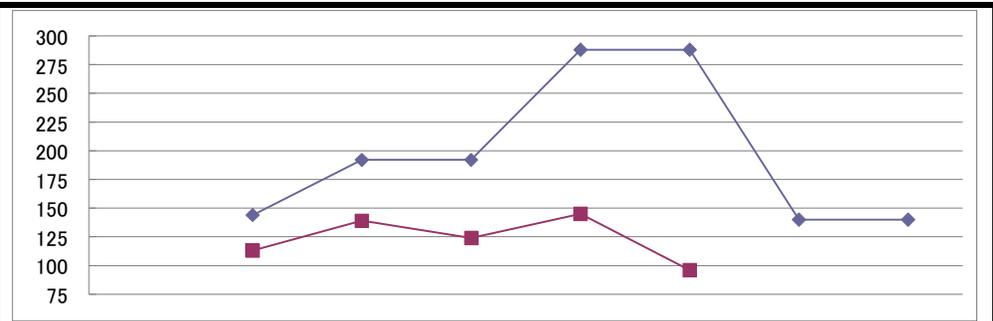
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

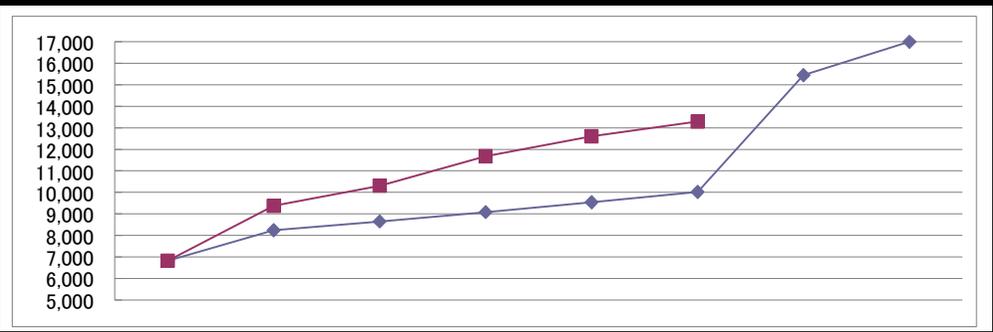
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

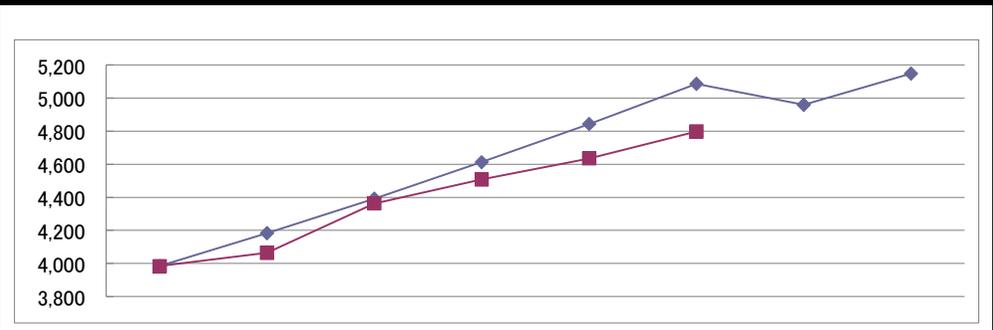
指標								単位	達成率
4-1	自立支援型地域ケア会議に諮るケアプラン件数（地域包括ケア推進課）							件	33.3%
	—	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	—	144	192	192	288	288	140	140	1
実績	—	113	139	124	145	96			
達成状況 の分析	当初目標値では、検討事例数を伸ばすことで課題抽出ができると想定していたが、会議を進めていく中で、個別ケースを丁寧に、参加者で考えるスタイルに変更しているため、目標値に届いていない。								



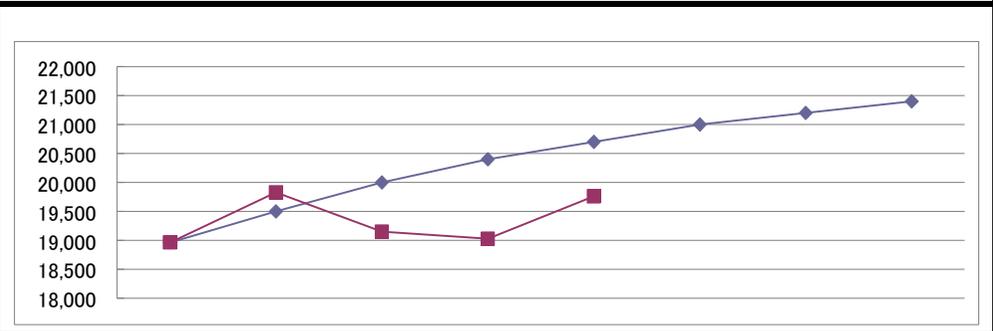
指標								単位	達成率
5-1	障がい者相談支援延べ利用者数（障がい福祉課）							人	132.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	6,827	8,244	8,652	9,084	9,540	10,020	15,444	16,992	5
実績	6,827	9,372	10,311	11,681	12,610	13,287			
達成状況 の分析	利用者が増加し、目標を達成した。 今後も引き続き利用者が増加することが見込まれることから、相談支援事業所等への助言や研修会等を通して、専門性の高い相談員の確保や育成を図り、相談支援体制の強化を図る必要がある。								



指標								単位	達成率
5-2	障がい福祉サービスの支給決定者数（障がい福祉課）							人	94.3%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	3,984	4,183	4,392	4,612	4,843	5,085	4,959	5,147	4
実績	3,984	4,065	4,363	4,507	4,635	4,797			
達成状況 の分析	利用者は微増しているが、目標を達成することができなかった。 【参考】2022年度比103.5%								



指標								単位	達成率
★ 5-3	就労継続支援B型事業所の平均工賃額（月額）（障がい福祉課）							円	94.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	18,964	19,500	20,000	20,400	20,700	21,000	21,200	21,400	4
実績	18,964	19,828	19,151	19,028	19,762	未確定			
達成状況 の分析	令和5年9月に確定 【参考】2021年度達成率：95.5%								



5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆ 目標 ■ 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率
★ 6-1	1人あたりの診療費（国民健康保険）（国保年金課）							円	107.3%	
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	278,519	295,000	304,000	314,000	321,000	328,000	335,000	342,000	5
	実績	278,519	294,464	304,433	290,284	305,620	未確定			
達成状況の分析	令和5年6月確定予定。 【参考】2021年度達成率：105.0%									
指標									単位	達成率
6-2	ジェネリック医薬品の使用率（国保年金課、社会福祉第一課）							%	101.3%	
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	75.1	80.5	81.0	81.5	82.0	82.5	82.6	82.7	5
	実績	75.1	78.5	80.9	81.8	82.0	83.6			
達成状況の分析	ジェネリック医薬品差額通知等により使用率の向上に努め、生活保護世帯については85.3%（前年度83.9%）、国保世帯については83.1%（前年度81.5%）と、生活保護世帯、国保世帯ともに前年度を上回り、目標達成となった。									
指標									単位	達成率
6-3	生活保護受給者で就労可能な者のうち就労支援事業に参加した者の割合（社会福祉第一課）							%	137.6%	
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	30.1	40.0	40.5	41.0	41.5	42.0	58.5	59.0	5
	実績	30.1	28.4	32.7	58.7	57.0	57.8			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響で、延べ4か月間支援活動が制限されたが、粘り強く参加勧奨を行いながら対象者に応じた段階的支援を実施することで、事業参加者数は増加に転じた。※厚生労働省の指標変更に伴い、2019年度実績から「生活保護受給者で」就労支援事業等に「参加可能な者」のうち、参加した者の割合」として集計。									

総合 計画 体系	基本目標	1 良好な生活機能が確保されている都市（まち）
	重点項目	1-3 自然環境の保全と生活の質の向上を図る「居住環境の充実」
	指標関係課	地域安全課、環境政策課、環境業務課、環境指導課、環境施設課、保健衛生課、森林水産課、建築指導課、建築住宅課、公園緑地課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
1-3-1 既存ストックの有効活用 1-3-2 公園・緑地の確保 1-3-3 スマートシティの取組の推進 1-3-4 自然環境の保全 1-3-5 廃棄物対策の推進 1-3-6 暮らしの安全・衛生の確保	Q：あなたは、自然環境の保全と生活の質の向上を図る「居住環境の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.1%</td> <td>7.1%</td> <td>7.1%</td> <td>5.2%</td> <td>4.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>29.4%</td> <td>32.6%</td> <td>33.9%</td> <td>32.5%</td> <td>29.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>35.2%</td> <td>31.4%</td> <td>31.6%</td> <td>33.1%</td> <td>36.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>12.6%</td> <td>10.8%</td> <td>13.9%</td> <td>15.4%</td> <td>17.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>12.3%</td> <td>11.4%</td> <td>7.5%</td> <td>8.0%</td> <td>6.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.4%</td> <td>6.7%</td> <td>6.0%</td> <td>5.8%</td> <td>4.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.1%	7.1%	7.1%	5.2%	4.7%			2	どちらかと言えば感じられる	29.4%	32.6%	33.9%	32.5%	29.5%			3	どちらかと言えば感じられない	35.2%	31.4%	31.6%	33.1%	36.9%			4	感じられない	12.6%	10.8%	13.9%	15.4%	17.6%			5	いずれにも当てはまらない	12.3%	11.4%	7.5%	8.0%	6.8%			6	無回答	5.4%	6.7%	6.0%	5.8%	4.4%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.1%	7.1%	7.1%	5.2%	4.7%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	29.4%	32.6%	33.9%	32.5%	29.5%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	35.2%	31.4%	31.6%	33.1%	36.9%																																																																			
4	感じられない	12.6%	10.8%	13.9%	15.4%	17.6%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	12.3%	11.4%	7.5%	8.0%	6.8%																																																																			
6	無回答	5.4%	6.7%	6.0%	5.8%	4.4%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価

平均点	3.8点 (50/13)
-----	--------------

(参考：R4 内部評価)

平均点	4.0点 (76/19)
-----	--------------

内部評価結果	b
--------	---

内部評価結果	a
--------	---

〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕

- ・取組がやや遅れている。ただし、重点目標の「居住環境に満足している人の割合」、「2013年度総排出量（3,401千t-CO2）を基準とする温室効果ガス排出削減率」、主要施策の「1-3-1 既存ストックの有効活用」及び「1-3-2 公園・緑地の確保」に関する取組の成果が出ている。
- ・一方、一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。
- ・主要施策の「1-3-6 暮らしの安全・衛生の確保」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。

4 外部評価

外部評価結果	B
--------	---

〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で家庭ごみが増えているため、再資源化の徹底とごみの減量化をさらに推進する必要がある。
- ・公園も多くきれいに整備されており環境は良い。山間部における伐採後の植林の推進が必要。
- ・市民の評価である「居住環境に満足している人の割合」が目標値を上回っている点は良い。
- ・「環境学習パートナー派遣回数」が伸び悩んでいる。小学4年生を対象に「5R学習事業」を行っているが、中学生に対しての学習機会が少ない。教育委員会と連携し、中学校での学習の実施を願う。

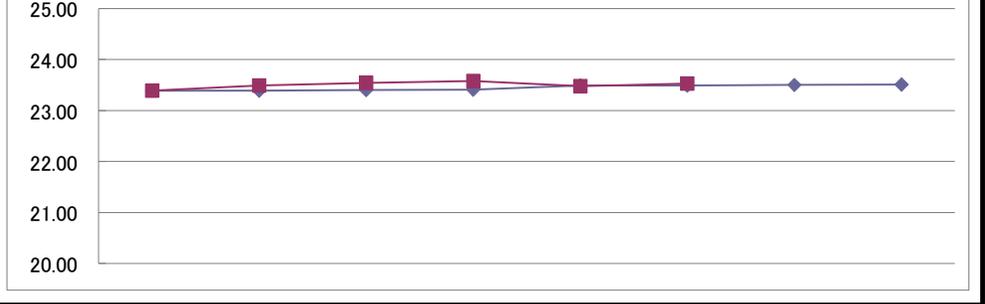
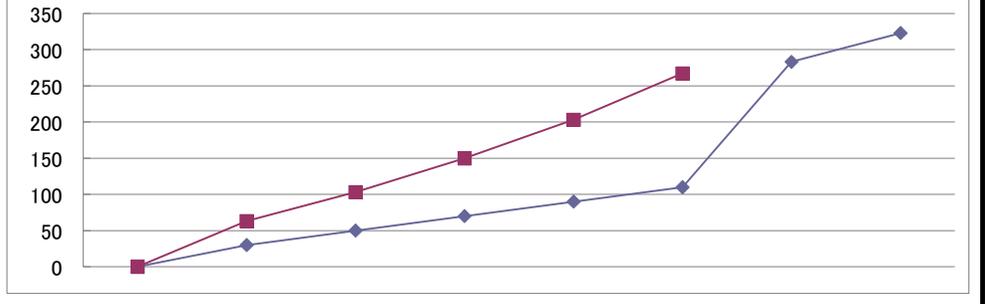
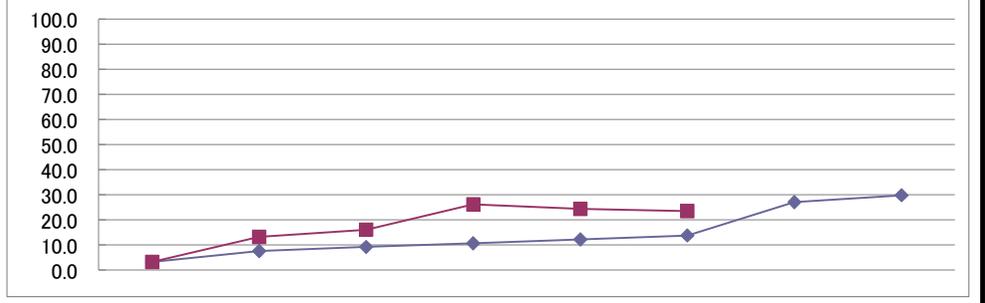
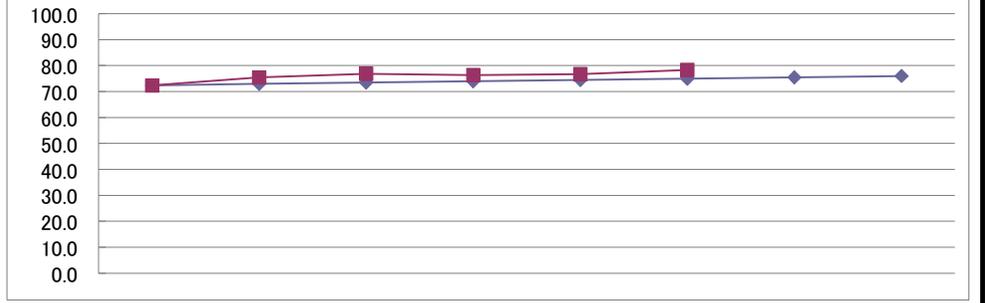
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標		単位								達成率
重点	居住環境に満足している人の割合（地域安全課、環境政策課、環境業務課、環境施設課、建築住宅課、建築行政課）	%								104.4%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	72.3	73.0	73.5	74.0	74.5	75.0	75.5	76.0	5
	実績	72.3	75.4	76.8	76.3	76.7	78.3			
達成状況の分析	居住環境に関する各種取組を実施した結果、目標を達成することができた。									
重点	2013年度総排出量（3,401千t-CO2）を基準とする温室効果ガス排出削減率（環境政策課）	%								170.3%
		2014年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	3.2	7.6	9.2	10.7	12.2	13.8	27.1	29.8	5
	実績	3.2	13.2	16.1	26.2	24.4	23.5			
達成状況の分析	業務部門で大きく削減でき、目標を達成できた。 【参考】環境基本計画 2022目標値 10.7%									
1-1	空き家バンク登録件数（累計）（建築住宅課）	件								242.7%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		0	30	50	70	90	110	283	323	5
	実績	0	63	103	150	203	267			
達成状況の分析	不動産取引に関して専門的知識を有する団体である（一）REC宮崎に空き家バンクの登録及び空き家等に係る相談業務を委託、連携を強化したことにより、目標を大きく上回る成果を上げている。									
2-1	市民1人あたりの都市公園面積(公園緑地課)	㎡/人								100.2%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		23.39	23.39	23.40	23.41	23.49	23.49	23.50	23.51	5
	実績	23.39	23.49	23.54	23.58	23.48	23.53			
達成状況の分析	ふれあい広場を土地所有者に返却したことに伴い、公園面積が約0.08ha減少したが、人口も減少したため、目標を達成することができた。									



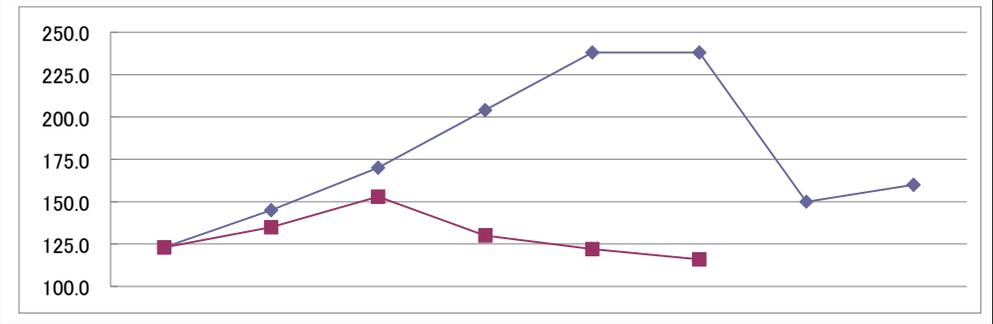
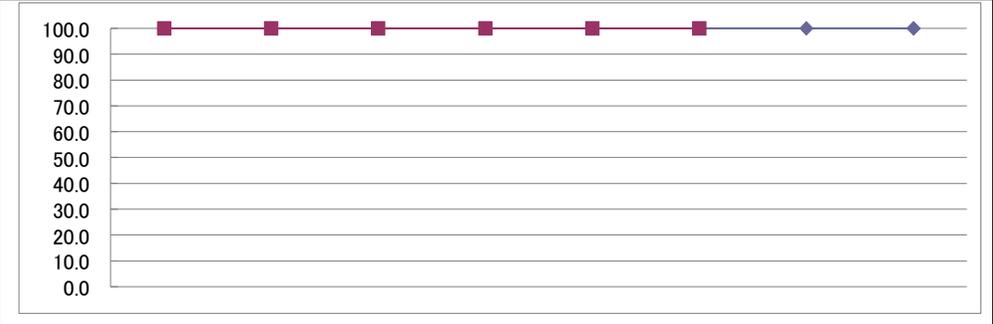
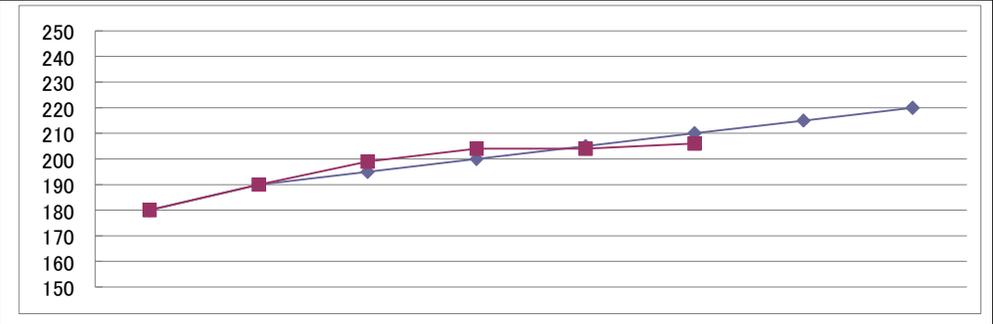
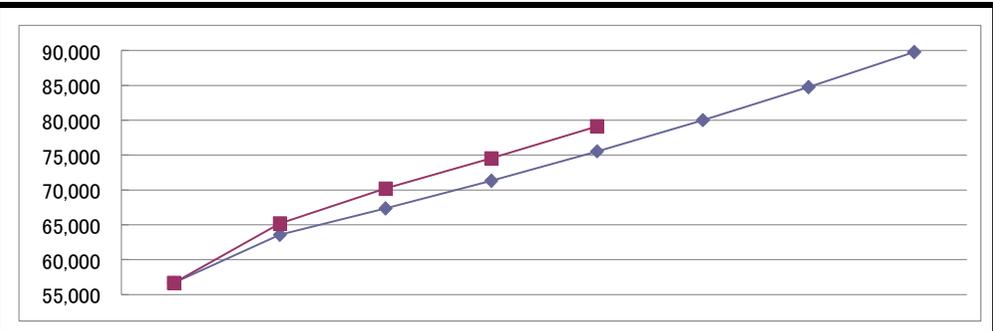
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率
★ 3-1	太陽光発電設備導入容量（10kW未満）（環境政策課）							kW	98.9%	
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	56,667	63,575	67,339	71,325	75,547	80,020	84,757	89,775	4
	実績	56,667	65,194	70,194	74,532	79,110	未確定			
達成状況 の分析	確定時期未定（昨年度は7月末） 【参考】2021年度達成度：104.7% 【参考】2022年度9月末時点の達成率：101.6%									
指標									単位	達成率
3-2	みやぎきエコアクション認証登録事業者数（累計）（環境政策課）							事業者	98.1%	
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	180	190	195	200	205	210	215	220	4
	実績	180	190	199	204	204	206			
達成状況 の分析	2事業者を新規認証したが、目標には届かなかった。									
指標									単位	達成率
4-1	公共用水域環境基準(BOD)達成率（環境指導課）							%	100.0%	
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	5
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
達成状況 の分析	公共用水域の水質は概ね良好であり、検査地点のBOD値は、いずれも環境基準値内であるため、目標を達成することができた。									
指標									単位	達成率
4-2	植林面積（森林水産課）							ha	48.7%	
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	123	145	170	204	238	238	150	160	1
	実績	123	135	153	130	122	116			
達成状況 の分析	植林に係る補助を継続して実施しているが、高齢化や世代交代等により森林に無関心な所有者が増えていることから、植林面積が増えず目標達成に至らなかった。 【参考】植林率 R2年度：41.4% R3年度：31.1% R4年度：41.3%									



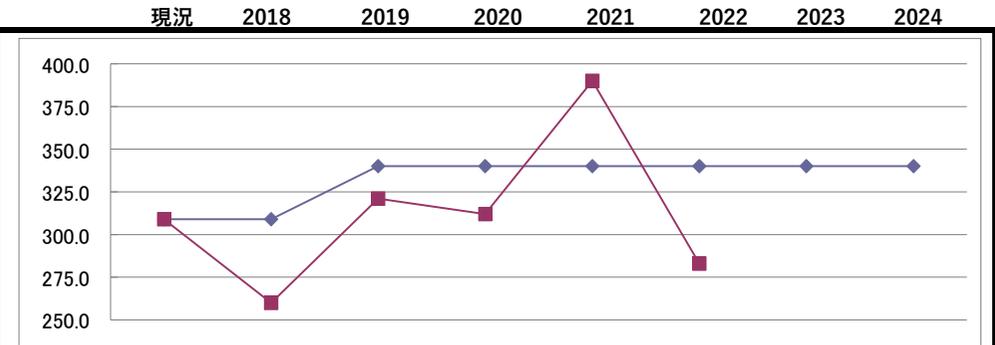
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

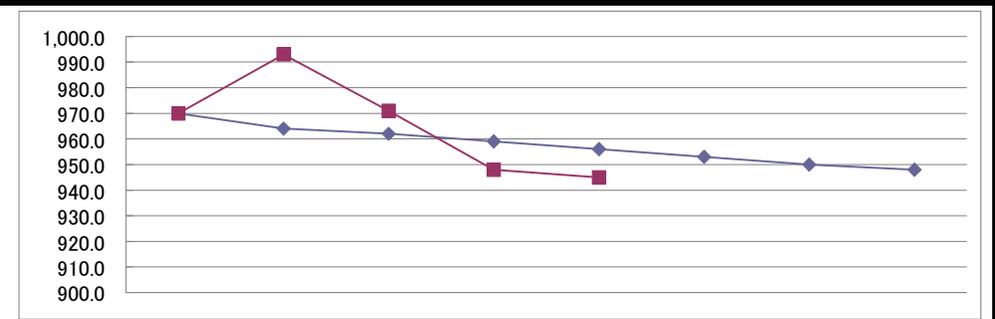
↓ 「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

↓ 「●」は、2023年度から新たに設定した指標のため、2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

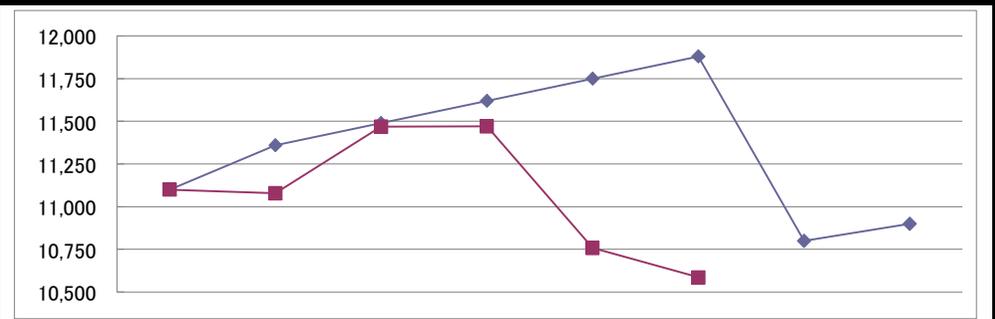
指標								単位	達成率
4-3	伐採面積（森林水産課）							ha	83.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	309	309	340	340	340	340	340	340	3
実績	309	260	321	312	390	283			
達成状況の分析	2021年度をピークとして木材価格が高騰したが、2022年度前半頃から値崩れが始まり現在はピーク時の20%減となったことから、伐採を見合わせたため目標を達成することができなかった。【参考】伐採届件数 R2年度：696件 R3年度：833件 令和4年度：683件								



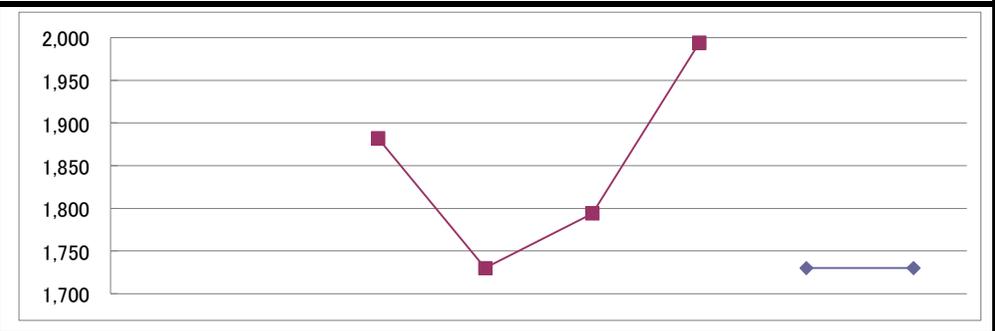
指標								単位	達成率
★ 5-1	市民1人1日あたりのごみ排出量（環境政策課）							g	100.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	970.0	964.0	962.0	959.0	956.0	953.0	950.0	948.0	5
実績	970.0	993.0	971.0	948.0	945.0	未確定			
達成状況の分析	令和5年6月確定予定 順調に削減できている。引き続き啓発を続ける。 【参考】2021年度達成率：101.2%								



指標								単位	達成率
5-2	事業系一般廃棄物収集運搬業許可業者契約件数（環境業務課）							件	89.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	11,100	11,360	11,490	11,620	11,750	11,880	10,800	10,900	3
実績	11,100	11,079	11,468	11,470	10,758	10,586			
達成状況の分析	実績は横ばい傾向が続いている。新型コロナウイルス感染症の影響による事業活動の停滞により廃業等する事業所が増加し、契約件数が減少しているものと思われる。令和6年度から目標値を見直したところである。								



指標								単位	達成率
● 6-1	刑法犯罪認知件数（地域安全課）							件	86.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
実績	-	-	1,882	1,730	1,794	1,994	1,730	1,730	3
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染状況の変化による人流の増加が影響したとみられる。								

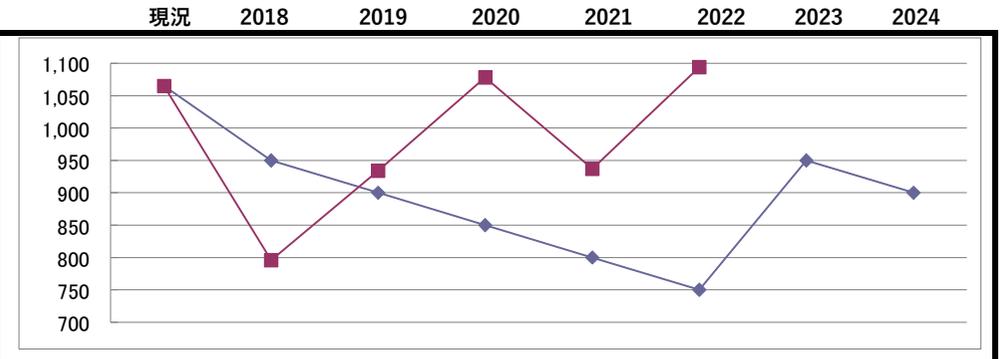


5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

指標								単位	達成率
6-2	犬猫に関する苦情件数（保健衛生課）							件	68.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	1,065	950	900	850	800	750	950	900	2
実績	1,065	796	934	1,078	937	1,094			
達成状況 の分析	「宮崎市動物との共生に関する条例」が施行され、指導を期待する市民からの苦情が増えたため、目標を達成することができなかった。								



総合 計画 体系	基本目標	1 良好な生活機能が確保されている都市（まち）
	重点項目	1-4 災害に強く、暮らしを支える「生活基盤の充実」
	指標関係課	危機管理課、環境施設課、消防局・予防課、消防局・指令課

1 主要施策 1-4-1 防災機能の充実 1-4-2 消防・救急体制の充実 1-4-3 生活インフラの維持・整備	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、災害に強く、暮らしを支える「生活基盤の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.1%</td> <td>7.5%</td> <td>9.3%</td> <td>7.9%</td> <td>5.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>30.8%</td> <td>33.7%</td> <td>37.7%</td> <td>39.0%</td> <td>33.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>35.0%</td> <td>31.4%</td> <td>29.4%</td> <td>29.1%</td> <td>36.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>14.0%</td> <td>11.5%</td> <td>12.4%</td> <td>11.8%</td> <td>15.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>10.2%</td> <td>9.1%</td> <td>5.8%</td> <td>6.8%</td> <td>5.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>4.9%</td> <td>6.8%</td> <td>5.4%</td> <td>5.4%</td> <td>3.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.1%	7.5%	9.3%	7.9%	5.8%			2	どちらかと言えば感じられる	30.8%	33.7%	37.7%	39.0%	33.4%			3	どちらかと言えば感じられない	35.0%	31.4%	29.4%	29.1%	36.1%			4	感じられない	14.0%	11.5%	12.4%	11.8%	15.8%			5	いずれにも当てはまらない	10.2%	9.1%	5.8%	6.8%	5.3%			6	無回答	4.9%	6.8%	5.4%	5.4%	3.6%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.1%	7.5%	9.3%	7.9%	5.8%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	30.8%	33.7%	37.7%	39.0%	33.4%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	35.0%	31.4%	29.4%	29.1%	36.1%																																																																			
4	感じられない	14.0%	11.5%	12.4%	11.8%	15.8%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	10.2%	9.1%	5.8%	6.8%	5.3%																																																																			
6	無回答	4.9%	6.8%	5.4%	5.4%	3.6%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平均点</td> <td>4.5点 (36/8)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：R4内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>4.3点 (52/12)</td> </tr> </table>	平均点	4.5点 (36/8)	平均点	4.3点 (52/12)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>a</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>a</td> </tr> </table>	内部評価結果	a	内部評価結果	a	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・概ね目標を達成している。特に、重点目標の「「防災体制が整っている」と感じている人の割合」及び主要施策の「1-4-3 生活インフラの維持・整備」に関する取組の成果が出ている。</p> </div>	
平均点	4.5点 (36/8)										
平均点	4.3点 (52/12)										
内部評価結果	a										
内部評価結果	a										

4 外部評価			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>A</td> </tr> </table>	外部評価結果	A	<p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・防災体制は整っていると感じている。災害に強いまちづくりに向けて引き続き尽力してほしい。 ・市民レベルの防災訓練の実施、企業のBCP計画策定の推進など、防災・減災の意識を高める取組を強化する必要がある。 ・一時避難ビルの指定数（目標値）については、状況を鑑みて見直した方がいいのではないか。 ・防災体制の強化は各地域で進んでいるが、更に「避難」についての議論を活発化させてほしい。災害復興をどのようにしていくのか考えていく必要がある。 </div>
外部評価結果	A		

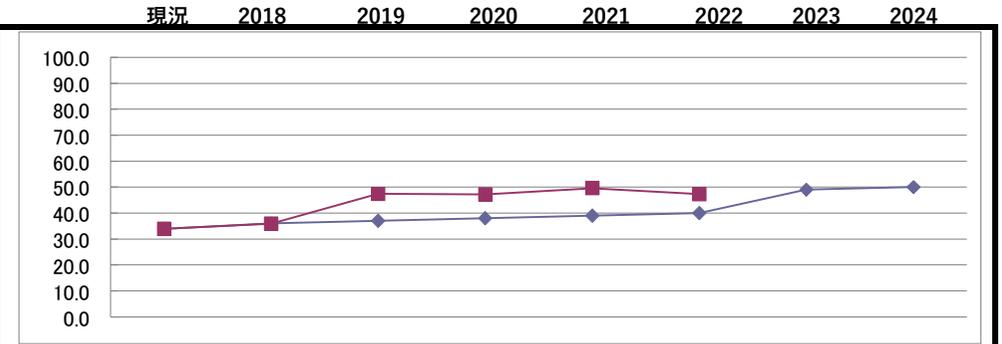
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆ 目標 ■ 実績

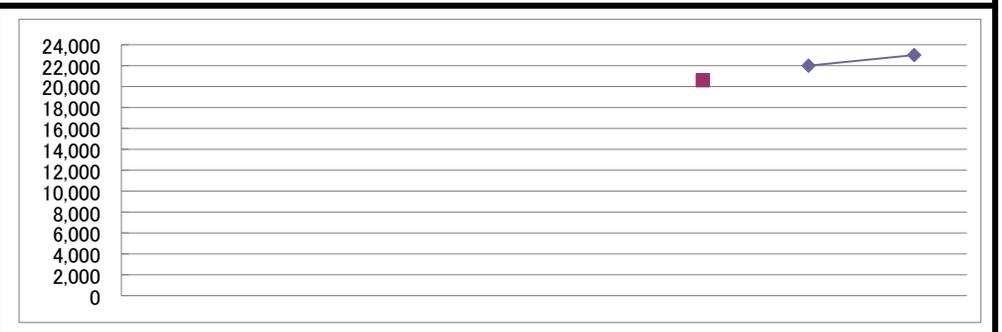
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

↓「●」は、2023年度から新たに設定した指標のため、2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

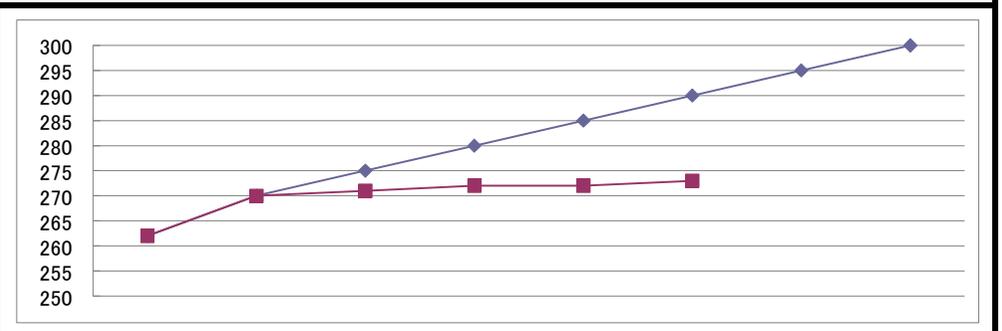
指標								単位	達成率
重点 「防災体制が整っている」と感じている人の割合（危機管理課）								%	118.3%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	33.9	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	49.0	50.0	5
実績	33.9	35.9	47.4	47.2	49.6	47.3			
達成状況 の分析	近年の災害の激甚化などから、市民の防災に対する危機意識がこれまで以上に高まっているものと推察するが、備蓄倉庫、避難経路等の環境整備などをはじめ、地域主体の防災力の向上に資する各種事業を実施するとともに、市公式SNSや防災アプリの運用開始など、市民への情報伝達手段の多重化にも新たに取り組んでおり、自助・共助の重要性の認識もより浸透していくものと考えている。								



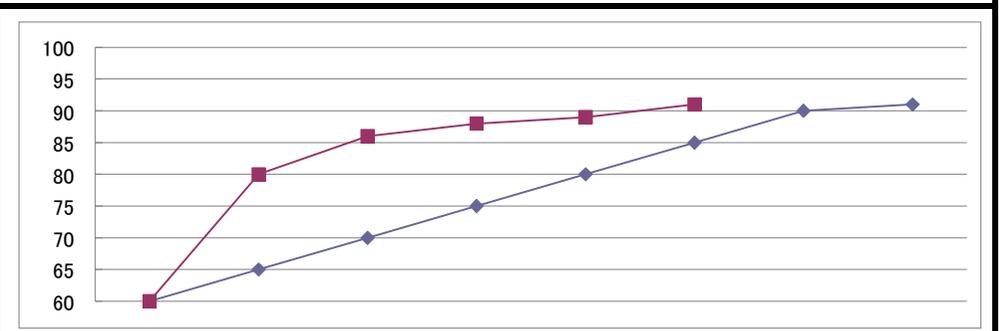
指標								単位	達成率
● 重点 宮崎市防災メール配信件数（危機管理課）								件	93.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	-	-	-	-	-	22,000	23,000	4
実績	-	-	-	-	-	20,589			
達成状況 の分析	情報伝達手段の多重化に取り組んでおり、2022年度から市公式SNS、2023年度から防災アプリを開始したため、防災メールの登録件数はやや鈍化する見込みである。								



指標								単位	達成率
1-1 一時避難ビルの指定数（危機管理課）								件	94.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	262	270	275	280	285	290	295	300	4
実績	262	270	271	272	272	273			
達成状況 の分析	地域住民や関係課の情報提供により随時指定を行っているが、令和4年度は指定2件、指定解除1件で、目標を達成できなかった。								



指標								単位	達成率
1-2 企業との災害協定締結数（危機管理課）								件	107.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	60	65	70	75	80	85	90	91	5
実績	60	80	86	88	89	91			
達成状況 の分析	様々な災害対応を想定し、企業との新たな連携体制の構築、強化について認識を合わせることで、本市の防災行政の向上に資する協定締結の推進が図れている。								



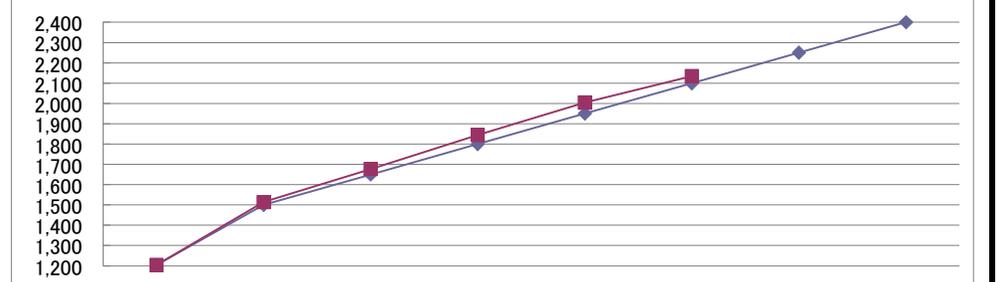
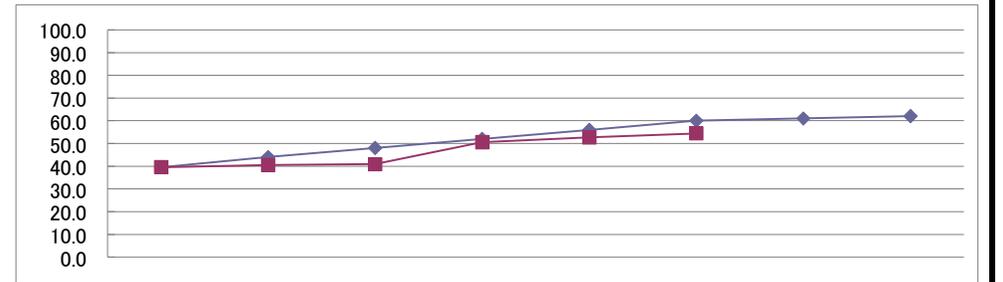
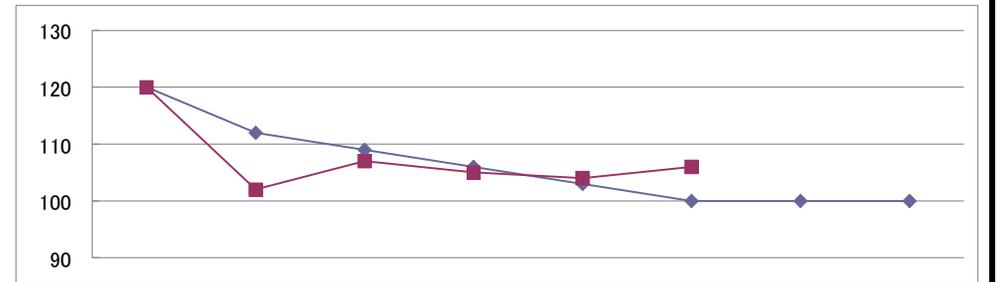
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆ 目標 ■ 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率
2-1	119番通報入電から救急出動指令までの時間（消防局・指令課）								秒	94.3%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		120	112	109	106	103	100	100	100	4
実績		120	102	107	105	104	106			
達成状況の分析	ダブルチェック体制により、迅速・的確な指令を徹底してきたが、新型コロナウイルス感染症関連の通報等での出動判断のための聞き取りに時間を要した事例がみられたため、目標を達成できなかった。									
指標									単位	達成率
2-2	防火管理者の選任率（消防局・予防課）								%	102.4%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		91.2	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5	5
実績		91.2	94.5	95.2	93.9	93.1	95.7			
達成状況の分析	防火管理講習会等を計画的に開催し、目標を達成することができた。									
指標									単位	達成率
2-3	住宅用火災警報器の作動点検率（消防局・予防課）								%	90.8%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		39.6	44.0	48.0	52.0	56.0	60.0	61.0	62.0	4
実績		39.6	40.5	40.9	50.6	52.7	54.5			
達成状況の分析	住宅用火災警報器の作動点検の必要性や重要性について広報を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、戸別訪問等一部制限を受けるなど、目標を達成することができなかった。									
指標									単位	達成率
3-1	公設合併処理浄化槽設置基数（環境施設課）								件	101.6%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		1,204	1,500	1,650	1,800	1,950	2,100	2,250	2,400	5
実績		1,204	1,514	1,677	1,844	2,004	2,134			
達成状況の分析	2017年度（平成29年度）からPFI方式により事業を実施しており、民間事業者の技術やノウハウを活かし効率的な運営を図った結果、目標を達成することができた。									



総合 計画 体系	基本目標	2 良好な地域社会が形成されている都市（まち）
	重点項目	2-1 地域に愛着や誇りをもつ「みやぎっ子の育成」
	指標関係課	学校施設課、学校教育課、教育情報研修センター

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
2-1-1 学力向上の取組の推進 2-1-2 健やかな心身の育成 2-1-3 特別支援教育の充実 2-1-4 教職員の資質の向上 2-1-5 教育環境の充実と学校施設の利活用 2-1-6 地域と学校との連携の推進	Q：あなたは、地域に愛着や誇りをもつ「みやぎっ子の育成」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.5%</td> <td>7.5%</td> <td>7.1%</td> <td>8.0%</td> <td>4.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>29.2%</td> <td>31.1%</td> <td>34.0%</td> <td>32.3%</td> <td>32.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>31.3%</td> <td>28.8%</td> <td>28.5%</td> <td>29.9%</td> <td>31.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>12.1%</td> <td>11.5%</td> <td>12.7%</td> <td>13.9%</td> <td>18.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>16.6%</td> <td>14.3%</td> <td>11.3%</td> <td>10.0%</td> <td>9.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.3%</td> <td>6.8%</td> <td>6.4%</td> <td>5.9%</td> <td>4.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.5%	7.5%	7.1%	8.0%	4.9%			2	どちらかと言えば感じられる	29.2%	31.1%	34.0%	32.3%	32.0%			3	どちらかと言えば感じられない	31.3%	28.8%	28.5%	29.9%	31.4%			4	感じられない	12.1%	11.5%	12.7%	13.9%	18.1%			5	いずれにも当てはまらない	16.6%	14.3%	11.3%	10.0%	9.6%			6	無回答	5.3%	6.8%	6.4%	5.9%	4.0%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.5%	7.5%	7.1%	8.0%	4.9%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	29.2%	31.1%	34.0%	32.3%	32.0%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	31.3%	28.8%	28.5%	29.9%	31.4%																																																																			
4	感じられない	12.1%	11.5%	12.7%	13.9%	18.1%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	16.6%	14.3%	11.3%	10.0%	9.6%																																																																			
6	無回答	5.3%	6.8%	6.4%	5.9%	4.0%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価	〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕								
<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>平均点</td> <td>4.0点 (40/10)</td> </tr> </table> <small>(参考：R4 内部評価)</small> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>a</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.8点 (75/20)</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	平均点	4.0点 (40/10)	内部評価結果	a	平均点	3.8点 (75/20)	内部評価結果	b	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね目標を達成している。特に、主要施策の「2-1-3 特別支援教育の充実」、 「2-1-4 教職員の資質の向上」、 「2-1-5 教育環境の充実と学校施設の利活用」 及び「2-1-6 地域と学校との連携の推進」に関する取組の成果が出ている。 ・主要施策の「2-1-2 健やかな心身の育成」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。
平均点	4.0点 (40/10)								
内部評価結果	a								
平均点	3.8点 (75/20)								
内部評価結果	b								

4 外部評価		
<table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史、文化について、子どもにもっと興味を持ってもらえるよう伝えることが必要。学校に行くことが楽しくなるように、地域との連携強化が必要ではないか。 ・グローバルな人材づくりを行うために県外・海外の方との交流を図る取組が必要ではないか。また、不登校児童生徒に寄り添った一層の取り組みをお願いしたい。 ・地域への愛着や誇りをテーマとして、将来の夢や目標を重点目標としていることはとても素晴らしいが、「大人の背中」をテーマにした指標があってもおもしろい。 ・地域に愛情や誇りを持つには、「地域との関わり」が重要。そのためには、自治会や地域イベントへの積極的な参加や交流等、家族が関わる”仕掛け”を地域で考える必要がある。 	外部評価結果	A
外部評価結果	A	

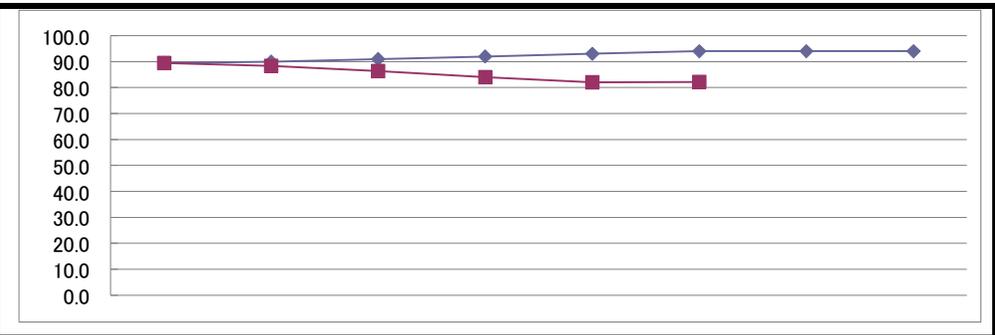
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

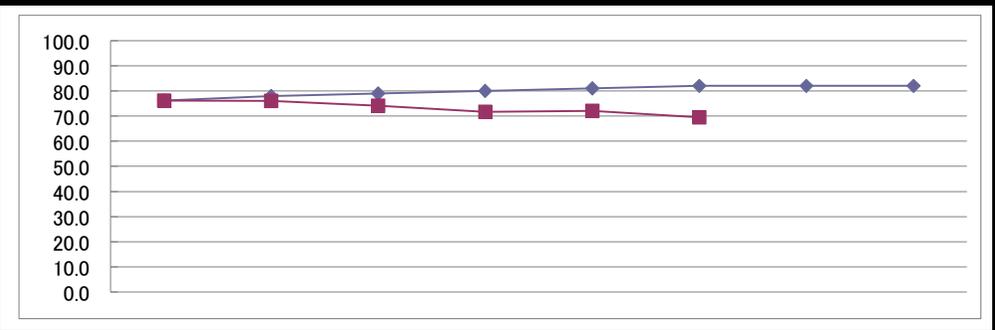
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

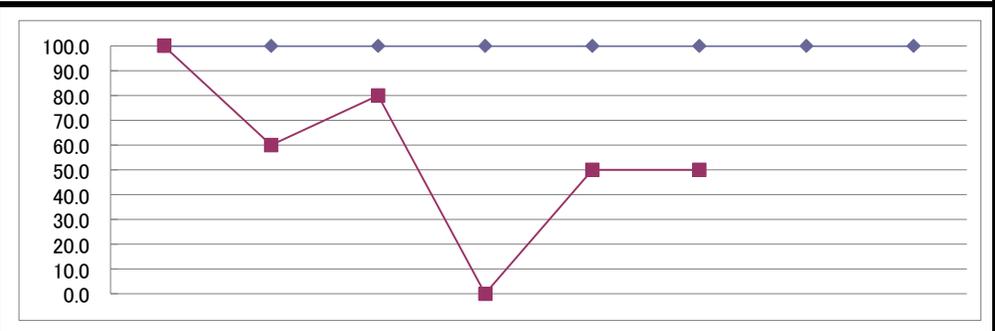
指標		単位								達成率
重点	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合（小学生）（学校教育課）	%								87.4%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		89.5	90.0	91.0	92.0	93.0	94.0	94.0	94.0	3
実績		89.5	88.4	86.4	84.0	82.0	82.2			
達成状況の分析	目標を達成することができなかった。コロナ禍の中、学校行事や地域資源を活用した取組等が制限されたことが一因である。今後は、キャリア教育推進アドバイザーを活用し、各企業・事業所等との連携を通じた取組を行っていく。									



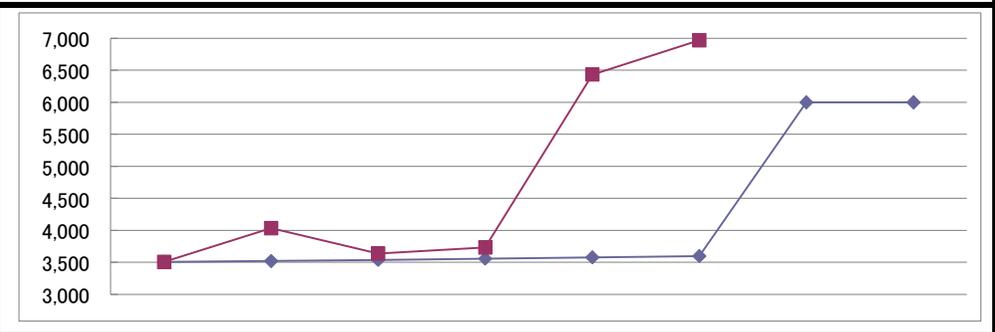
指標		単位								達成率
重点	将来の夢や目標をもっている児童生徒の割合（中学生）（学校教育課）	%								84.8%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		76.2	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0	82.0	82.0	3
実績		76.2	76.0	74.1	71.7	72.1	69.5			
達成状況の分析	コロナ禍のため、職業体験等の職業観・勤労観を育む取組が制限されたことが一因である。今後は、キャリア教育推進アドバイザーを通して、各中学校と各企業・事業所等が連携し、生徒と大人が関わっていく取組を推進する。									



指標		単位								達成率
1-1	全国学力・学習状況調査において、平均正答率が全国水準以上の教科区分数の割合（学校教育課）	%								50.0%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2
実績		100.0	60.0	80.0	-	50.0	50.0			
達成状況の分析	目標を達成することができなかった。個別の支援や協働的な学びが不十分であることが一因である。今後は、指導と評価の方法を具体的に示し、学校支援訪問の効果的な実施や研修の充実を行っていく。									



指標		単位								達成率
1-2	ICT支援員（旧：情報教育アドバイザー）の小学校への派遣回数（教育情報研修センター）	回								193.6%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		3,506	3,520	3,540	3,560	3,580	3,600	6,000	6,000	5
実績		3,506	4,035	3,639	3,734	6,434	6,968			
達成状況の分析	2022年度においては、感染症による一斉休校もなかったことから、計画通りに学校派遣ができたことで目標値を達成することができた。4校1人の人員派遣になったことで、学校へのサポート回数も増え、授業におけるタブレット端末の活用率の向上につながった。									



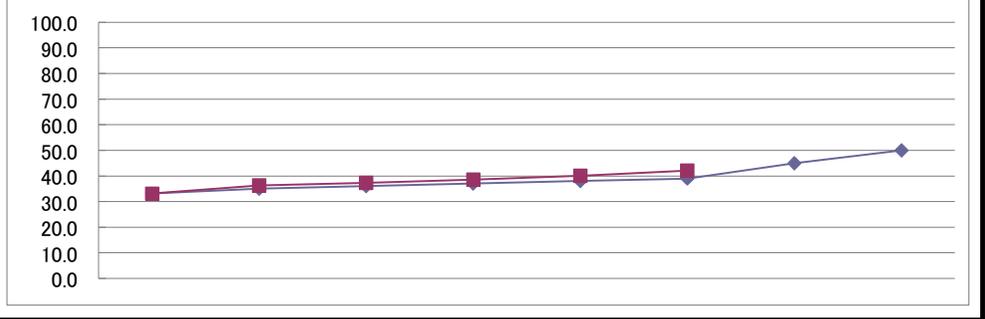
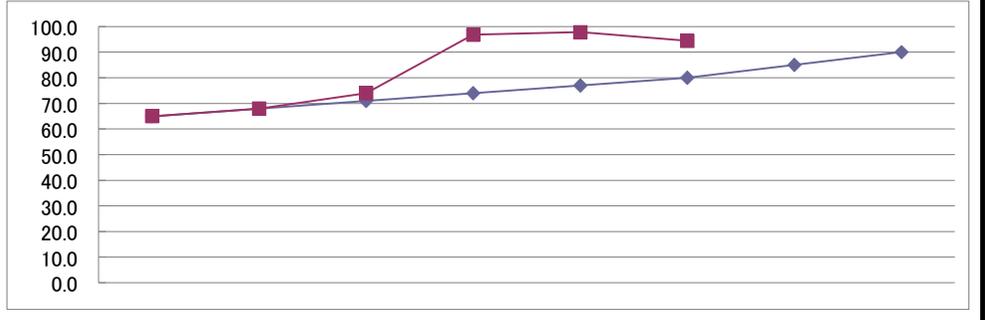
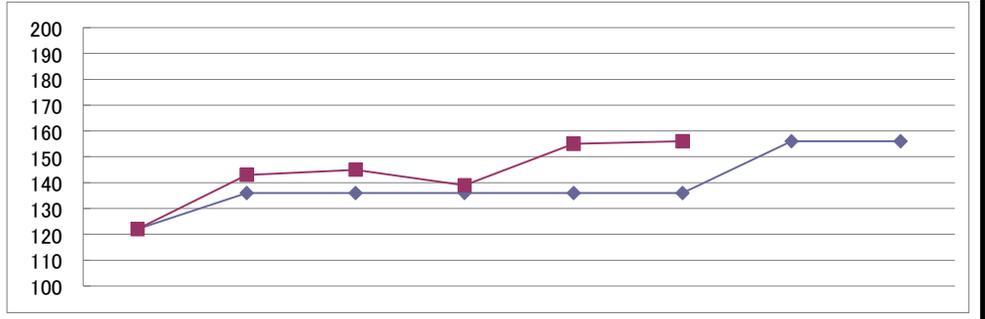
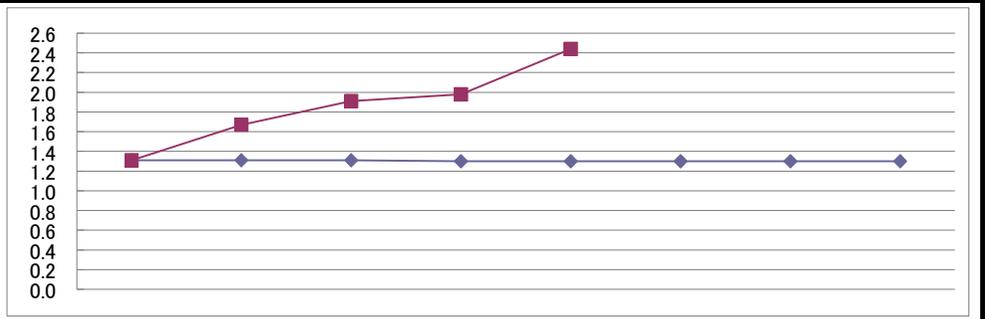
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標								単位	達成率
★ 2-1	不登校児童生徒の割合(学校教育課)							%	53.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	2
	実績	1.3	1.7	1.9	2.0	2.4	未確定		
達成状況 の分析	令和5年11月確定予定。【参考】2021年度達成率：53.3% 不登校児童生徒は増加傾向にあり、目標は達成できていない。不登校の要因が複雑化・多様化しており、学校以外の学びの場を選択するなど、様々な価値観も増加の一因として考えられる。								
指標								単位	達成率
3-1	授業スタッフ、スクールサポーター、生活・学習アシスタントの配置人数(学校教育課)							人	114.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	122	136	136	136	136	156	156	5
	実績	122	143	145	139	155	156		
達成状況 の分析	授業スタッフ、コーディネーターサポートスタッフ(2021年度～)やスクールサポーター、生活・学習アシスタントについて、各学校の実情に応じた配置をすることができた。インクルーシブ教育の観点より、今後とも生活・学習アシスタントの人員増加が見込まれる。								
指標								単位	達成率
4-1	市の研修を受講後、学校で研修成果を生かした教職員の割合(教育情報研修センター)							%	118.0%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	65.0	68.0	71.0	74.0	77.0	80.0	85.0	5
	実績	65.0	68.0	74.0	96.8	97.8	94.4		
達成状況 の分析	受講者のニーズを捉えた研修になっていたこと、研修内容を教育現場で生かしてもらえるように意識づけをしてきたことが要因と考える。								
指標								単位	達成率
5-1	小・中学校のトイレの洋式化率(学校施設課)							%	107.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
	目標	33.1	35.0	36.0	37.0	38.0	39.0	45.0	50.0
	実績	33.1	36.3	37.3	38.6	40.1	42.1		
達成状況 の分析	トイレ洋式化推進事業(17校)に加えて、トイレ改修事業(3校)も実施した結果、目標を達成することができた。								



5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

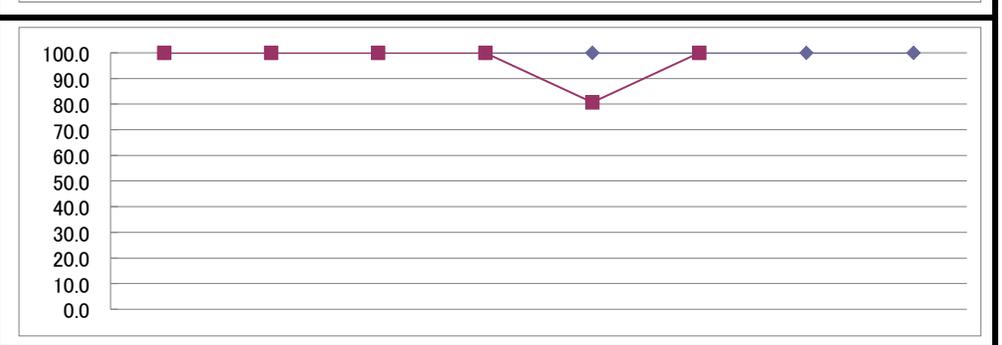
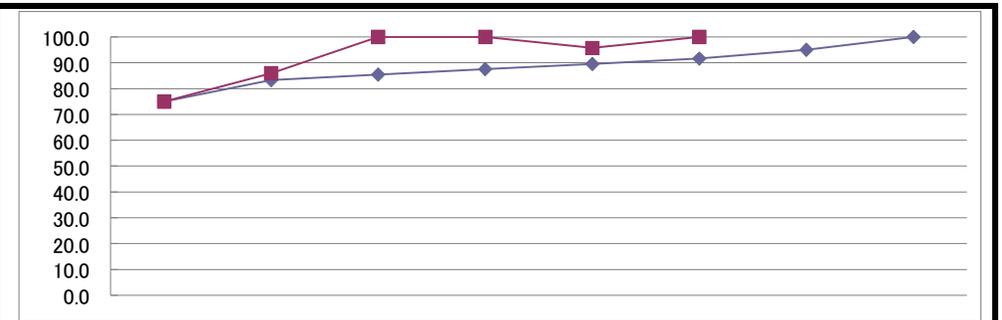
—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標		単位								達成率
6-1	地域人材や産業界と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいる小・中学校の割合（小学校）（学校教育課）									109.2%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		75.0	83.3	85.4	87.5	89.5	91.6	95.0	100.0	5
実績		75.0	85.9	100.0	100.0	95.7	100.0			
達成状況の分析	小学校は、発達の段階に応じて地域とつながった取組を計画的に行っており、2021年度は新型コロナウイルスの影響により一部実施できなかった学校があったが、2022年度は感染状況を確認しながら実施方法を工夫し地域と連携を図ったため目標を達成することができた。									

指標		単位								達成率
6-1	地域人材や産業界と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいる小・中学校の割合（中学校）（学校教育課）									100.0%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	5
実績		100.0	100.0	100.0	100.0	80.7	100.0			
達成状況の分析	2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、職業体験等を中止した学校があり、実績値が低下した。しかし、2022年度は全中学校で感染状況を確認しながら学校に地域や産業界の人材を招聘し職場体験等を実施したため目標を達成することができた。									



総合 計画 体系	基本目標	2 良好な地域社会が形成されている都市（まち）
	重点項目	2-2 多様で自律性のあるコミュニティを形成する「地域力の向上」
	指標関係課	都市戦略課、危機管理課、地域コミュニティ課、文化・市民活動課、福祉総務課、地域包括ケア推進課、消防局・総務課

1 主要施策 2-2-1 地域コミュニティの活性化 2-2-2 地域福祉活動の充実 2-2-3 高齢者の生きがいの場の創出 2-2-4 地域防災の推進 2-2-5 移住・定住対策の推進	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、多様で自律性のあるコミュニティを形成する「地域力の向上」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>4.3%</td> <td>6.1%</td> <td>5.8%</td> <td>4.8%</td> <td>4.4%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>25.2%</td> <td>27.6%</td> <td>30.1%</td> <td>29.4%</td> <td>23.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>37.5%</td> <td>34.9%</td> <td>34.2%</td> <td>34.3%</td> <td>40.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>14.7%</td> <td>12.8%</td> <td>16.3%</td> <td>17.2%</td> <td>19.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>12.7%</td> <td>11.4%</td> <td>7.9%</td> <td>8.4%</td> <td>8.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.6%</td> <td>7.2%</td> <td>5.7%</td> <td>5.9%</td> <td>3.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	4.3%	6.1%	5.8%	4.8%	4.4%			2	どちらかと言えば感じられる	25.2%	27.6%	30.1%	29.4%	23.5%			3	どちらかと言えば感じられない	37.5%	34.9%	34.2%	34.3%	40.9%			4	感じられない	14.7%	12.8%	16.3%	17.2%	19.3%			5	いずれにも当てはまらない	12.7%	11.4%	7.9%	8.4%	8.0%			6	無回答	5.6%	7.2%	5.7%	5.9%	3.9%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	4.3%	6.1%	5.8%	4.8%	4.4%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	25.2%	27.6%	30.1%	29.4%	23.5%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	37.5%	34.9%	34.2%	34.3%	40.9%																																																																			
4	感じられない	14.7%	12.8%	16.3%	17.2%	19.3%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	12.7%	11.4%	7.9%	8.4%	8.0%																																																																			
6	無回答	5.6%	7.2%	5.7%	5.9%	3.9%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">平均点</td> <td>3.6点 (51/14)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：R4 内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 30%;">平均点</td> <td>3.4点 (57/17)</td> </tr> </table>	平均点	3.6点 (51/14)	平均点	3.4点 (57/17)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 30%;">内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	b	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。ただし、主要施策の「2-2-5 移住・定住対策の推進」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。 ・主要施策の「2-2-1 地域コミュニティの活性化」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 	
平均点	3.6点 (51/14)										
平均点	3.4点 (57/17)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	b										

4 外部評価			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会の「地域の課題は地域で解決するという取組」がキャリア教育につながるように、地域の中学校などと一緒に進めてはどうか。 ・自治会加入率の低下に歯止めをかけてほしい。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の横のつながりが無くなっている。コミュニティの再構築が必要。 ・若い人たちは自治会が何のために存在し、どのようなメリットがあるのかさえ分からない。存在そのものも分からない人もいるので、広く周知する機会をつくっていただきたい。 ・各地域・地区における役員や委員の人材不足が問題となっている。どうすれば人材を確保できるのか。リーダーの育成が必要。
外部評価結果	B		

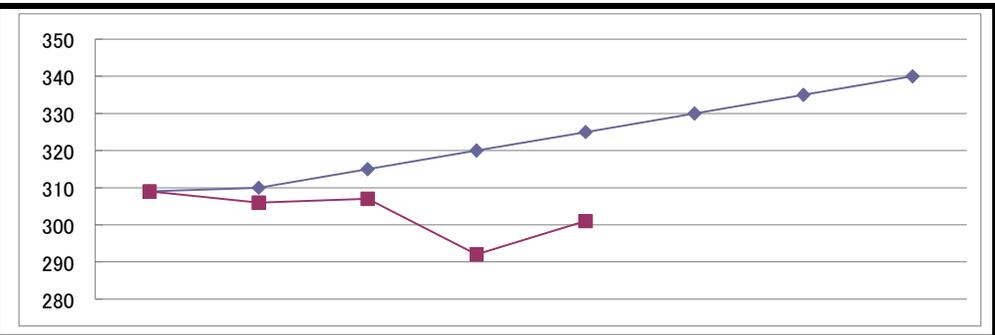
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

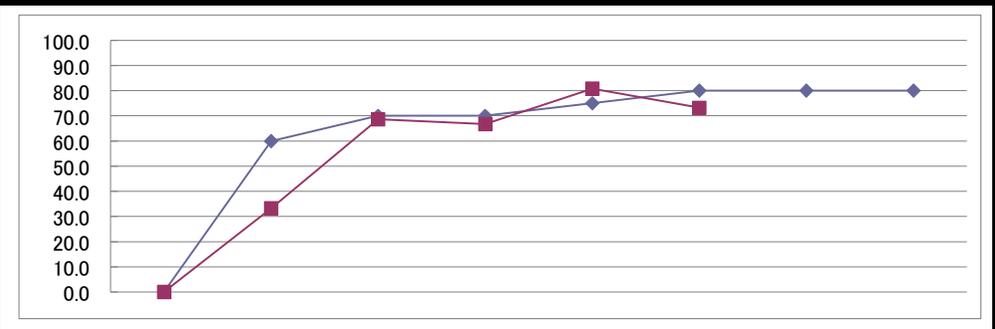
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

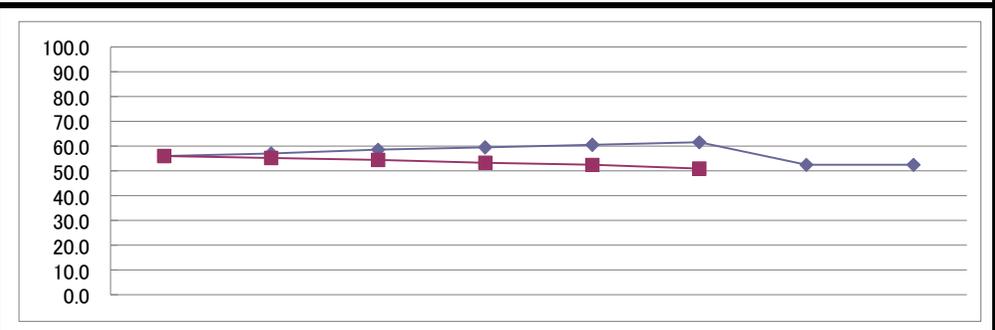
指標								単位	達成率	
★ 重点	協働で行われている事業の数（文化・市民活動課）								事業	91.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	4
	目標	309	310	315	320	325	330	335	340	
実績	309	306	307	292	301	未確定				
達成状況 の分析	令和5年6月に確定予定 【参考】2021年度達成率：92.6%									



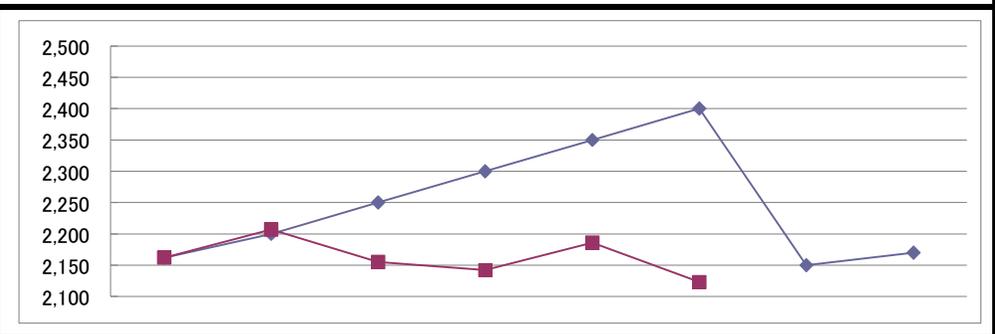
指標								単位	達成率	
重点	移住センターが関与した移住世帯の3年後の定着率（都市戦略課）								%	91.5%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	4
	目標	-	60.0	70.0	70.0	75.0	80.0	80.0	80.0	
実績	-	33.3	68.6	66.7	80.8	73.2				
達成状況 の分析	移住者に対してきめ細かなフォローを行っていたが、目標を達成することができなかった。									



指標								単位	達成率	
1-1	自治会加入率（地域コミュニティ課）								%	82.8%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	3
	目標	56.0	57.0	58.5	59.5	60.5	61.5	52.4	52.4	
実績	56.0	55.2	54.4	53.2	52.4	50.9				
達成状況 の分析	自治会加入率を向上させるため、宮崎市自治会連合会と連携し、未加入者対策補助金の支給等の事業に取り組んでいるが、地域に関する関心や住民相互のつながりの希薄化に伴い、自治会加入世帯数の減少が続いている。									



指標								単位	達成率	
1-2	地域まちづくり推進委員会の委員数（地域コミュニティ課）								人	88.5%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	3
	目標	2,162	2,200	2,250	2,300	2,350	2,400	2,150	2,170	
実績	2,162	2,207	2,155	2,142	2,186	2,123				
達成状況 の分析	地域に対する関心や住民相互のつながりの希薄化に加え、コロナ禍により新規加入を推進するための活動等を充分に行えなかったことも影響し、目標を達成することができなかった。									



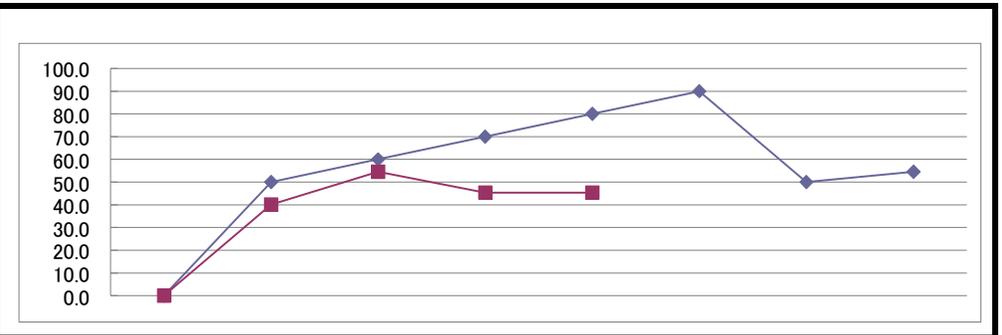
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

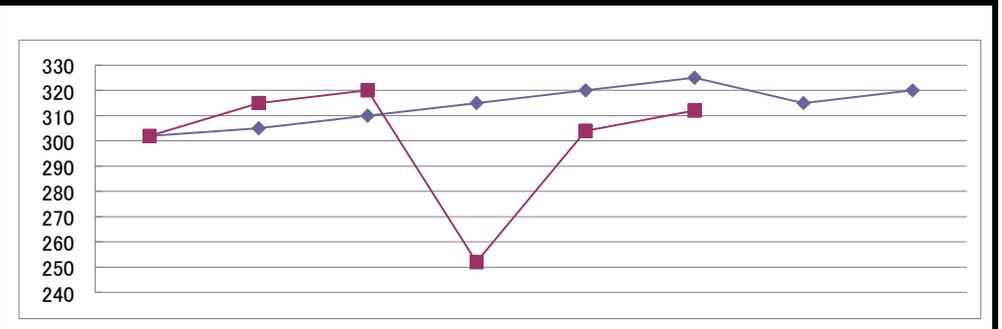
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

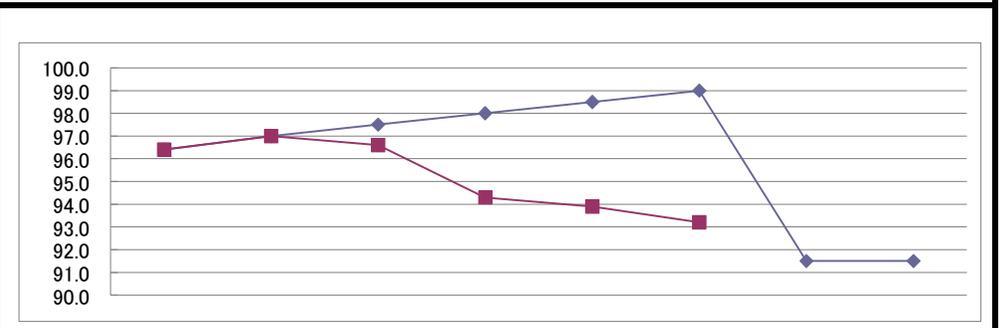
指標								単位	達成率
★ 1-3	地域魅力発信プランの実現率（地域コミュニティ課）							%	50.4%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	50.0	54.5	2
実績	-	40.1	54.5	45.4	45.4	未確定			
達成状況 の分析	令和5年6月末確定予定。 【参考】2021年度達成率：56.8%								



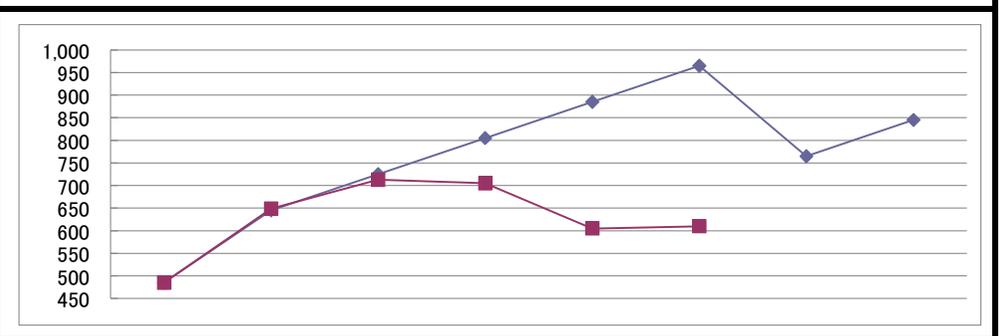
指標								単位	達成率
2-1	地区社会福祉協議会が実施した地域福祉活動事業の数（福祉総務課）							件	96.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	302	305	310	315	320	325	315	320	4
実績	302	315	320	252	304	312			
達成状況 の分析	前年度より実施事業数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、目標を達成することはできなかった。								



指標								単位	達成率
2-2	民生委員・児童委員の充足率（福祉総務課）							%	94.1%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	96.4	97.0	97.5	98.0	98.5	99.0	91.5	91.5	4
実績	96.4	97.0	96.6	94.3	93.9	93.2			
達成状況 の分析	令和4年12月の一斉改選の際に、定数を743名から740名へ見直しを行ったが、新任者の確保が難しく、改選前の委嘱者数を下回ったため、充足率が低下した。【参考】2022年度：民生委員636名、主任児童委員54名 計690名（定数：740名）【参考】2021年度：民生委員644名、主任児童委員54名 計698名（定数：743名）								



指標								単位	達成率
3-1	シニア応援ボランティアの登録者数（地域包括ケア推進課）							人	63.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	485	645	725	805	885	965	765	845	2
実績	485	649	713	705	605	610			
達成状況 の分析	登録者総数（2022年度時点976人）のうち、実際に活動できた登録者数の実績となるが、外出支援やレクリエーション指導等の実績が0であるなど、コロナ禍による施設側の受入制限による影響から目標値を達成することができなかった。								



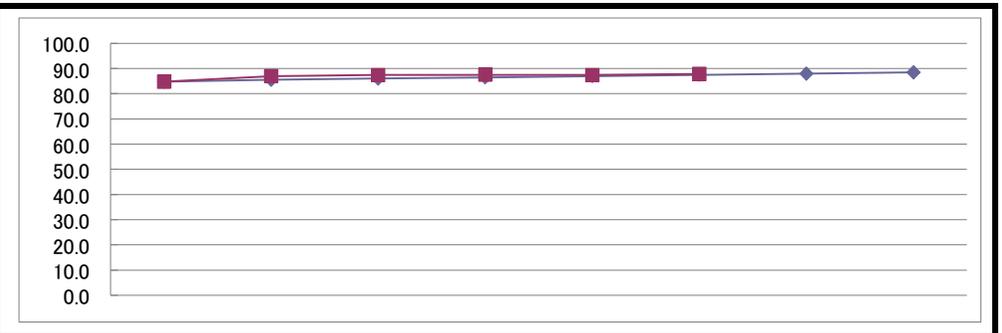
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

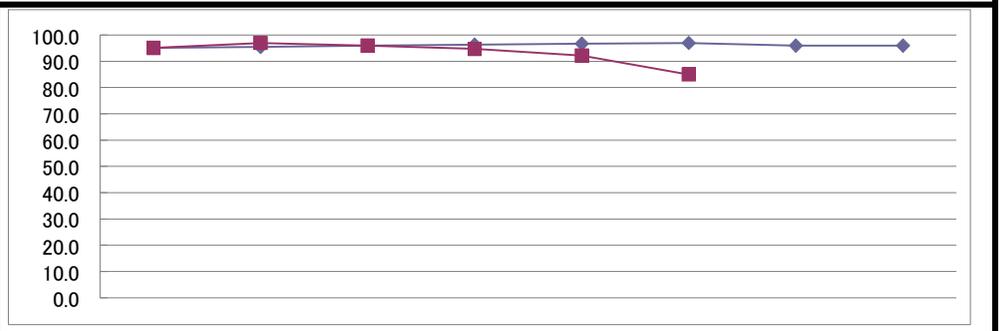
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

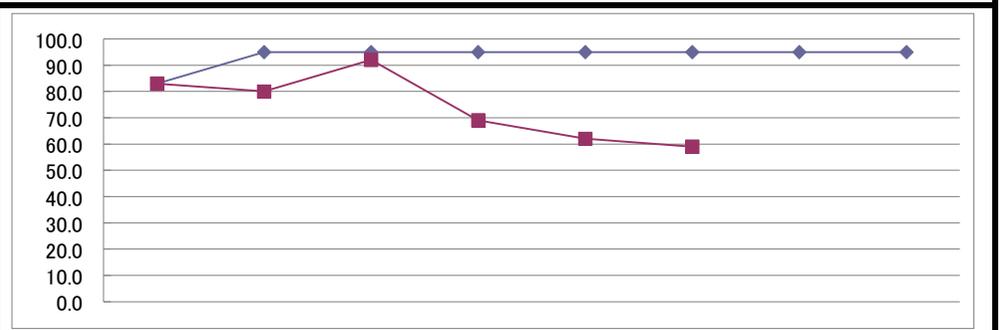
指標								単位	達成率
4-1	自主防災組織の結成率（危機管理課）							%	100.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	84.8	85.5	86.0	86.5	87.0	87.5	88.0	88.5	5
実績	84.8	87.0	87.4	87.5	87.4	87.8			
達成状況の分析	出前講座や防災訓練などを通じ、結成促進に努めた結果、目標を達成することができた。								



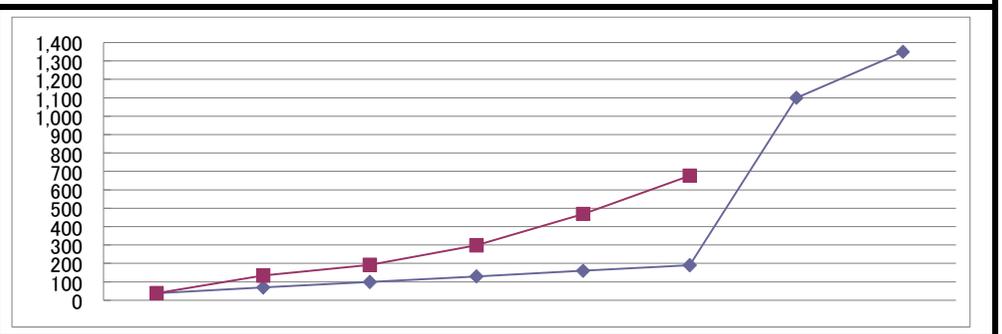
指標								単位	達成率
4-2	消防団員充足率（消防局・総務課）							%	87.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	95.1	95.5	96.0	96.3	96.7	97.0	96.0	96.0	3
実績	95.1	97.0	96.0	94.7	92.2	85.0			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、消防団行事の開催が制限される中、可能な限り消防団員募集や消防団活動PRを行ったが、十分な効果が得られなかった。また、団員のうち被用者の割合が年々高くなり、仕事と団活動の両立が困難となり、退団者が新規入団者を上回ったため目標を達成できなかった。								



指標								単位	達成率
4-3	市の登録料の助成を受けた防災士の数（危機管理課）							人	62.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	83	95	95	95	95	95	95	95	2
実績	83	80	92	69	62	59			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座の参加者数が減少し、目標値未達となった。								



指標								単位	達成率
5-1	移住センターが関与した移住世帯数（累計）（都市戦略課）							世帯	356.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	38	70	100	130	160	190	1,100	1,350	5
実績	38	134	192	299	469	677			
達成状況の分析	移住支援金の周知による申請の増加や、きめ細かな相談対応により、新たに208世帯（388人）が移住し、目標を達成できた。 【参考】2021年度移住世帯数170世帯（307人）								



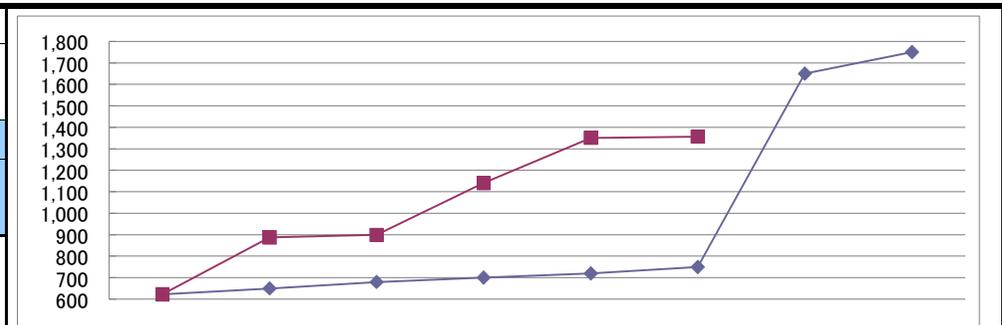
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

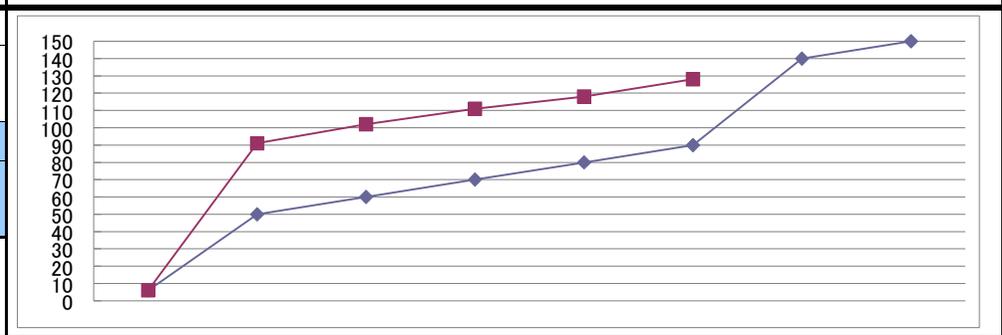
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標								単位	達成率
5-2	移住センターにおける移住希望者の相談件数（都市戦略課）							件	180.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	622	650	680	700	720	750	1,650	1,750	5
実績	622	888	899	1,141	1,351	1,357			
達成状況 の分析	移住支援金の相談件数の割合が全体の64.7%を占めており、移住支援金制度の周知や内容の拡充が寄与したことで、目標を達成できた。								



指標								単位	達成率
5-3	移住アンバサダーの登録件数（都市戦略課）							件	142.2%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	6	50	60	70	80	90	140	150	5
実績	6	91	102	111	118	128			
達成状況 の分析	移住アンバサダーによる事業者への登録の呼びかけや、移住センターによるアンバサダー制度の周知により、登録事業者が増加し目標を達成できた。								



総合 計画 体系	基本目標	2 良好な地域社会が形成されている都市（まち）
	重点項目	2-3 一人一人が尊重され、生き生きと暮らせる「共生社会の確立」
	指標関係課	秘書課、総務法制課、人事課、地域コミュニティ課、文化・市民活動課、スポーツランド推進課、生涯学習課、文化財課

1 主要施策 2-3-1 人権尊重・男女共同参画の推進 2-3-2 生涯学習の機会の提供 2-3-3 文化芸術の振興や市民スポーツの推進 2-3-4 国際交流と多文化共生の推進	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、一人一人が尊重され、生き生きと暮らせる「共生社会の確立」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>3.7%</td> <td>5.3%</td> <td>5.4%</td> <td>4.2%</td> <td>3.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>22.1%</td> <td>25.5%</td> <td>25.4%</td> <td>25.5%</td> <td>21.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>38.3%</td> <td>37.1%</td> <td>36.4%</td> <td>36.1%</td> <td>40.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>17.8%</td> <td>13.8%</td> <td>18.2%</td> <td>18.5%</td> <td>22.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>12.8%</td> <td>12.2%</td> <td>8.7%</td> <td>9.5%</td> <td>8.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.3%</td> <td>6.1%</td> <td>5.9%</td> <td>6.2%</td> <td>3.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	3.7%	5.3%	5.4%	4.2%	3.0%			2	どちらかと言えば感じられる	22.1%	25.5%	25.4%	25.5%	21.8%			3	どちらかと言えば感じられない	38.3%	37.1%	36.4%	36.1%	40.9%			4	感じられない	17.8%	13.8%	18.2%	18.5%	22.2%			5	いずれにも当てはまらない	12.8%	12.2%	8.7%	9.5%	8.5%			6	無回答	5.3%	6.1%	5.9%	6.2%	3.7%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	3.7%	5.3%	5.4%	4.2%	3.0%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	22.1%	25.5%	25.4%	25.5%	21.8%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	38.3%	37.1%	36.4%	36.1%	40.9%																																																																			
4	感じられない	17.8%	13.8%	18.2%	18.5%	22.2%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	12.8%	12.2%	8.7%	9.5%	8.5%																																																																			
6	無回答	5.3%	6.1%	5.9%	6.2%	3.7%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">平均点</td> <td>3.2点 (38/12)</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">(参考：R4内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 30%;">平均点</td> <td>2.9点 (43/15)</td> </tr> </table>	平均点	3.2点 (38/12)	平均点	2.9点 (43/15)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td style="width: 30%;">内部評価結果</td> <td>-</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	-	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。ただし、重点目標の「文化芸術を通して、心豊かに暮らす人の割合」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、影響を受けた指標の割合は昨年度より小さく、重点項目の評価を行うことができた（昨年度は「評価できない（－）」としていた）。 	
平均点	3.2点 (38/12)										
平均点	2.9点 (43/15)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	-										

4 外部評価				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ公園施設は充実しているが、屋内型の文化イベント、エンターテインメントの要素が少ないのではないか。 ・「人権尊重や男女共同参画」の意識は、年々、市民に浸透してきているように思えるが、「国際交流と多文化共生」に関しては、浸透していないように思えるため、インバウンドを介した交流事業等があると良いのではないか。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ公園施設は充実しているが、屋内型の文化イベント、エンターテインメントの要素が少ないのではないか。 ・「人権尊重や男女共同参画」の意識は、年々、市民に浸透してきているように思えるが、「国際交流と多文化共生」に関しては、浸透していないように思えるため、インバウンドを介した交流事業等があると良いのではないか。
外部評価結果	B			
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ公園施設は充実しているが、屋内型の文化イベント、エンターテインメントの要素が少ないのではないか。 ・「人権尊重や男女共同参画」の意識は、年々、市民に浸透してきているように思えるが、「国際交流と多文化共生」に関しては、浸透していないように思えるため、インバウンドを介した交流事業等があると良いのではないか。 				

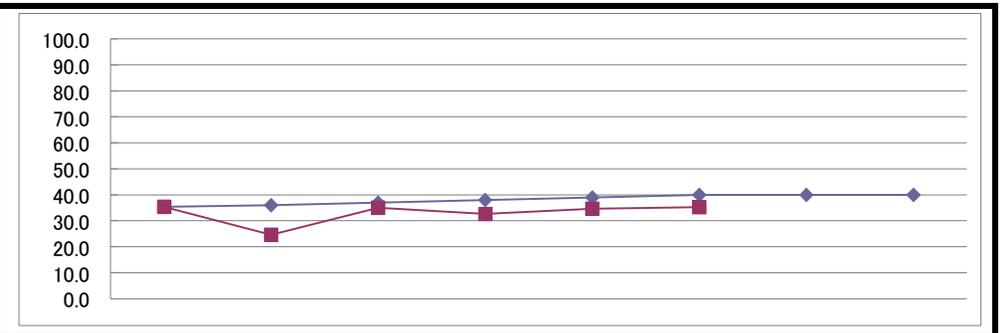
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆目標 ■実績

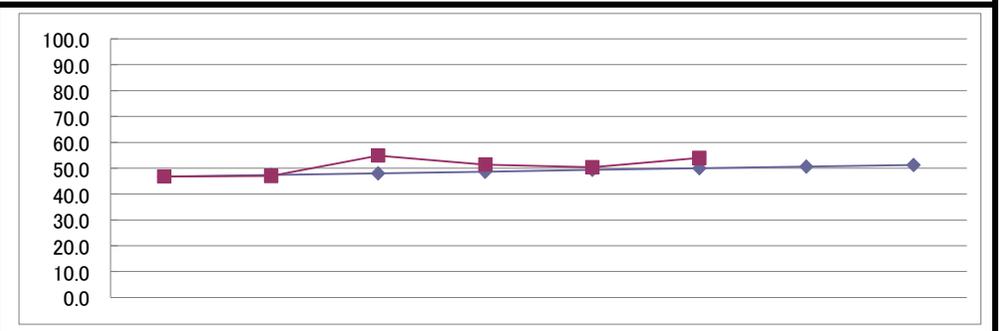
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

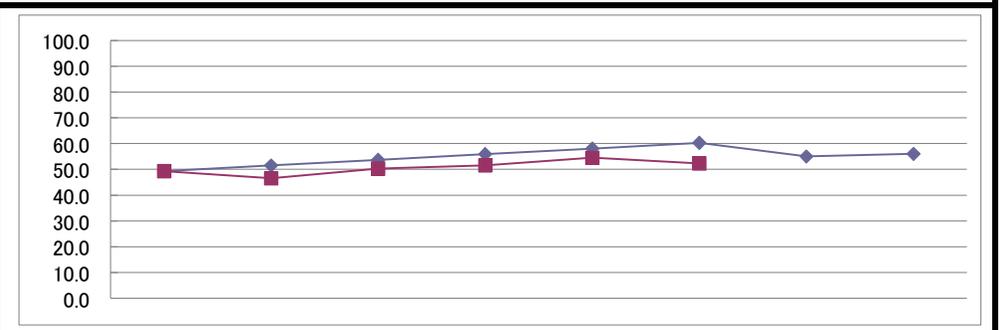
指標								単位	達成率	
重点	「一人一人がお互いを理解し、尊重し合う社会である」と思う人の割合（総務法制課）								%	88.0%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	35.4	36.0	37.0	38.0	39.0	40.0	40.0	3	
実績	35.4	24.6	35.0	32.6	34.6	35.2				
達成状況の分析	人権の尊重について、映画の上映やパネル展の実施、講演会などを行ったが、目標を達成することができなかった。									



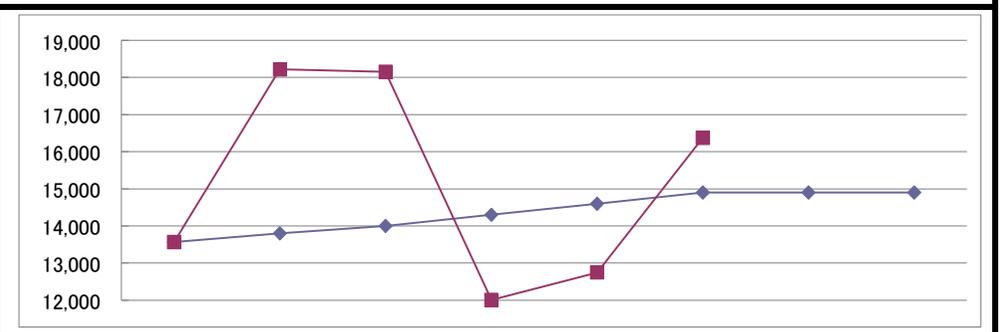
指標								単位	達成率	
重点	文化芸術を通して、心豊かに暮らす人の割合（文化・市民活動課）								%	108.0%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	46.8	47.4	48.0	48.6	49.4	50.0	50.6	51.2	
実績	46.8	47.0	54.9	51.4	50.4	54.0			5	
達成状況の分析	文化事業の継続により、市民が芸術活動に関わる機会を継続していることから、目標を達成することができた。									



指標								単位	達成率	
重点	「スポーツ等の運動に親しめる環境にある」と思う人の割合（スポーツランド推進課）								%	86.7%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	49.3	51.5	53.7	55.9	58.1	60.3	55.0	56.0	
実績	49.3	46.5	50.3	51.5	54.5	52.3			3	
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響もありながら、半数以上がスポーツ等の運動に親しめる環境にあるとの回答を得ることができた。									



指標								単位	達成率	
1-1	市男女共同参画センター利用者数（文化・市民活動課）								人	109.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
	目標	13,564	13,800	14,000	14,300	14,600	14,900	14,900	14,900	
実績	13,564	18,216	18,150	12,006	12,747	16,372			5	
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止の目的で、食事等の一部制限はしたが、閉館や利用人数制限等は行わなかったため、従前の利用者数に戻つつある。									



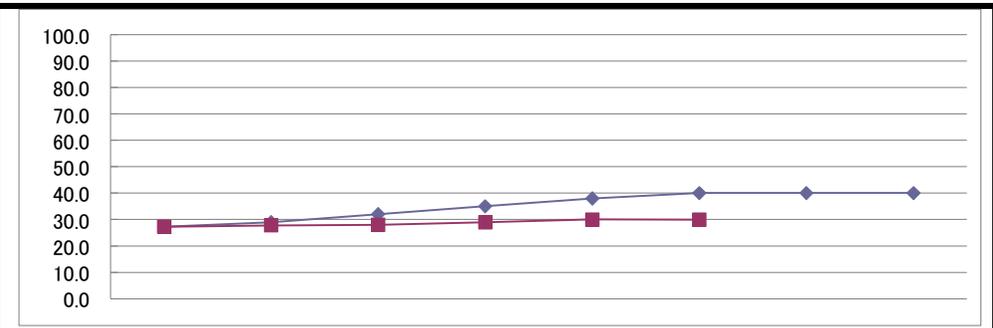
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆ 目標 ■ 実績

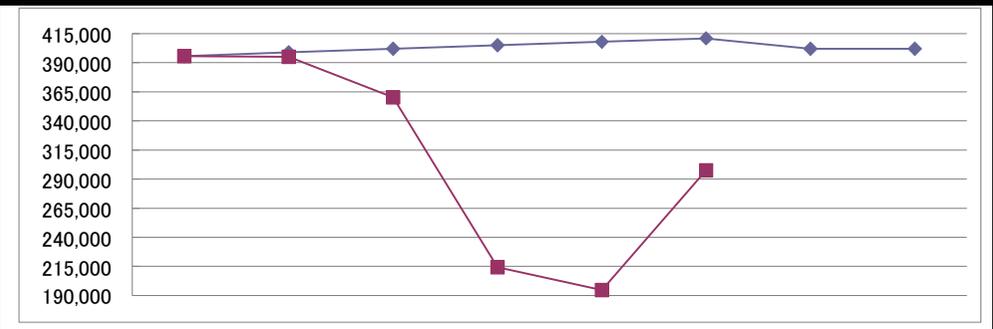
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

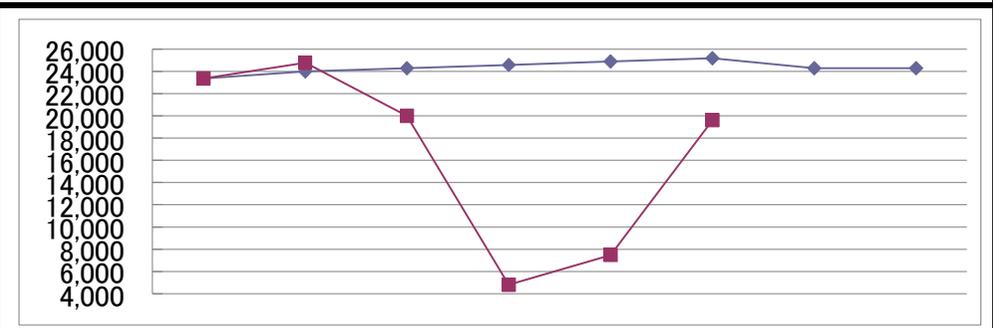
指標								単位	達成率
1-2	市が設置する審議会、委員会等における女性委員の割合（人事課）							%	74.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	27.3	29.0	32.0	35.0	38.0	40.0	40.0	40.0	2
実績	27.3	27.8	28.0	29.0	30.0	29.9			
達成状況の分析	委員の選任にあたっては、人事課と所管課で事前協議を行い、必要に応じて審議会等に協力を求めた結果、女性委員の割合が4割を超えた審議会数が39審議会(2021年度)から43審議会(2022年度)に増加したが、新規設置の審議会もあり、目標を達成するまでには至らなかった。								



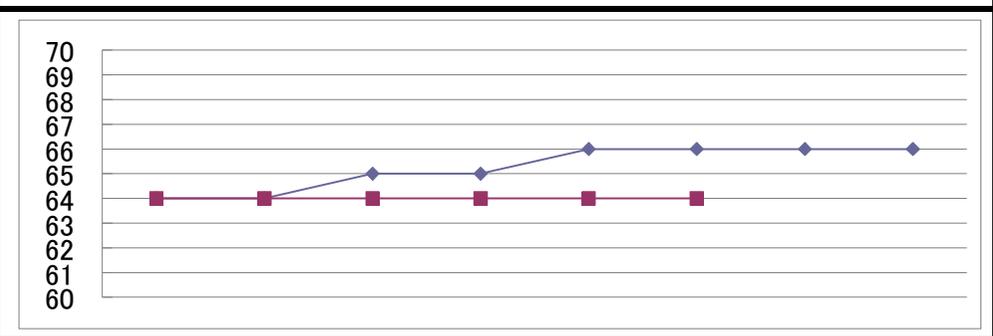
指標								単位	達成率
2-1	生涯学習活動による公立公民館等の利用者数（生涯学習課、地域コミュニティ課）							人	72.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	395,614	399,000	402,000	405,000	408,000	411,000	402,000	402,000	2
実績	395,614	395,148	360,145	214,314	194,571	297,566			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、講座や自主グループが利用を中止あるいは自粛したため、前年度より実績値は増加したが目標を達成できなかった。								



指標								単位	達成率
3-1	市民が企画運営する文化イベントに係る参加者数（文化・市民活動課）							人	77.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	23,386	24,000	24,300	24,600	24,900	25,200	24,300	24,300	2
実績	23,386	24,781	20,009	4,791	7,478	19,617			
達成状況の分析	新型コロナウイルスの影響があり目標は達成できなかったが、収容率の制限が廃止されるなどもあり徐々に従前の参加者数に戻りつつある。								



指標								単位	達成率
3-2	民俗芸能登録団体数（文化財課）							団体	97.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	64	64	65	65	66	66	66	66	4
実績	64	64	64	64	64	64			
達成状況の分析	新型コロナ感染症拡大により、積極的な伝承活動を行うことができなかったため、登録団体数も増加せず、昨年度と同数に留まった。								



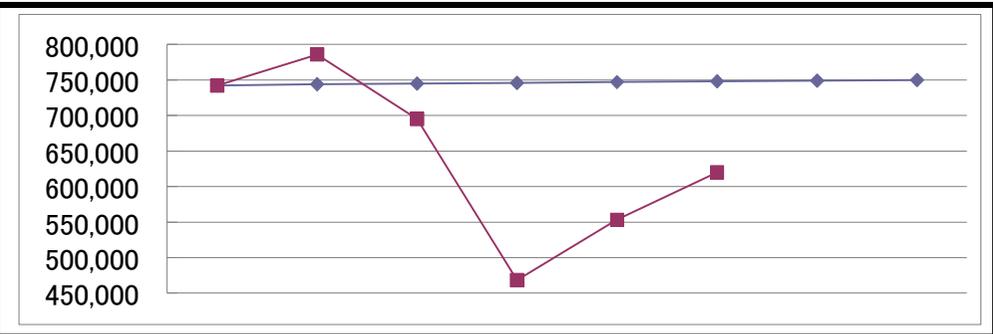
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

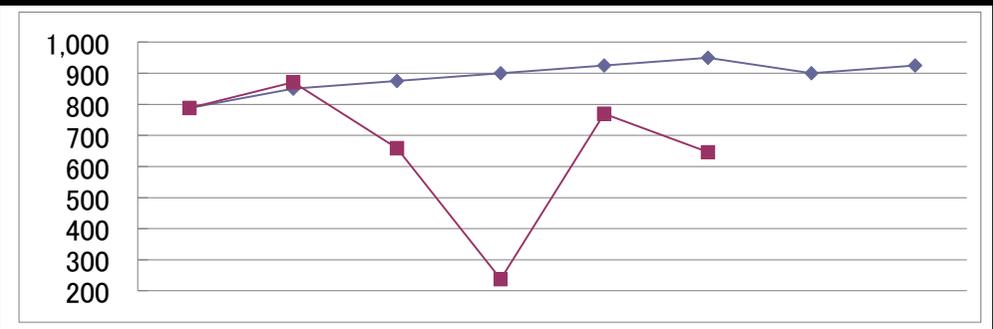
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

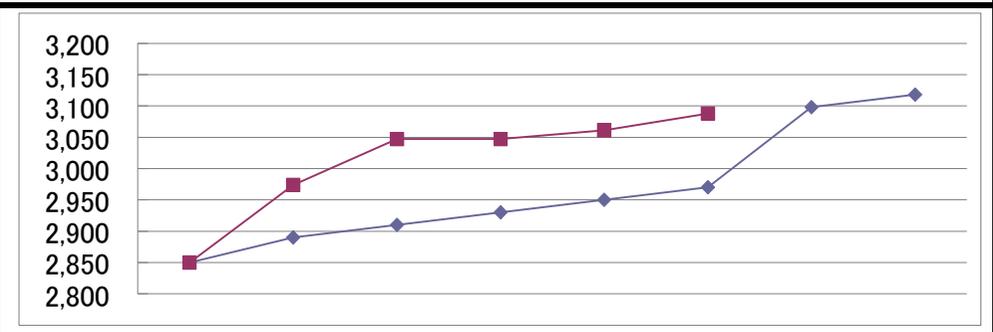
指標								単位	達成率
3-3	スポーツ施設の利用者数（スポーツランド推進課）							人	82.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	742,149	744,000	745,000	746,000	747,000	748,000	749,000	750,000	3
実績	742,149	785,927	695,184	468,302	553,248	619,977			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標達成には至らなかったが、昨年度に比べ利用者数は増加した。								



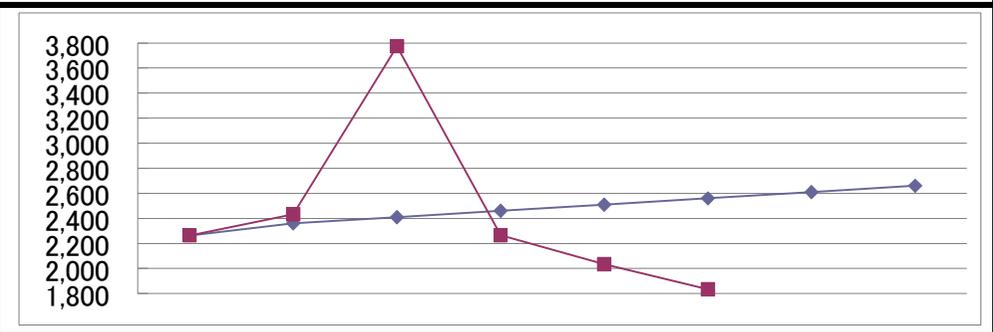
指標								単位	達成率
3-4	全国スポーツ大会に出場した児童生徒数（スポーツランド推進課）							人	68.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	788	850	875	900	925	950	900	925	2
実績	788	871	659	238	770	646			
達成状況の分析	団体競技での全国大会参加が少なく実績値は減少しているが、出場した大会数は前年度実績より増えており、競技力の向上につながっている。								



指標								単位	達成率
4-1	海外の姉妹（友好）都市交流事業における交流者数（累計）（秘書課）							人	104.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	2,850	2,890	2,910	2,930	2,950	2,970	3,098	3,118	5
実績	2,850	2,974	3,047	3,047	3,061	3,088			
達成状況の分析	新型コロナウイルスの影響で、訪問を伴う交流は行えなかったものの、韓国・報恩郡とはオンラインでの青少年交流を、米国・バージニアビーチ市とはオンラインでの市長会談を実施し、コロナ禍においても交流の継続に努めた。これまでの交流実績と合わせて目標は達成している。								



指標								単位	達成率
4-2	宮崎市国際交流協会が開催する講座等の参加者数（秘書課）							人	71.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	2,264	2,360	2,410	2,460	2,510	2,560	2,610	2,660	2
実績	2,264	2,432	3,774	2,266	2,035	1,835			
達成状況の分析	国際交流協会において、開催方法を工夫してイベントや各種講座を行ったが、コロナの状況を考慮し、参加人数の制限等を行ったことから、目標を達成することはできなかった。								



総合 計画 体系	基本目標	3 良好な就業環境が確保されている都市（まち）
	重点項目	3-1 地域や企業ニーズに合った「人財の育成」
	指標関係課	企画政策課、農政企画課、森林水産課、企業立地推進課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
<p>3-1-1 キャリア教育や学び直しの場の提供</p> <p>3-1-2 地域や企業ニーズに対応した人材の育成等</p> <p>3-1-3 農林水産業の担い手の育成</p> <p>3-1-4 地元企業への就職を促す仕組みの構築</p>	<p>Q：あなたは、地域や企業ニーズに合った「人財の育成」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>2.6%</td> <td>4.3%</td> <td>3.3%</td> <td>3.2%</td> <td>2.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>20.8%</td> <td>22.1%</td> <td>22.3%</td> <td>21.9%</td> <td>18.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>36.5%</td> <td>38.2%</td> <td>36.9%</td> <td>38.1%</td> <td>39.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>19.9%</td> <td>15.3%</td> <td>20.6%</td> <td>19.6%</td> <td>25.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>14.7%</td> <td>13.5%</td> <td>10.7%</td> <td>10.8%</td> <td>9.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.5%</td> <td>6.6%</td> <td>6.2%</td> <td>6.4%</td> <td>4.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	2.6%	4.3%	3.3%	3.2%	2.2%			2	どちらかと言えば感じられる	20.8%	22.1%	22.3%	21.9%	18.6%			3	どちらかと言えば感じられない	36.5%	38.2%	36.9%	38.1%	39.8%			4	感じられない	19.9%	15.3%	20.6%	19.6%	25.8%			5	いずれにも当てはまらない	14.7%	13.5%	10.7%	10.8%	9.5%			6	無回答	5.5%	6.6%	6.2%	6.4%	4.0%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	2.6%	4.3%	3.3%	3.2%	2.2%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	20.8%	22.1%	22.3%	21.9%	18.6%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	36.5%	38.2%	36.9%	38.1%	39.8%																																																																			
4	感じられない	19.9%	15.3%	20.6%	19.6%	25.8%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	14.7%	13.5%	10.7%	10.8%	9.5%																																																																			
6	無回答	5.5%	6.6%	6.2%	6.4%	4.0%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価												
<table border="1"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.4点 (34/10)</td> </tr> </table> <p>(参考：R4内部評価)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.7点 (41/11)</td> </tr> </table>	平均点	3.4点 (34/10)	平均点	3.7点 (41/11)	<table border="1"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	b	<p>〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。ただし、重点目標の「県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率（高校）」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。 </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。ただし、重点目標の「県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率（高校）」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。
平均点	3.4点 (34/10)											
平均点	3.7点 (41/11)											
内部評価結果	b											
内部評価結果	b											
<ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。ただし、重点目標の「県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率（高校）」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。 												

4 外部評価				
<table border="1"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップを活用することで、受け入れる企業側の就業環境の改善や働き方改革の推進を支援する必要がある。 ・県内就職率アップは大切ではあるが、県外や海外を知ることで地方間の差を気付くきっかけともなることから、Uターンセミナー等を開催し宮崎に帰ってきたいと思ってもらえるような取組を官民連携で推進することが必要ではないか。また、大学は他県からの入学者も多いことから、県内就職率の目標が合っていないのではないかと思う。 ・本市の産業別人口では、第三次産業の割合が高いが、併せて3年以内の離職率も高く定着率が悪い。地元企業への就職率を上げることも大事であるが、安定した職場での雇用が「人材育成」に欠かせないと考える。企業や会社の自助努力による給与・雇用条件の改善と見直しが必要。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップを活用することで、受け入れる企業側の就業環境の改善や働き方改革の推進を支援する必要がある。 ・県内就職率アップは大切ではあるが、県外や海外を知ることで地方間の差を気付くきっかけともなることから、Uターンセミナー等を開催し宮崎に帰ってきたいと思ってもらえるような取組を官民連携で推進することが必要ではないか。また、大学は他県からの入学者も多いことから、県内就職率の目標が合っていないのではないかと思う。 ・本市の産業別人口では、第三次産業の割合が高いが、併せて3年以内の離職率も高く定着率が悪い。地元企業への就職率を上げることも大事であるが、安定した職場での雇用が「人材育成」に欠かせないと考える。企業や会社の自助努力による給与・雇用条件の改善と見直しが必要。
外部評価結果	B			
<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップを活用することで、受け入れる企業側の就業環境の改善や働き方改革の推進を支援する必要がある。 ・県内就職率アップは大切ではあるが、県外や海外を知ることで地方間の差を気付くきっかけともなることから、Uターンセミナー等を開催し宮崎に帰ってきたいと思ってもらえるような取組を官民連携で推進することが必要ではないか。また、大学は他県からの入学者も多いことから、県内就職率の目標が合っていないのではないかと思う。 ・本市の産業別人口では、第三次産業の割合が高いが、併せて3年以内の離職率も高く定着率が悪い。地元企業への就職率を上げることも大事であるが、安定した職場での雇用が「人材育成」に欠かせないと考える。企業や会社の自助努力による給与・雇用条件の改善と見直しが必要。 				

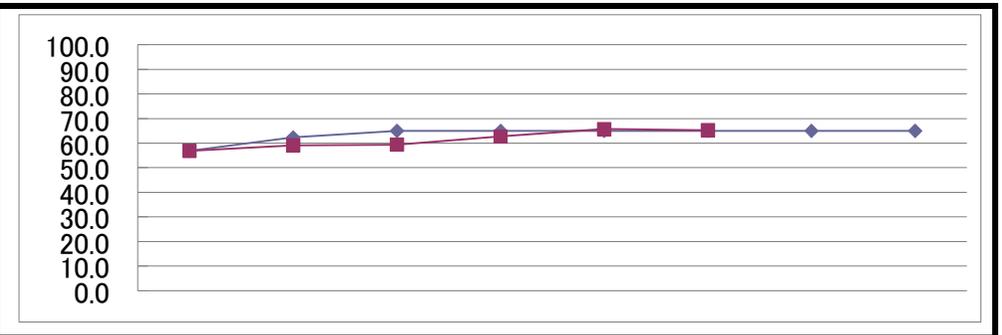
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

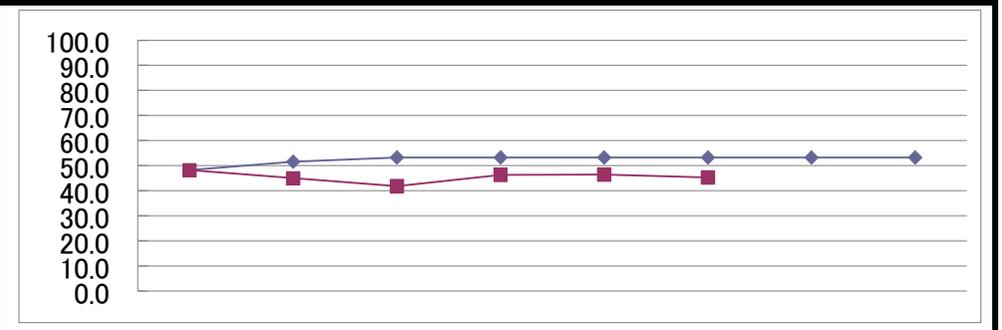
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

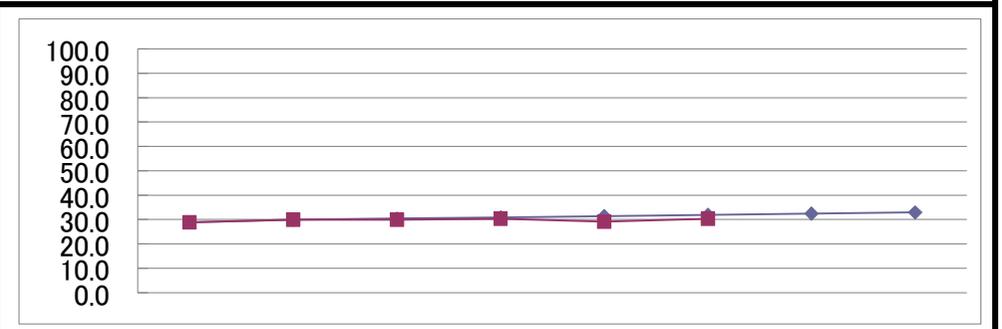
指標								単位	達成率	
重点	県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率（高校）（企業立地推進課）								%	100.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	56.8	62.3	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	5	
実績	56.8	59.1	59.4	62.7	65.7	65.2				
達成状況の分析	労働局や県と連携した取り組みを行っており、地元企業等の認知度や学生の地元志向が向上し、目標を達成することができた。									



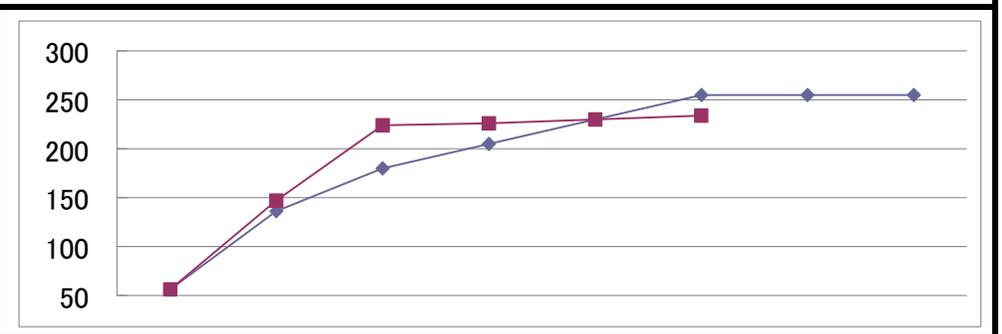
指標								単位	達成率	
重点	県内新規学卒者の就職内定者のうち県内就職内定率（大学等）（企業立地推進課）								%	85.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	48.2	51.6	53.3	53.3	53.3	53.3	53.3	53.3	3	
実績	48.2	45.0	41.9	46.3	46.5	45.3				
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症による行動制限等によって、地元志向が一時的に高まっていたが、行動制限緩和の流れや全国的な人手不足による大手企業の初任給賃上げ等により、都市部への就職の流れが始まっており、目標を達成できなかった。									



指標								単位	達成率	
1-1	県内高校生の県内大学・短大への進学率（企画政策課）								%	95.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	28.9	29.9	30.4	30.9	31.4	31.9	32.4	32.9	4	
実績	28.9	29.9	29.9	30.3	29.1	30.3				
達成状況の分析	学生や保護者等の地元への関心を高めるために、地元教育機関と連携を図った結果、目標値を達成することはできなかったが、前年度を上回る実績値（前年度比：104.1%）となった。									



指標								単位	達成率	
2-1	市が支援する就職セミナー等を受講して就職した人の数（累計）（企業立地推進課）								人	91.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数	
目標	56	136	180	205	230	255	255	255	4	
実績	56	147	224	226	230	234				
達成状況の分析	就職氷河期世代を対象としたセミナーを開催するなど、例年よりも幅広い世代に対する就職セミナーを開催したが、オンラインでのマッチングなど対面でなかったため、就職に至るまでは困難であった。									



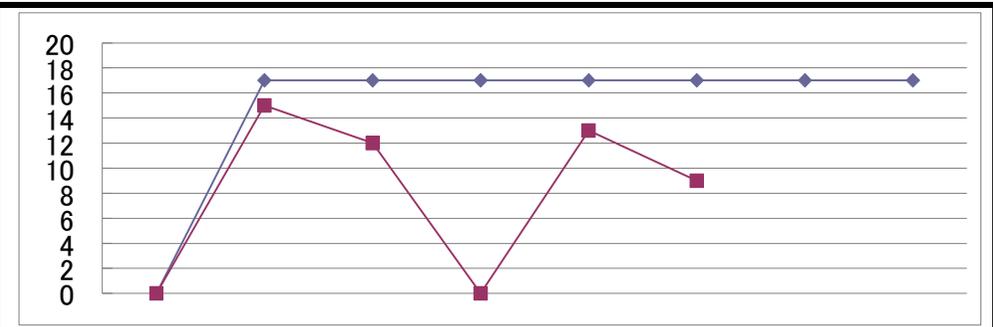
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

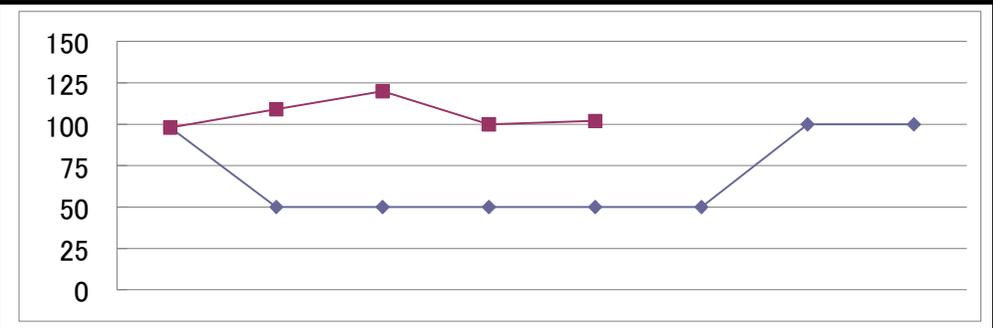
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

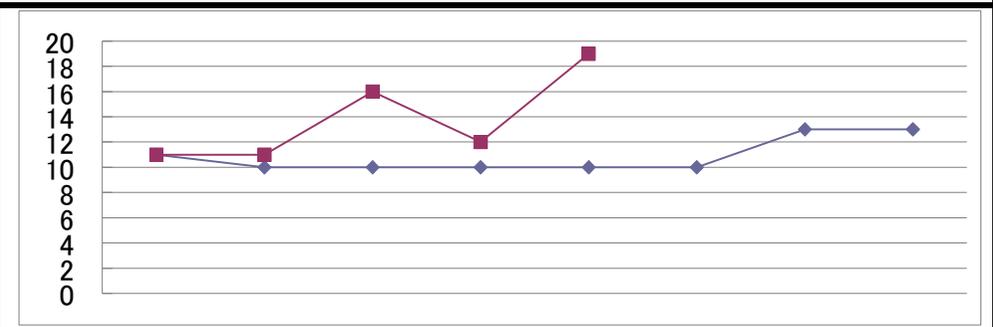
指標								単位	達成率
2-2	高度ICT技術者新規雇用者数（企業立地推進課）							人	52.9%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	17	17	17	17	17	17	17	2
実績	-	15	12	-	13	9			
達成状況の分析	令和2年度でJICAの事業が終了し、宮崎大学とバン格拉ディシュの私立大学が共同で事業承継したものの、十分に周知されていない。また、ここ数年、都市部の大手企業からの引き抜きで離職者がでていことも、雇用を躊躇する要因の一つになっている。								



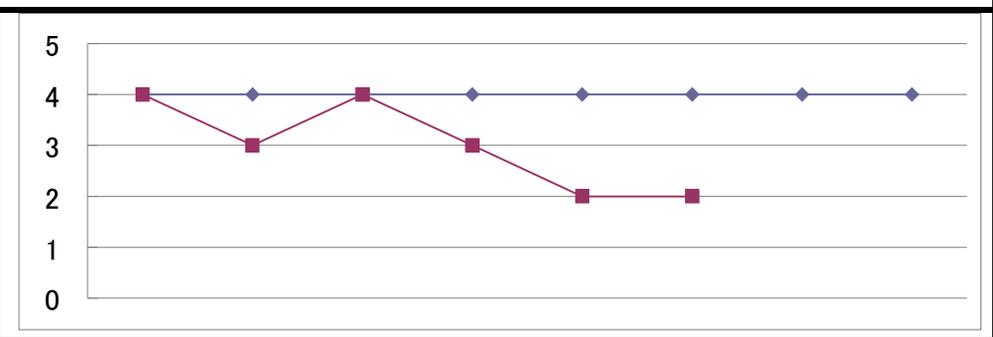
指標								単位	達成率
★ 3-1	新規就農者数（農政企画課）							人	204.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	98	50	50	50	50	50	100	100	5
実績	98	109	120	100	102	未確定			
達成状況の分析	令和5年6月下旬頃確定予定。 【参考】2021年度達成率：204.0%								



指標								単位	達成率
★ 3-2	新規林業就業者数（森林水産課）							人	190.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	11	10	10	10	10	10	13	13	5
実績	11	11	16	12	19	未確定			
達成状況の分析	2022年度実績は、R5.9月以降確定予定。 【参考】2021年度達成率：190%								



指標								単位	達成率
3-3	新規漁業就業者数（森林水産課）							人	50.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	4	4	4	4	4	4	4	4	2
実績	4	3	4	3	2	2			
達成状況の分析	初期費用の負担軽減を目的として、就業支援金を交付しその事業の周知に取り組んだが、目標を達成することができなかった。転職後の漁業収入が不安定であったことが、その一因に挙げられる。								



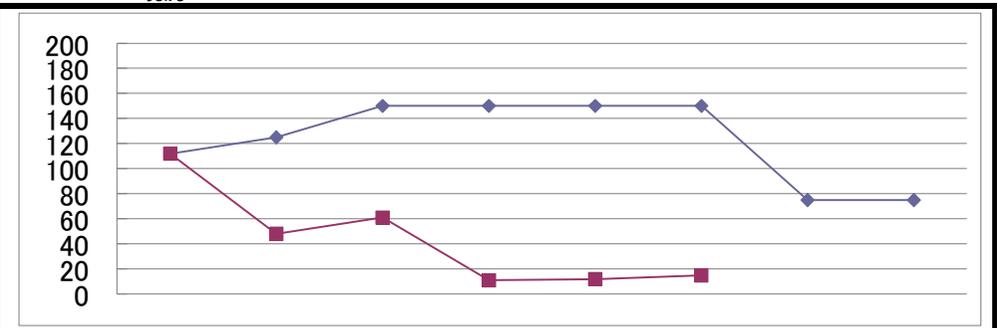
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

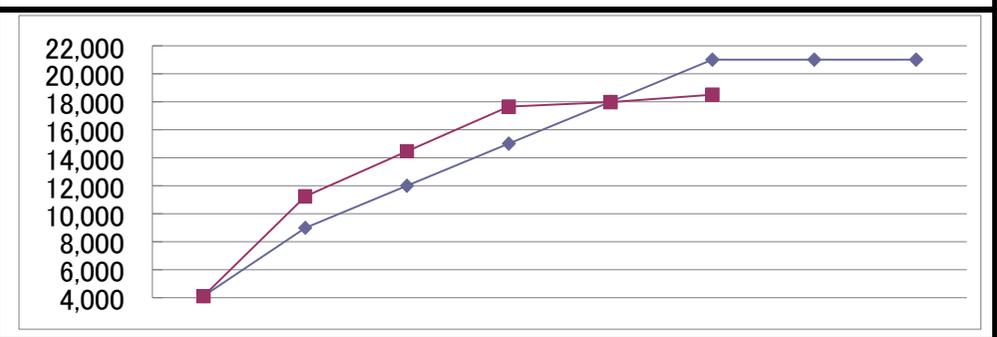
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標								単位	達成率
4-1	就職説明会参加者のうち就職決定者数（企業立地推進課）							人	10.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	112	125	150	150	150	150	75	75	1
実績	112	48	61	11	12	15			
達成状況の分析	コロナ禍でも、対面による就職説明会を実施したが、参加者が大幅に減ったため、就職決定者数も目標を達成できなかった。								



指標								単位	達成率
4-2	雇用・人材アプリインストール数（累計）（企業立地推進課）							件	88.1%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	4,112	9,000	12,000	15,000	18,000	21,000	21,000	21,000	3
実績	4,112	11,246	14,466	17,648	17,976	18,510			
達成状況の分析	アプリに要改修箇所が判明したため、改修を実施した。2023年1月に完了したため、広報活動が十分ではなかった。								



総合 計画 体系	基本目標	3 良好な就業環境が確保されている都市（まち）
	重点項目	3-2 若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」
	指標関係課	文化・市民活動課、農政企画課、森林水産課、産業政策課、企業立地推進課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
3-2-1 農林水産業の生産基盤の確立 3-2-2 企業立地と設備投資の促進 3-2-3 中小企業等の経営力の向上 3-2-4 新商品や新技術等の開発 3-2-5 中心市街地の機能の充実 3-2-6 雇用形態の多様化・労働力の確保 3-2-7 雇用環境の改善	Q：あなたは、若い世代の定着や生産性の向上を図る「雇用の場の創出」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>3.5%</td> <td>5.0%</td> <td>4.3%</td> <td>4.9%</td> <td>2.3%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>23.9%</td> <td>21.5%</td> <td>22.9%</td> <td>22.0%</td> <td>18.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>34.2%</td> <td>34.4%</td> <td>35.1%</td> <td>34.0%</td> <td>35.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>22.0%</td> <td>20.7%</td> <td>23.3%</td> <td>24.3%</td> <td>31.5%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>11.4%</td> <td>11.4%</td> <td>8.3%</td> <td>8.9%</td> <td>7.8%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.0%</td> <td>7.0%</td> <td>6.1%</td> <td>5.9%</td> <td>3.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	3.5%	5.0%	4.3%	4.9%	2.3%			2	どちらかと言えば感じられる	23.9%	21.5%	22.9%	22.0%	18.7%			3	どちらかと言えば感じられない	34.2%	34.4%	35.1%	34.0%	35.9%			4	感じられない	22.0%	20.7%	23.3%	24.3%	31.5%			5	いずれにも当てはまらない	11.4%	11.4%	8.3%	8.9%	7.8%			6	無回答	5.0%	7.0%	6.1%	5.9%	3.9%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	3.5%	5.0%	4.3%	4.9%	2.3%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	23.9%	21.5%	22.9%	22.0%	18.7%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	34.2%	34.4%	35.1%	34.0%	35.9%																																																																			
4	感じられない	22.0%	20.7%	23.3%	24.3%	31.5%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	11.4%	11.4%	8.3%	8.9%	7.8%																																																																			
6	無回答	5.0%	7.0%	6.1%	5.9%	3.9%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.6点 (58/16)</td> </tr> </table> <p>(参考：R4 内部評価)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.2点 (54/17)</td> </tr> </table>	平均点	3.6点 (58/16)	平均点	3.2点 (54/17)	<table border="1"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	b	〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕	
平均点	3.6点 (58/16)										
平均点	3.2点 (54/17)										
内部評価結果	b										
内部評価結果	b										
		<ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている。ただし、主要施策の「3-2-5 中心市街地の機能の充実」に関する取組の成果が出ている。 ・一方、一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。 ・主要施策の「3-2-1 農林水産業の生産基盤の確立」に関する既存事業の検証を行い、効果的なものとなるよう事業の見直しを行うこと。 									

4 外部評価			
<table border="1"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	
外部評価結果	B		
〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市の魅力をさらに高め、若者にその魅力を丁寧に伝えることが重要。その中で郷土愛が生まれ、地元就職が進めば良いのではないか。 ・人材不足や労働力不足は深刻である。官民連携し外国人労働者拡充の為の施策を推進することが必要ではないか。 ・他県に世界的な半導体メーカーが進出し、好待遇ということもあり、人材の県外流出が懸念される。 ・今の若い世代が一番大切と考えるのは、ワークライフバランス。仕事と家庭や遊びの両立ができる会社を求める傾向にあり、そうした企業や会社に若者が集まり定着する。雇用に関し、視点を変える必要がある。 			

5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

◆ 目標 ■ 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率	
重点 正規雇用者数（企業立地推進課）									人	-	
	2012年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	98,500	-	-	-	-	98,500	-	-	-		
実績	98,500	-	-	-	-	未確定	-	-	-		
達成状況 の分析	数値の根拠となる就業構造基本調査が令和4年度に実施され、統計結果の公表予定が2023年7月頃 【参考】2017年度実績値：100,600人										
指標									単位	達成率	
重点 市内の女性の有業率（企業立地推進課）									%	-	
	2012年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	51	-	-	-	-	51	-	-	-		
実績	51	-	-	-	-	未確定	-	-	-		
達成状況 の分析	数値の根拠となる就業構造基本調査が令和4年度に実施され、統計結果の公表予定が2023年7月頃 【参考】2017年度実績：52.1%										
指標									単位	達成率	
重点 市内の60歳以上70歳未満の有業率（企業立地推進課）									%	-	
	2012年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	52	-	-	-	-	58	-	-	-		
実績	52	-	-	-	-	未確定	-	-	-		
達成状況 の分析	数値の根拠となる就業構造基本調査が令和4年度に実施され、統計結果の公表予定が2023年7月頃 【参考】2017年度実績：55.3%										
指標									単位	達成率	
★ 1-1	農業産出額（農政企画課）								億円	83.8%	
	2015年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	384	370	370	370	370	370	323	325	3		
実績	384	364	314	316	310	未確定					
達成状況 の分析	令和6年3月下旬頃確定予定。 【参考】2021年度達成率：83.8%										

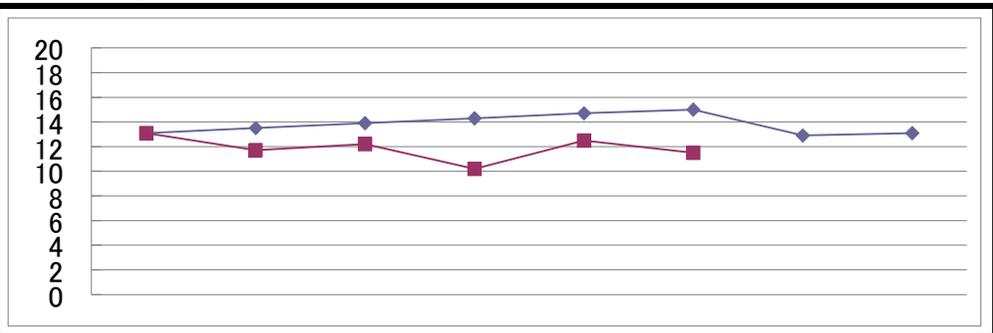
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

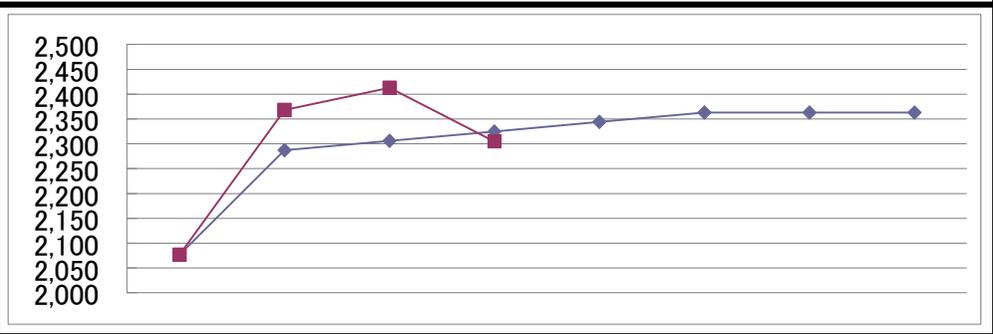
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

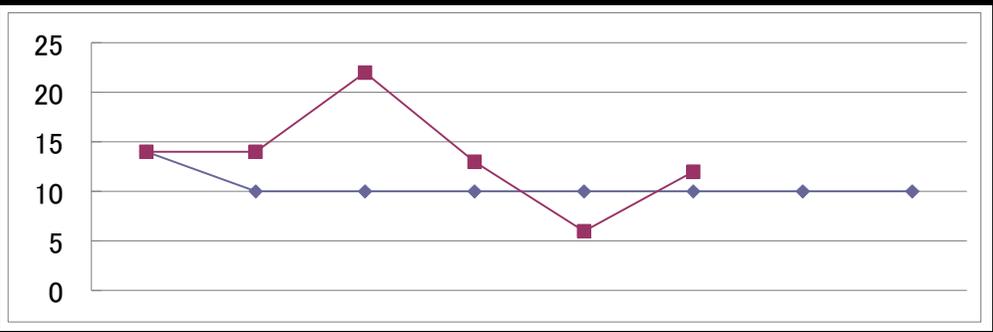
指標								単位	達成率
1-2	水揚高（森林水産課）							億円	76.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	13.1	13.5	13.9	14.3	14.7	15.0	12.9	13.1	2
実績	13.1	11.7	12.2	10.2	12.5	11.5			
達成状況 の分析	省エネ、省力、省コスト化など漁業経営向上のための機器装備支援等を行ったが、シラスなどの特定魚種の不漁により目標を達成することはできなかった。								



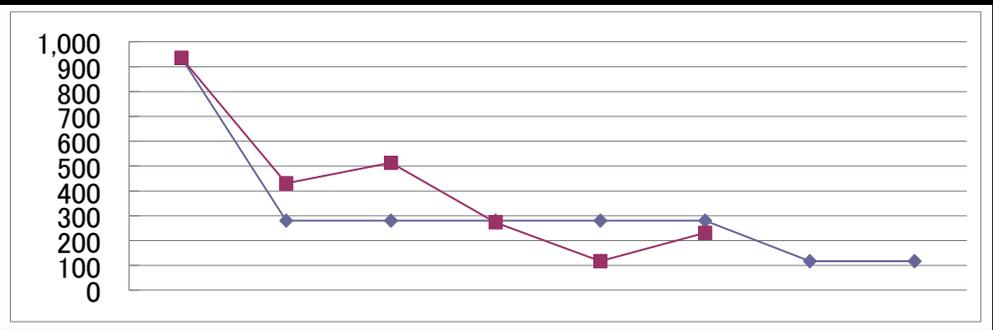
指標								単位	達成率
★ 2-1	製造品出荷額（産業政策課）							億円	97.5%
	2014年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	2,077	2,287	2,306	2,325	2,344	2,363	2,363	2,363	4
実績	2,077	2,368	2,413	2,305	未確定	未確定			
達成状況 の分析	2021年度実績は2023年6月頃確定予定 2022年度実績は2024年6月頃確定予定 【参考】2020年度達成率：99.1%								



指標								単位	達成率
2-2	立地企業数（企業立地推進課）							件	120.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	14	10	10	10	10	10	10	10	5
実績	14	14	22	13	6	12			
達成状況 の分析	情報通信業の企業立地が相次ぎ、目標を達成した								



指標								単位	達成率
2-3	立地企業における新規雇用予定者数（企業立地推進課）							人	82.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	936	280	280	280	280	280	117	117	3
実績	936	431	513	273	117	231			
達成状況 の分析	立地企業数は多かったものの、情報通信業が多く、一社あたりの雇用者数が少なかったため、目標達成できなかった。								



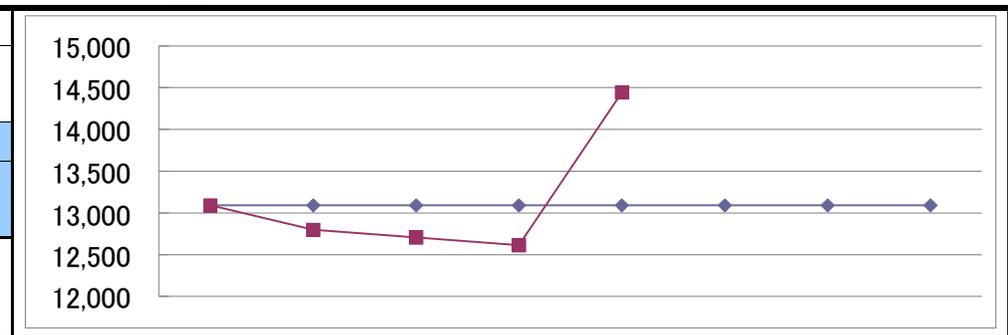
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

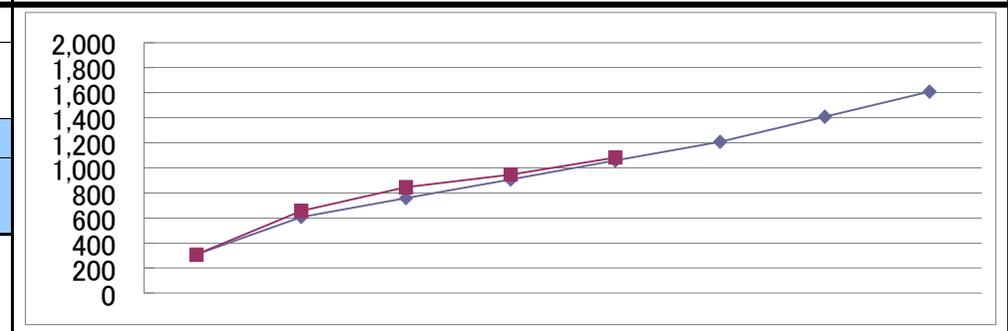
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

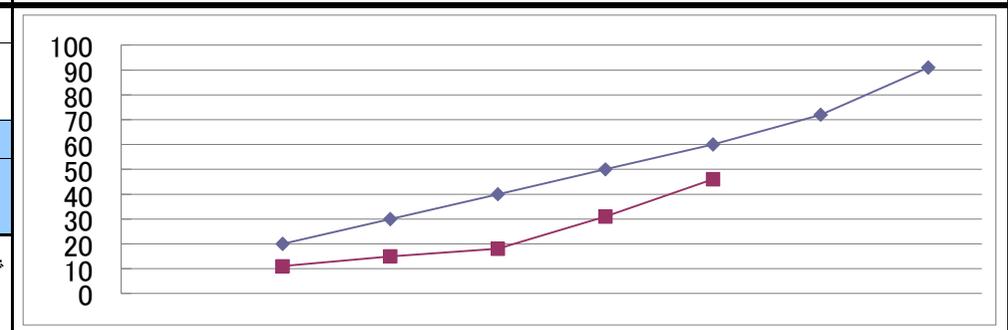
指標								単位	達成率
★ 3-1	年間商品販売（小売・卸売）額（産業政策課）							億円	110.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	13,090	13,090	13,090	13,090	13,090	13,090	13,090	13,090	5
実績	13,090	12,797	12,705	12,614	14,441	未確定			
達成状況 の分析	令和5年10月確定予定。 【参考】2021年度達成率：110.3%								



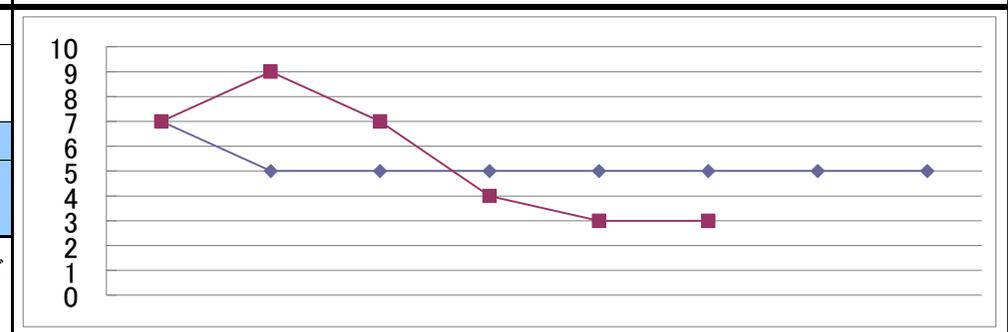
指標								単位	達成率
★ 3-2	創業支援事業計画に基づく創業者数（累計）（産業政策課）							人	102.4%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	308	608	758	908	1,058	1,208	1,408	1,608	5
実績	308	655	845	947	1,083	未確定			
達成状況 の分析	令和5年7月確定予定。 【参考】2021年度達成率：102.4%								



指標								単位	達成率
3-3	市が支援した事業承継等の件数（累計）（産業政策課）							件	76.7%
	-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	20	30	40	50	60	72	91	2
実績	-	11	15	18	31	46			
達成状況 の分析	センターへの相談や金融機関への相談件数は増えているが、支援した件数は伸びていない。これまでの以上に支援機関と連携を密に図り補助件数を増やす。								



指標								単位	達成率
4-1	6次産業化関連補助事業活用事業者数（農政企画課）							件	60.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	7	5	5	5	5	5	5	5	2
実績	7	9	7	4	3	3			
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢に伴う燃油高の影響等により、加工や新商品の開発など新たな事業展開やそれに伴う投資控え傾向から、2022年度も活用事業者が横ばいであった。								



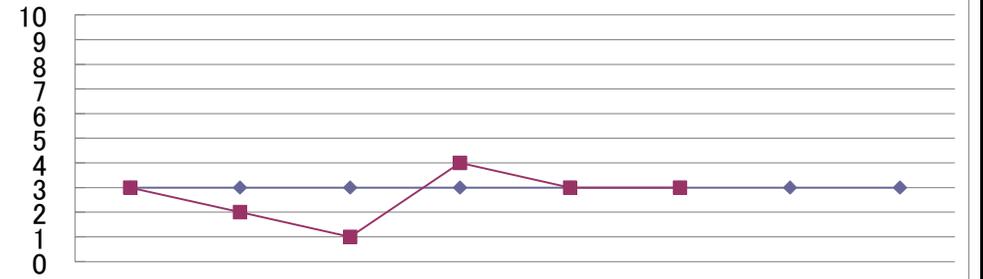
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

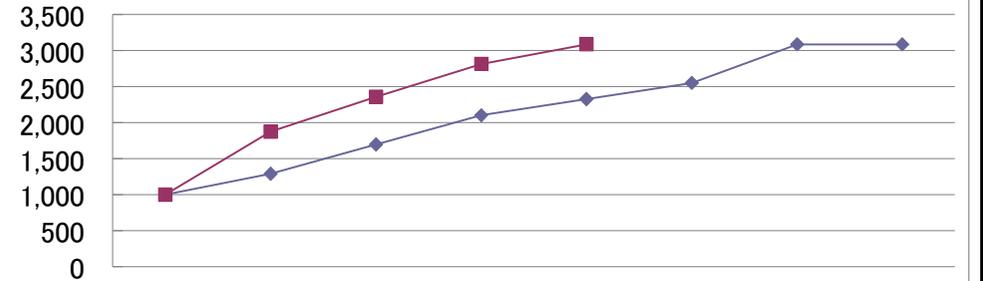
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

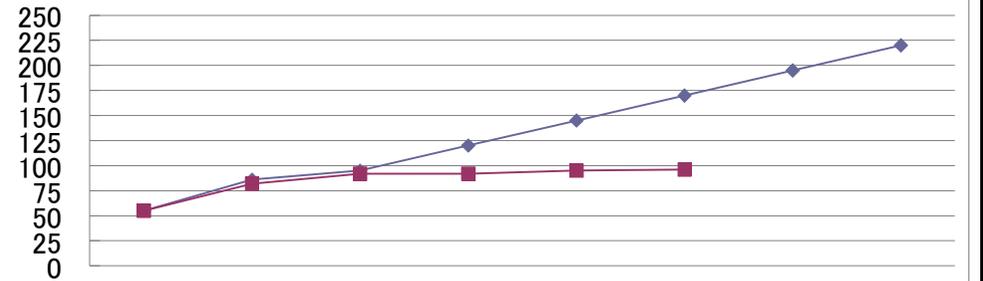
指標								単位	達成率
4-2	市が支援した企業と大学等の研究機関との共同取組事例数（産業政策課）							件	100.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	3	3	3	3	3	3	3	3	5
実績	3	2	1	4	3	3			
達成状況の分析	関係機関等への周知により事業が浸透し、目標を達成することができた。								



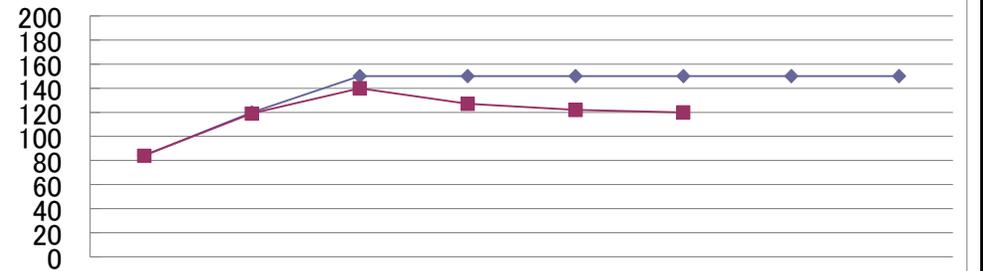
指標								単位	達成率
★ 5-1	中心市街地におけるクリエイティブ産業従業者の増加数（累計）（産業政策課）							人	132.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	999	1,290	1,696	2,100	2,326	2,550	3,085	3,085	5
実績	999	1,875	2,358	2,813	3,085	未確定			
達成状況の分析	令和5年7月確定予定。 【参考】2021年度達成率：132.6%								



指標								単位	達成率
6-1	市の支援する女性の就労支援事業を活用した就職者数（累計）（企業立地推進課）							人	56.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	55	86	95	120	145	170	195	220	2
実績	55	82	92	92	95	96			
達成状況の分析	女性求職者に対するセミナーについて、より高い効果が見込める対面での開催を検討していたところ、新型コロナウイルスの影響により開催時期が遅くなったため、十分な周知、広報ができなかった。								



指標								単位	達成率
6-2	シルバー人材センターにおける派遣事業の受注件数（企業立地推進課）							件	80.0%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	84	120	150	150	150	150	150	150	3
実績	84	119	140	127	122	120			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の事業活動の縮小や制限による受注件数が減少した。								



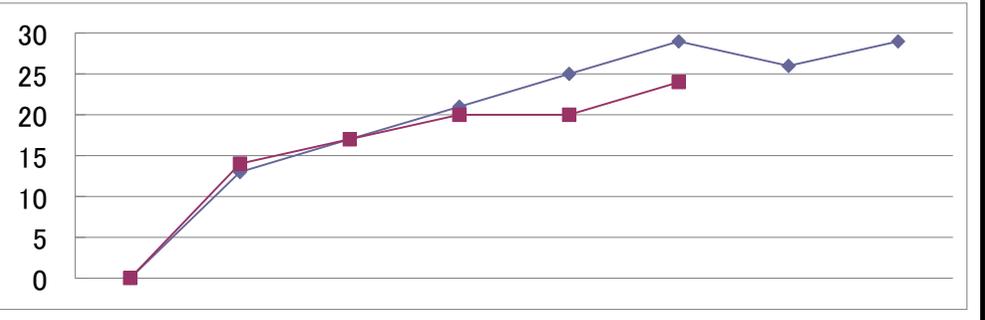
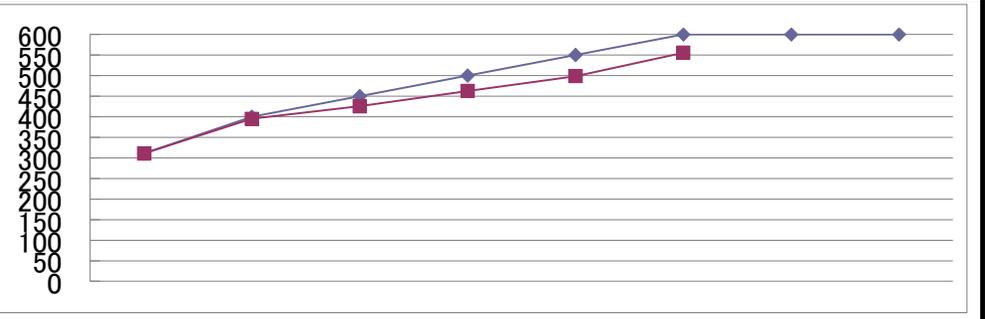
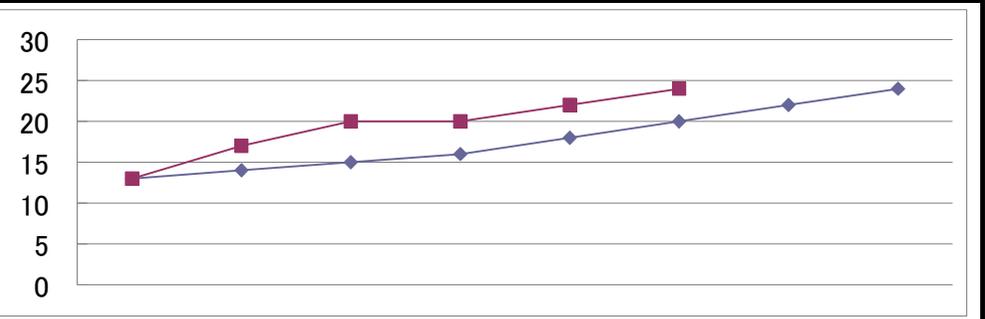
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標		単位								達成率
7-1	くるみん認定企業数（企業立地推進課）	社								120.0%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		13	14	15	16	18	20	22	24	5
実績		13	17	20	20	22	24			
達成状況の分析	順調に増加しており、目標を達成している。									
指標		単位								達成率
7-2	「仕事と家庭の両立応援宣言」を行う事業所数（企業立地推進課）	件								92.7%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		311	400	450	500	550	600	600	600	4
実績		311	395	426	463	499	556			
達成状況の分析	目標を達成していないものの、順調に増加している。									
指標		単位								達成率
7-3	宮崎市ワークライフバランス企業（旧称：イクボス）同盟加盟事業所数（文化・市民活動課）	件								82.8%
		-	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		-	13	17	21	25	29	26	29	3
実績		-	14	17	20	20	24			
達成状況の分析	2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響で加盟要件となっている講座等の受講を控える企業が多く、事業所数が増えなかったが、2022年度の新規加盟事業者数は新型コロナウイルスの流行前より多い4事業所であった。									



総合 計画 体系	基本目標	4 魅力ある価値が創出されている都市（まち）
	重点項目	4-1 交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」
	指標関係課	農業振興課、観光戦略課、スポーツランド推進課、公園緑地課、景観課

1 主要施策	2 市民意識調査（参考）																																																																								
<p>4-1-1 宮崎らしさを生かした取組の推進</p> <p>4-1-2 景観づくりの推進</p> <p>4-1-3 スポーツランドみやぎきの推進</p> <p>4-1-4 観光客受入環境の充実</p> <p>4-1-5 国内外の市場開拓</p>	<p>Q：あなたは、交流人口や販路の拡大を図る「ブランド力の向上」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>5.6%</td> <td>7.8%</td> <td>9.8%</td> <td>8.6%</td> <td>5.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>34.1%</td> <td>32.8%</td> <td>35.1%</td> <td>33.1%</td> <td>29.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>31.4%</td> <td>28.0%</td> <td>26.1%</td> <td>28.4%</td> <td>31.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>12.3%</td> <td>14.5%</td> <td>15.7%</td> <td>15.9%</td> <td>22.9%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>11.3%</td> <td>9.8%</td> <td>7.0%</td> <td>8.0%</td> <td>7.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.3%</td> <td>7.1%</td> <td>6.3%</td> <td>6.0%</td> <td>3.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	5.6%	7.8%	9.8%	8.6%	5.6%			2	どちらかと言えば感じられる	34.1%	32.8%	35.1%	33.1%	29.1%			3	どちらかと言えば感じられない	31.4%	28.0%	26.1%	28.4%	31.7%			4	感じられない	12.3%	14.5%	15.7%	15.9%	22.9%			5	いずれにも当てはまらない	11.3%	9.8%	7.0%	8.0%	7.1%			6	無回答	5.3%	7.1%	6.3%	6.0%	3.7%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	5.6%	7.8%	9.8%	8.6%	5.6%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	34.1%	32.8%	35.1%	33.1%	29.1%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	31.4%	28.0%	26.1%	28.4%	31.7%																																																																			
4	感じられない	12.3%	14.5%	15.7%	15.9%	22.9%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	11.3%	9.8%	7.0%	8.0%	7.1%																																																																			
6	無回答	5.3%	7.1%	6.3%	6.0%	3.7%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価											
<table border="1"> <tr> <td>平均点</td> <td>2.4点 (33/14)</td> </tr> </table> <p>(参考：R4 内部評価)</p> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>2.1点 (33/16)</td> </tr> </table>	平均点	2.4点 (33/14)	平均点	2.1点 (33/16)	<table border="1"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>-</td> </tr> </table> <table border="1" style="border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>-</td> </tr> </table>	内部評価結果	-	内部評価結果	-	<p>〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・過半数の指標で新型コロナウイルス感染症の影響を受けており、適切な評価・検証を行うことが困難であるため、施策評価は行わないものとする。</p> </div>	
平均点	2.4点 (33/14)										
平均点	2.1点 (33/16)										
内部評価結果	-										
内部評価結果	-										

4 外部評価			
<table border="1"> <tr> <td>外部評価結果</td> <td>-</td> </tr> </table>	外部評価結果	-	<p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナに対応して、攻めの取組を期待している。観光消費額については、コロナ禍前以上の実績があるのは素晴らしい。 ・地方間競争が激しい中、MICEの誘致は年々厳しくなってくる、受入メニューの増加、目標数値・誘致件数の増が必要ではないか。 ・年間を通して入込客の繁閑差が激しい。通年での誘客ができていないと交通・観光事業者も投資がしづらいのではないか。 ・行政施設（大淀川学習館、科学技術館等）における観光客目線の施策が必要。また、青島・ニシタチエリアともに駐車場が不足している。これから増えると思われる大型客船やインバンド等の受入対応ができない。ニシタチエリアの大型駐車場対策としては市役所駐車場の開放や高千穂通りの活用はできないか。 </div>
外部評価結果	-		

5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標									単位	達成率	
重点	宿泊者数（観光戦略課）								千人	70.8%	
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	2,346	2,740	2,800	2,800	2,800	2,800	1,680	1,680	2		
実績	2,346	2,578	2,598	1,501	1,424	1,983					
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症対策にかかる規制緩和が進んだことで、昨年よりも宿泊客数が増加した。										
指標									単位	達成率	
重点	観光消費額（観光戦略課）								億円	105.7%	
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	844.8	850.0	860.0	870.0	890.0	910.0	556.0	558.0	5		
実績	844.8	886.9	891.5	463.4	406.1	962.1					
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症対策にかかる規制緩和が進み、観光入込客数が増加したことと、個人消費額の増大により、観光消費額が増加した。										
指標									単位	達成率	
重点	観光入込客数（観光戦略課）								千人	71.8%	
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	6,391	6,420	6,500	6,560	6,620	6,700	4,020	4,020	2		
実績	6,391	6,155	6,181	3,788	3,218	4,810					
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症対策にかかる規制緩和が進んだことで、昨年よりも観光入込客数が増加した。										
指標									単位	達成率	
1-1	外国人宿泊者数（観光戦略課）								人	5.4%	
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数		
目標	152,500	183,300	200,000	210,000	220,000	230,000	25,000	65,000	1		
実績	152,500	208,900	192,600	24,771	5,097	12,349					
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症対策にかかる規制緩和が進んだことで、昨年よりも外国人宿泊客数が増加した。										

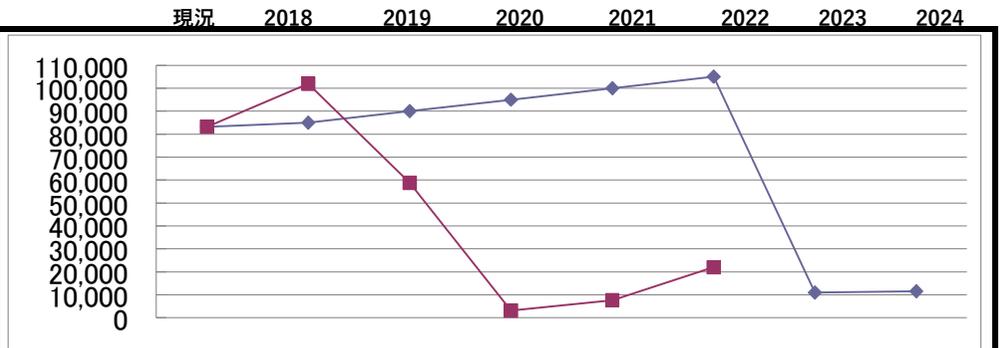
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

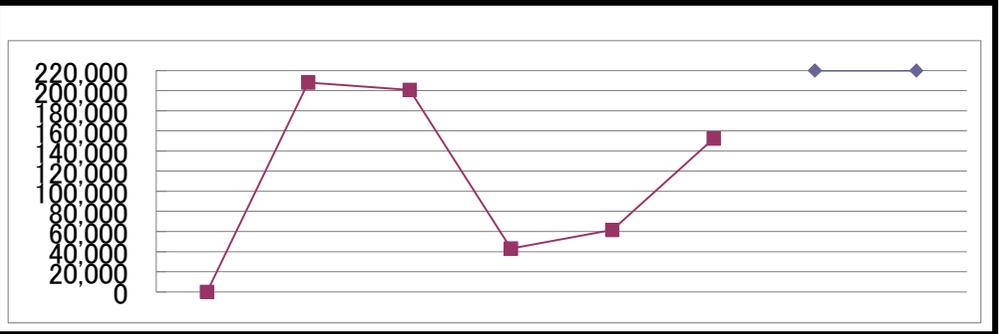
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

↓「●」は、2023年度から新たに設定した指標のため、2023年度目標値を用いて、達成率を算出。

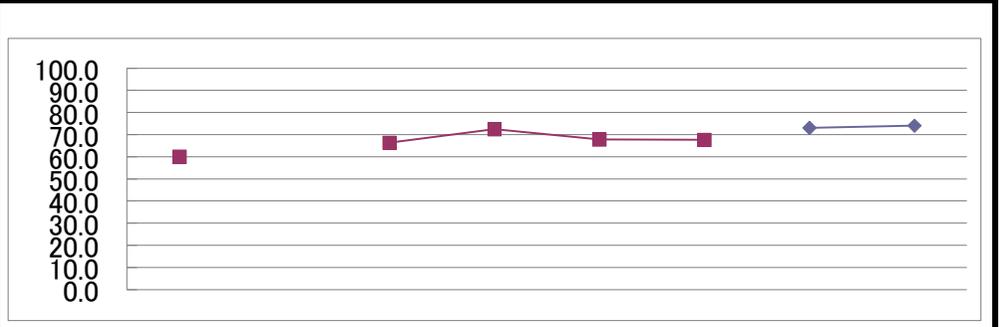
指標								単位	達成率
1-2	MICE延べ参加者数（観光戦略課）							人	20.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	83,231	85,000	90,000	95,000	100,000	105,000	11,000	11,500	1
実績	83,231	101,910	58,785	3,134	7,672	21,980			
達成状況 の分析	新型コロナウイルス感染症の影響で、参加者数が昨年度と同規模になるかと思われたが、結果として大きく上回る実績となった。令和5年度については更に活発になることが想定される。								



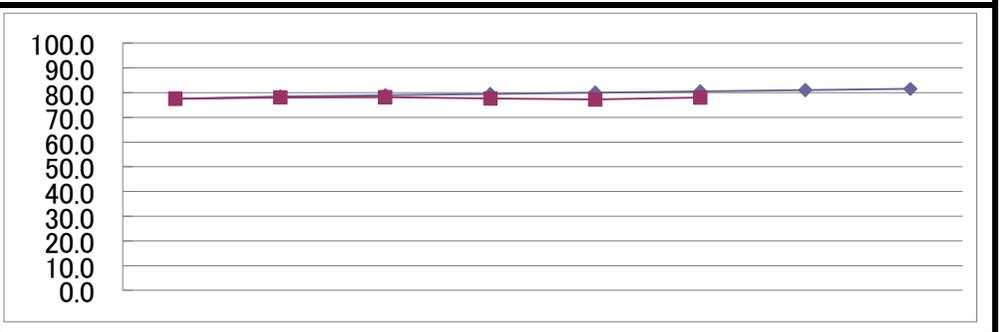
指標								単位	達成率
● 2-1	フローランテ宮崎の有料入園者数（公園緑地課）							人	69.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	-	-	-	-	-	220,000	220,000	2
実績	-	208,074	200,640	43,087	61,437	152,450			
達成状況 の分析	2022年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、夏の「みやざきグルメとランタンナイト」は開催できなかったが、冬は3年ぶりに「イルミネーションフラワーガーデン」を開催できたため、前年度と比較して、有料入園者数は増加している。								



指標								単位	達成率
● 2-2	花と緑のまちづくりに満足する市民の割合（景観課）							%	92.6%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	-	-	-	-	-	-	73.0	74.0	4
実績	60.0	-	66.3	72.4	67.8	67.6			
達成状況 の分析	今後、目標達成に向け、市民啓発事業等に取り組んでいくこととしている。								



指標								単位	達成率
2-3	屋外広告物の許可申請率（景観課）							%	96.9%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	77.5	78.5	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0	81.5	4
実績	77.5	78.1	78.2	77.6	77.3	78.0			
達成状況 の分析	未申請者への申請推奨が十分でなかったため、目標を達成することができなかった。								



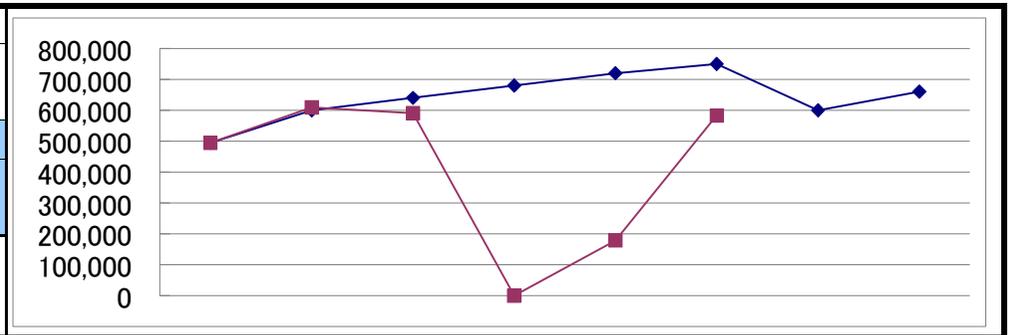
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

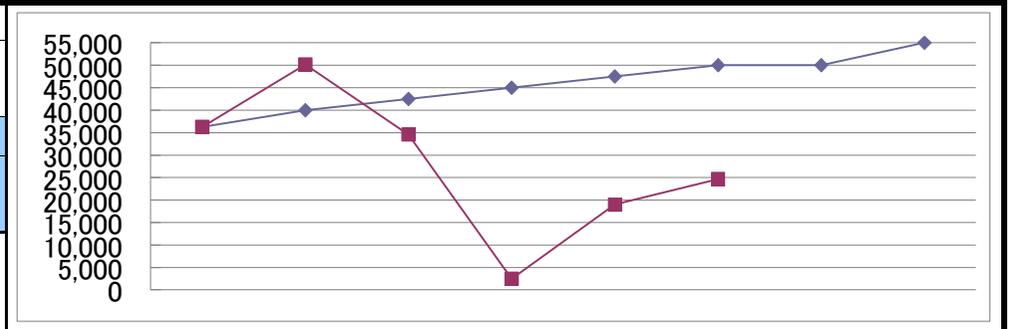
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

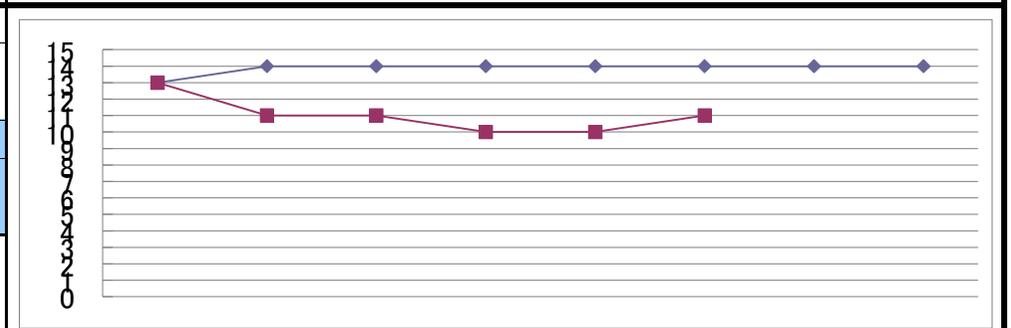
指標								単位	達成率
3-1	プロ野球キャンプ来場者数（スポーツランド推進課）							人	77.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	494,700	600,000	640,000	680,000	720,000	750,000	600,000	660,000	2
実績	494,700	609,100	590,400	-	178,300	582,600			
達成状況の分析	オリックス・バファローズ日本一やキャンプ地でのファンサービスの一部復活などにより、コロナ禍前の集客となった。 また、侍ジャパン宮崎宿泊実施による相乗効果もあった。								



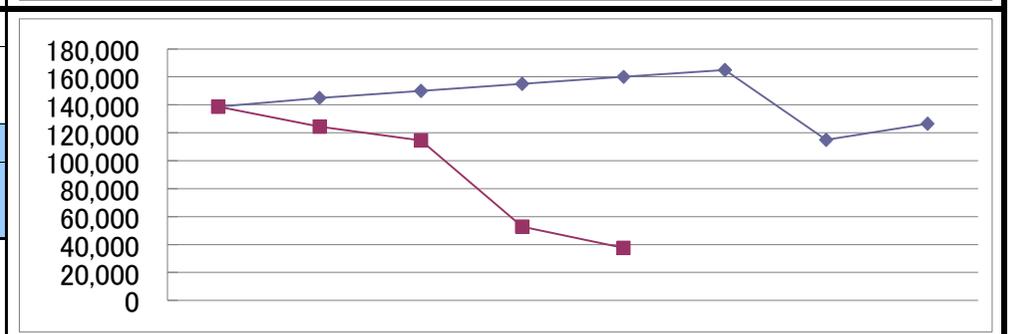
指標								単位	達成率
3-2	プロゴルフトーナメント来場者数（スポーツランド推進課）							人	49.3%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	36,285	40,000	42,500	45,000	47,500	50,000	50,000	55,000	1
実績	36,285	50,160	34,575	2,501	18,982	24,651			
達成状況の分析	3トーナメントとも入場数を制限した中での実施であったため、目標に及ばなかった。								



指標								単位	達成率
3-3	Jリーグキャンプチーム数（スポーツランド推進課）							チーム	78.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	13	14	14	14	14	14	14	14	2
実績	13	11	11	10	10	11			
達成状況の分析	清武総合運動公園で新たに1チームのキャンプ実施につながった。その他チームからもキャンプ実施の希望があったが、既存チームとの日程調整がつかず新たな決定とはならなかった。								



指標								単位	達成率
★ 3-4	スポーツ合宿宿泊者数（スポーツランド推進課）							人	22.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	138,600	145,000	150,000	155,000	160,000	165,000	115,000	126,500	1
実績	138,600	124,400	114,600	52,877	37,596	未確定			
達成状況の分析	令和5年7月確定予定。 【2021年度達成率】23.5%								



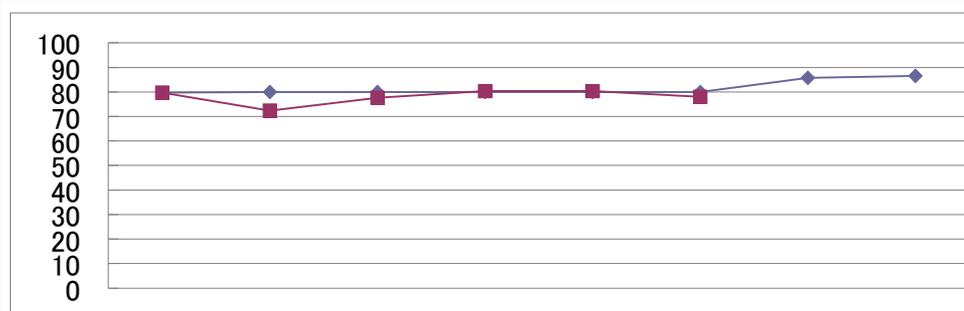
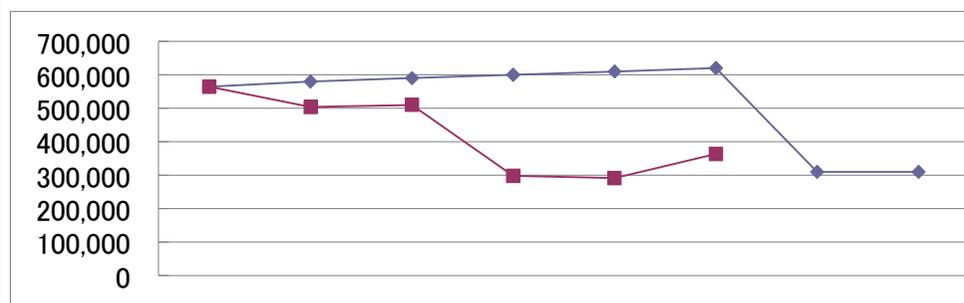
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標								単位	達成率
4-1	道の駅フェニックスの来場者数（観光戦略課）							人	58.6%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	563,929	580,000	590,000	600,000	610,000	620,000	310,000	310,000	2
実績	563,929	503,542	509,972	297,980	291,409	363,145			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症対策にかかる規制緩和が進んだことで、昨年よりも来場者数が増加した。								
指標								単位	達成率
5-1	農畜産物のブランド認証品の売上額（農業振興課）							億円	97.5%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	80	80	80	80	80	80	86	87	4
実績	80	72	78	80	80	78			
達成状況の分析	新型コロナウイルス感染症や物価高騰、台風14号などの天候不良の影響により、宮崎牛ほか、いくつかの品目の販売額低下がみられた。ワンタッチきゅうりやビタミンピーマン等、一部新規就農等の面積増により増加した品目もあったが目標額の達成には至らなかった。								



総合 計画 体系	基本目標	5 地域特性に合った社会基盤が確保されている都市（まち）
	重点項目	5-1 コンパクト化とネットワークの形成による「都市機能の充実」
	指標関係課	都市戦略課、道路維持課、都市計画課

1 主要施策 5-1-1 都市機能の集約化 5-1-2 広域公共交通網の構築 5-1-3 物流体制の確保 5-1-4 公共施設や交通インフラの維持・整備	2 市民意識調査（参考） Q：あなたは、コンパクト化とネットワークの形成による「都市機能の充実」に向けたまちづくりが進んでいると感じられますか。 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>項目</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> <th>2024年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>感じられる</td> <td>3.0%</td> <td>5.3%</td> <td>4.2%</td> <td>3.6%</td> <td>2.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>どちらかと言えば感じられる</td> <td>19.8%</td> <td>22.5%</td> <td>23.4%</td> <td>21.1%</td> <td>17.6%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>どちらかと言えば感じられない</td> <td>34.9%</td> <td>34.0%</td> <td>35.8%</td> <td>34.3%</td> <td>37.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>感じられない</td> <td>21.8%</td> <td>18.0%</td> <td>22.2%</td> <td>23.7%</td> <td>29.2%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>いずれにも当てはまらない</td> <td>14.8%</td> <td>12.9%</td> <td>8.4%</td> <td>11.1%</td> <td>8.7%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>無回答</td> <td>5.7%</td> <td>7.3%</td> <td>6.0%</td> <td>6.2%</td> <td>4.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。</p>	No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	1	感じられる	3.0%	5.3%	4.2%	3.6%	2.7%			2	どちらかと言えば感じられる	19.8%	22.5%	23.4%	21.1%	17.6%			3	どちらかと言えば感じられない	34.9%	34.0%	35.8%	34.3%	37.7%			4	感じられない	21.8%	18.0%	22.2%	23.7%	29.2%			5	いずれにも当てはまらない	14.8%	12.9%	8.4%	11.1%	8.7%			6	無回答	5.7%	7.3%	6.0%	6.2%	4.0%			計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
No.	項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度																																																																	
1	感じられる	3.0%	5.3%	4.2%	3.6%	2.7%																																																																			
2	どちらかと言えば感じられる	19.8%	22.5%	23.4%	21.1%	17.6%																																																																			
3	どちらかと言えば感じられない	34.9%	34.0%	35.8%	34.3%	37.7%																																																																			
4	感じられない	21.8%	18.0%	22.2%	23.7%	29.2%																																																																			
5	いずれにも当てはまらない	14.8%	12.9%	8.4%	11.1%	8.7%																																																																			
6	無回答	5.7%	7.3%	6.0%	6.2%	4.0%																																																																			
計		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%																																																																	

3 内部評価												
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.1点(31/10)</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">(参考：R4内部評価)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>平均点</td> <td>3.3点 (36/11)</td> </tr> </table>	平均点	3.1点(31/10)	平均点	3.3点 (36/11)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-style: dashed;"> <tr> <td>内部評価結果</td> <td>b</td> </tr> </table>	内部評価結果	b	内部評価結果	b	<p style="text-align: center;">〔内部評価結果を踏まえた評価コメント〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている ・一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。 </td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている ・一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。
平均点	3.1点(31/10)											
平均点	3.3点 (36/11)											
内部評価結果	b											
内部評価結果	b											
<ul style="list-style-type: none"> ・取組がやや遅れている ・一部の指標では新型コロナウイルス感染症の影響を受けている。 												

<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="background-color: yellow;">外部評価結果</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> </tr> </table>	外部評価結果	B	<p>〔外部評価での主な意見（宮崎市総合計画策定・推進会議専門部会）〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・空洞化が進んだ宮崎市の”顔”となる”中心市街地”を再生するために、”3セクまちづくり会社”を設立し、官民一体となった”まちづくり”の推進を行う必要があるのではないか。 ・宮崎空港駅・宮崎駅等でICカードが利用できても、観光地の青島駅や運動公園のある木花駅では利用できない、費用面もあるがJRと連携し改善できないか。 ・宮崎空港からの地方空港への航路が少ない、以前は広島、松山、千歳、長崎、高知など就航していた。 ・都市機能としての広域公共交通網となれば、主要ターミナルでの動向に加え、モード間の結節の状況を計る必要もあるのではないか。 ・様々な問題でコンパクト化の議論がなされているが、併せてデメリットへの対策や対応も同時に議論が必要。成功事例を検証し、本市に見合う都市を目指すことが大事。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・空洞化が進んだ宮崎市の”顔”となる”中心市街地”を再生するために、”3セクまちづくり会社”を設立し、官民一体となった”まちづくり”の推進を行う必要があるのではないか。 ・宮崎空港駅・宮崎駅等でICカードが利用できても、観光地の青島駅や運動公園のある木花駅では利用できない、費用面もあるがJRと連携し改善できないか。 ・宮崎空港からの地方空港への航路が少ない、以前は広島、松山、千歳、長崎、高知など就航していた。 ・都市機能としての広域公共交通網となれば、主要ターミナルでの動向に加え、モード間の結節の状況を計る必要もあるのではないか。 ・様々な問題でコンパクト化の議論がなされているが、併せてデメリットへの対策や対応も同時に議論が必要。成功事例を検証し、本市に見合う都市を目指すことが大事。
外部評価結果	B			
<ul style="list-style-type: none"> ・空洞化が進んだ宮崎市の”顔”となる”中心市街地”を再生するために、”3セクまちづくり会社”を設立し、官民一体となった”まちづくり”の推進を行う必要があるのではないか。 ・宮崎空港駅・宮崎駅等でICカードが利用できても、観光地の青島駅や運動公園のある木花駅では利用できない、費用面もあるがJRと連携し改善できないか。 ・宮崎空港からの地方空港への航路が少ない、以前は広島、松山、千歳、長崎、高知など就航していた。 ・都市機能としての広域公共交通網となれば、主要ターミナルでの動向に加え、モード間の結節の状況を計る必要もあるのではないか。 ・様々な問題でコンパクト化の議論がなされているが、併せてデメリットへの対策や対応も同時に議論が必要。成功事例を検証し、本市に見合う都市を目指すことが大事。 				

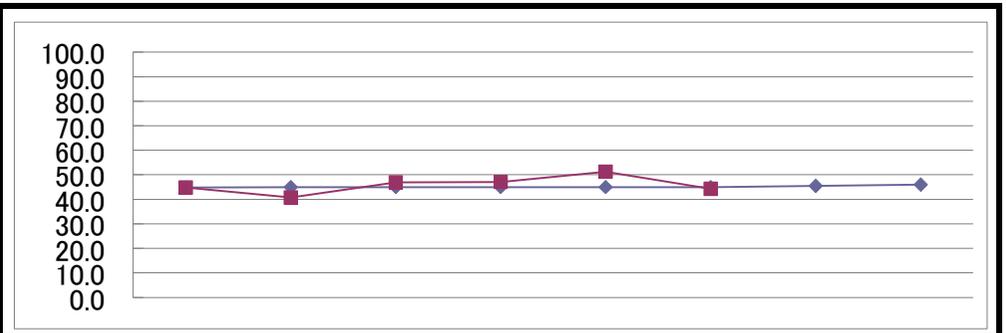
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

—●— 目標 —■— 実績

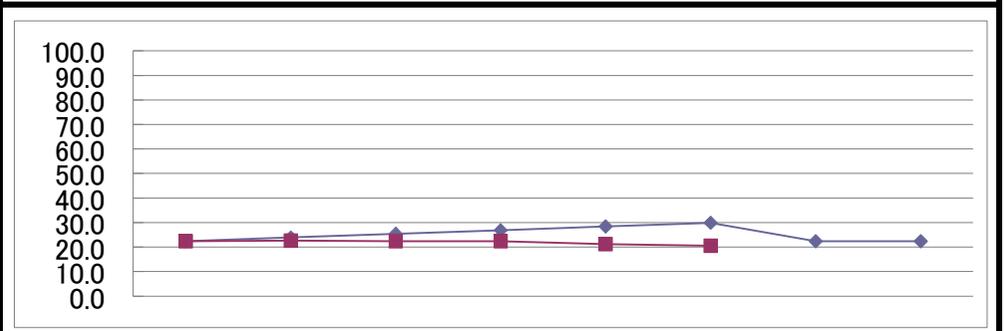
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

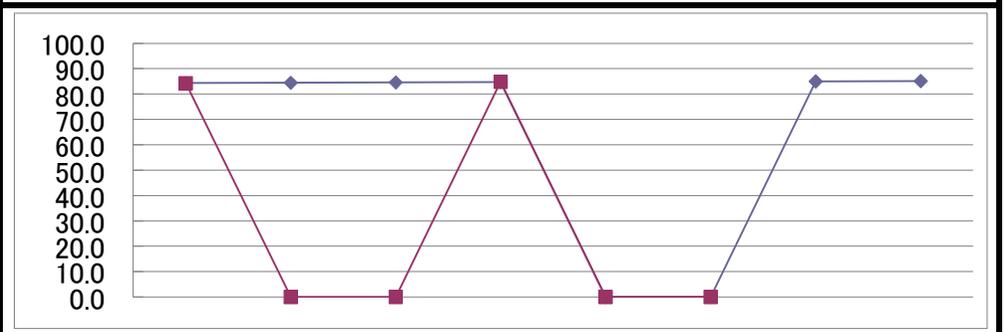
指標		単位								達成率
重点	「良好な市街地が整備され、都市機能がコンパクトにまとまっている」と思う人の割合（都市計画課）	%								98.4%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		44.8	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	45.5	46.0	4
実績		44.8	40.7	46.9	47.1	51.3	44.3			
達成状況の分析	目標値を達成することができなかったが、今後も引き続き、立地適正化計画における届出制度の運用により、都市機能の集約・誘導を図り、都市機能の充実を目指す。									



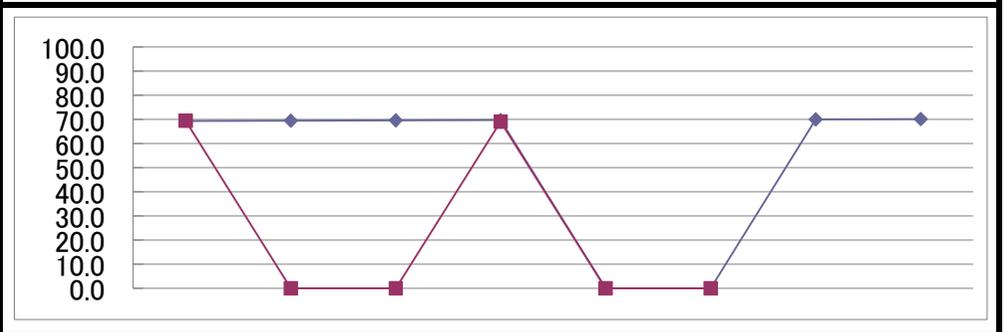
指標		単位								達成率
重点	「公共交通の利便性が確保されている」と思う人の割合（都市戦略課）	%								68.6%
		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		22.4	23.9	25.4	26.9	28.4	29.9	22.4	22.4	2
実績		22.4	22.6	22.4	22.4	21.2	20.5			
達成状況の分析	利用者減少などを理由とした各公共交通機関の減便等により、利便性が低下したと感じる割合が増えたと推察される。									



指標		単位								達成率
1-1	総人口に対する用途地域内の人口の割合（都市計画課）	%								-
		2015年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		84.3	84.4	84.6	84.7	-	-	85.0	85.1	-
実績		84.3	-	-	84.8	-	-			
達成状況の分析	目標値を達成することができた。今後も引き続き、立地適正化計画における届出制度の運用により、都市機能の集約・誘導を図り、都市機能の充実を目指す。 ※実績値は5年に1回の国勢調査結果を出典とするため、2022年度は実績値なし。									



指標		単位								達成率
1-2	総人口に対する人口集中地区人口の割合（都市計画課）	%								-
		2015年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		69.4	69.5	69.6	69.7	-	-	70.0	70.1	-
実績		69.4	-	-	69.1	-	-			
達成状況の分析	引き続き、立地適正化計画における届出制度の運用により、都市機能の集約・誘導を図り、都市機能の充実を目指す。 ※実績値は5年に1回の国勢調査結果を出典とするため、2022年度は実績値なし。									



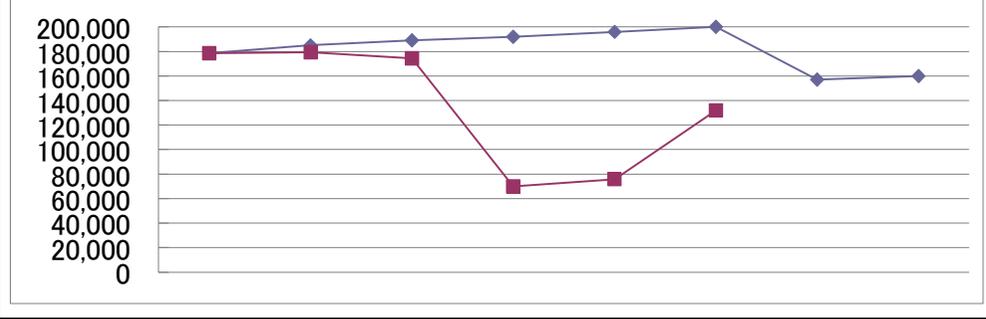
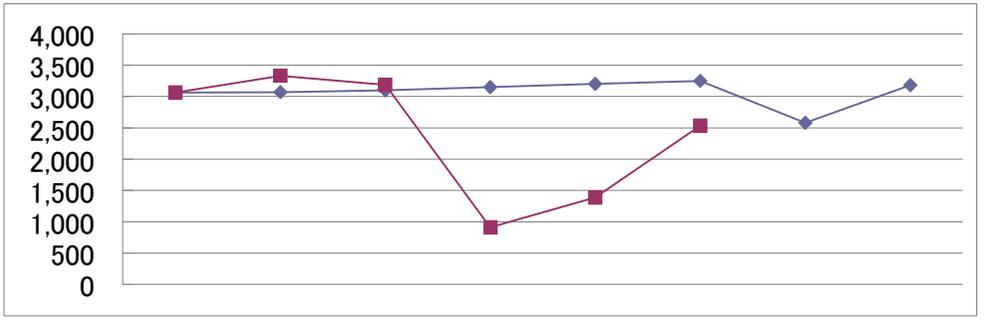
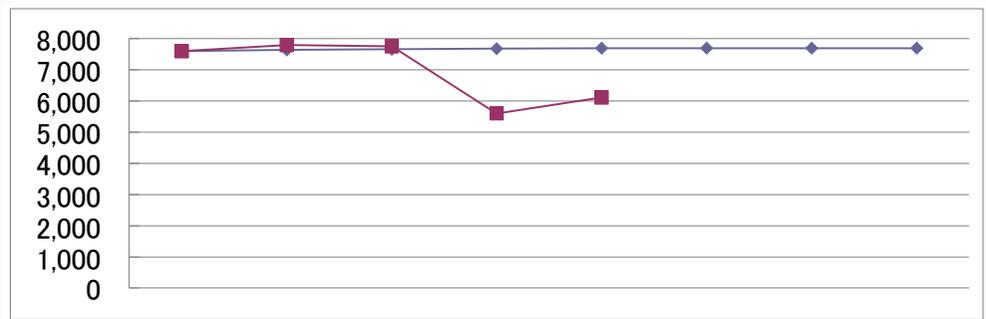
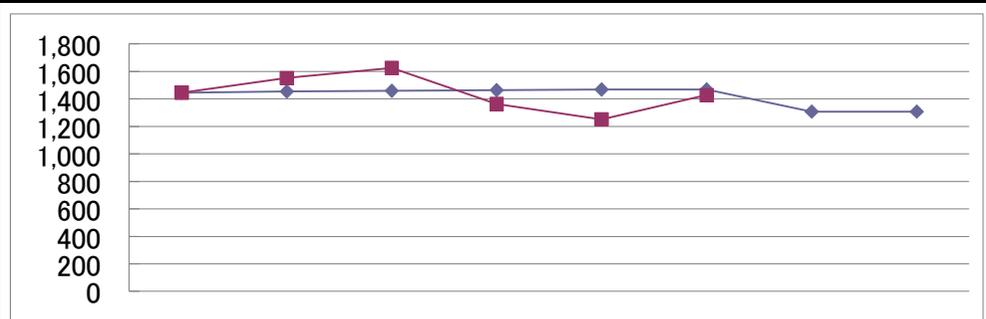
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

指標		単位								達成率
2-1	主要バスターミナルにおける路線バス乗降客数（都市戦略課）	千人								97.2%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		1,445	1,454	1,459	1,464	1,469	1,469	1,308	1,308	4
実績		1,445	1,552	1,625	1,364	1,252	1,428			
達成状況の分析	コロナの感染状況によって大きく左右されるところではあるが、コロナ禍における移動制限が少しずつ緩和されたことなどにより、他と比べ利用者が比較的多い主要バスターミナルの利用者が少しずつ戻ってきていると推察される。									
★	J R九州の主要3駅（宮崎駅・南宮崎駅・宮崎空港駅）における一日あたりの平均乗客数（都市戦略課）	人								79.4%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		7,600	7,640	7,660	7,680	7,700	7,700	7,700	7,700	2
実績		7,600	7,798	7,757	5,603	6,117	未確定			
達成状況の分析	2022年度実績は、2023年8月頃に実績確定見込み。 【参考】2021年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う移動制限等の影響により目標未達成となった（2021年度達成率79.4%）。									
2-3	宮崎空港路線利用者数（都市戦略課）	千人								78.0%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		3,061	3,070	3,100	3,150	3,200	3,250	2,580	3,180	2
実績		3,061	3,332	3,186	910	1,390	2,534			
達成状況の分析	コロナ禍における移動制限が少しずつ緩和されたことや、全国旅行支援をはじめとする各種キャンペーンの効果もあり、利用者が約253万人（前年度比：182%、R1年度比：80%）と増加し、回復基調にはあるが、目標未達成となった。									
2-4	フェリー旅客数（都市戦略課）	人								66.0%
		2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標		178,623	185,000	189,000	192,000	196,000	200,000	157,000	160,000	2
実績		178,623	179,375	174,433	70,004	75,806	131,964			
達成状況の分析	コロナ禍における移動制限が少しずつ緩和されたことや、全国旅行支援をはじめとする各種キャンペーンの効果もあり、利用者が131,964人（前年度比：174%、R1年度比：75.7%）と増加し回復基調にはあるが、目標未達成となった。									



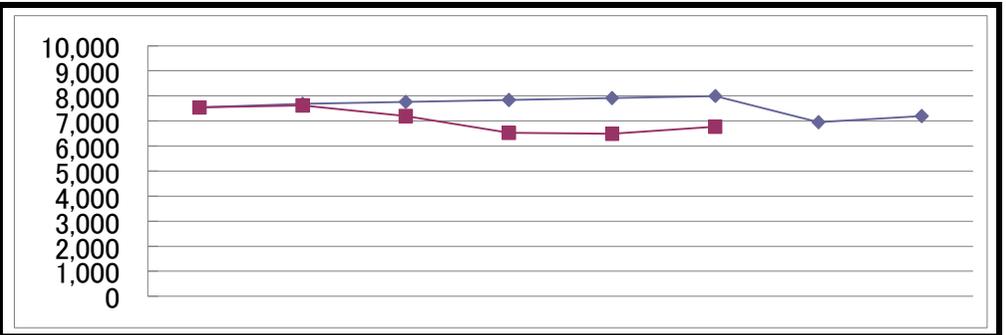
5 重点目標・重要業績評価指標（KPI）の分析

— 目標 — 実績

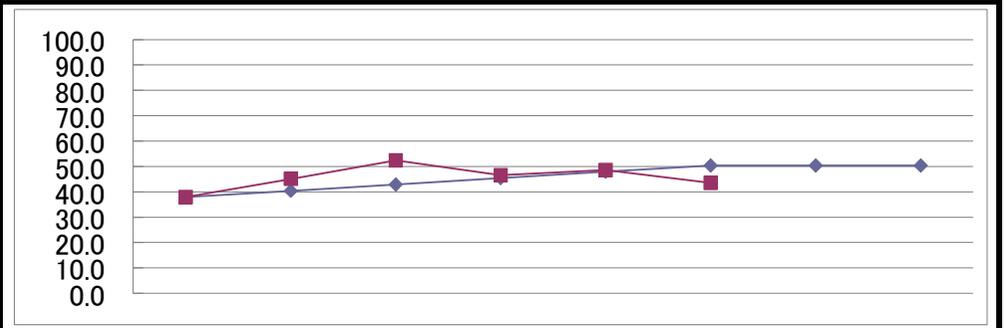
↓「★」は、2022年度実績値が未確定のため、2021年度実績値を用いて、達成率を算出。

現況 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

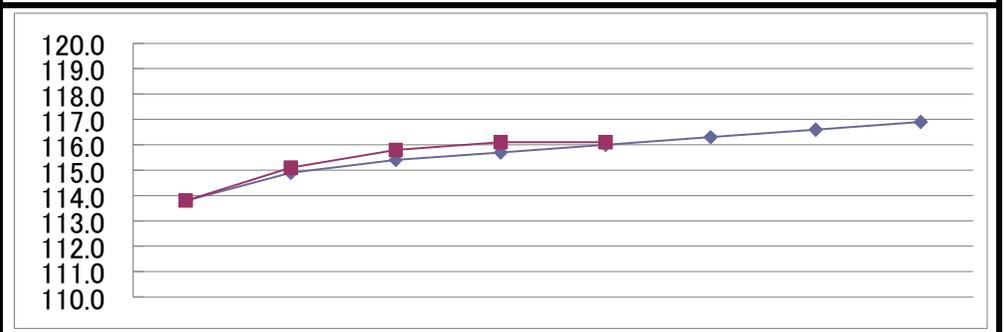
指標								単位	達成率
3-1	宮崎港の取扱貨物量（都市戦略課）							千t	84.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	7,535	7,686	7,762	7,839	7,917	7,996	6,950	7,195	3
実績	7,535	7,620	7,195	6,521	6,489	6,771			
達成状況 の分析	徐々に荷の動きも回復基調となったこともあり、取扱貨物量が6,771千フレート・トン（前年度比：104.3%）と増加した。しかし、半導体不足で、商品車の輸送や機械類の輸送が激減し、他港との荷の取り合いなどもあったこともあり、目標未達成となった。								



指標								単位	達成率
4-1	「公共施設サービスが質、量ともに適切に提供されている」と感じている人の割合（都市戦略課）							%	86.3%
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	37.9	40.4	42.9	45.4	47.9	50.4	50.4	50.4	3
実績	37.9	45.1	52.4	46.6	48.6	43.5			
達成状況 の分析	直接的な因果関係は不明であるものの、施設評価を通じて、「総量の最適化」・「質の向上」・「投資の厳選」や公民連携の取り組みを進めていく。								



指標								単位	達成率
★ 4-2	都市計画決定道路(市道)の改良延長（都市計画課）							km	99.8%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	113.8	114.9	115.4	115.7	116.0	116.3	116.6	116.9	4
実績	113.8	115.1	115.8	116.1	116.1	未確定			
達成状況 の分析	令和5年6月確定予定。 【参考】2021年度達成率：100.1%								



指標								単位	達成率
4-3	老朽化等により早期に対策が必要と判断された橋梁の修繕割合（道路維持課）							%	160.7%
	2016年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	点数
目標	13.3	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	75.0	77.0	5
実績	13.3	36.2	57.4	77.9	76.5	70.7			
達成状況 の分析	昨年度に引き続き2巡目の定期点検を計画的に実施し、継続的・計画的な修繕を行い、目標を達成することができた。								

